

子ども・子育て支援二一ズ調査

結果報告書

(就学前児童)

令和2年3月

魚沼市教育委員会事務局 子ども課

目 次

問NO	質問内容等	ページ
	ニーズ調査の概要	1
1	お子さんからみた関係	2
2	回答者の配偶関係	2
3	対象のお子さんの年齢	2
4	子育てを主に行っている人	3
5	お住まいの地域	3
6	お子さんを預かってもらえる人の有無	3
	祖父母等の親族に預かってもらう事に関する状況	4
	友人・知人に預かってもらう事に関する状況	4
7	相談できる人や場所の有無	4
	相談できる人や場所	5
8	子育てに関する情報の入手先	5
9	子育てをする上での不安や悩み	6
10	子育てをされていてよかったこと	6
11	母親の就労状況	7
	① 就労状況と就労時間	7
	② フルタイムへの転換希望	8
	③ 就労希望	9
12	父親の就労状況	10
	① 就労状況と就労時間	10
	② フルタイムへの転換希望	12
	③ 就労希望	12
13	定期的な教育・保育事業の利用について	13
	② 利用状況(主に利用している事業)	14
	③ 利用状況(利用日数、時間等)	14
	④ 利用されている理由	16
	⑤ 利用していない理由	17
14	平日「定期的に」利用したい事業	18
	② 幼稚園の利用希望	18
	③ ファミリー・サポート・センターの利用希望理由	18
15	休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について	19
	土曜日の希望	19
	日曜日・祝日の希望	20
	長期休暇中の希望	20
16	病気やケガの際の対応について	21
17	病児・病後児保育事業の利用希望について	23
18	子どもが病気等の際にできれば仕事を休んで看護したい希望	24
19	不定期に利用した事業	25
20	一時預かりの利用希望	27
21	宿泊を伴い、子どもを家族以外に預ける際の対応等	28

問NO	質問内容等	ページ
22	地域子育て支援拠点施設の利用について	29
23	地域子育て支援拠点施設の利用希望	30
24	小学校就学後における放課後の過ごし方について	31
25	小学校就学後に学童保育の利用希望	34
	平日の希望	34
	土曜日の希望	34
	日曜日・祝日の希望	35
	長期休暇中の希望	36
26	育児休業取得の状況	36
	母親の状況	36
	父親の状況	37
27	母親の育休取得後の状況	38
	① 職場復帰のタイミング	38
	② 取得期間と希望及び理由	38
	③ 育児休業の取得希望	39
	④ 短時間勤務制度の利用	39
28	子どもが1歳になった時の育児休業の取得希望	40
29	育児休業給付、保険料免除の認知について	40
30	子育てに関して地域に望むこと	40
31	子どもを健やかに生み育てるために、市に期待すること	41
32	安心な子育てに特に必要だと感じる相談内容について	42

ニーズ調査の概要

①調査の目的

子ども・子育て支援法第 61 条に基づく計画の策定に向けて、子ども・子育てに関する実態とニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料とすることを目的として就学前児童及び小学生の保護者を対象に調査（以下「ニーズ調査」という。）を行いました。

②調査設計

ア 調査対象

本市に居住する平成 18 年 4 月 2 日から平成 30 年 11 月 1 日（小学 6 年生から 0 歳）の間に生まれた子どもの保護者全員を調査対象としました。

ただし、複数の児童がいる世帯には、最年少児童についてのみ回答を依頼しました。（1 世帯に 1 枚のみ配布）

調査種類	調査対象	配布数
就学前児童	本市在住の就学前児童の保護者	1,077
小学生	本市在住の小学生の保護者	855

イ 調査期間

平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月

ウ 調査方法

調査種類	調査対象
就学前児童	保育園・幼稚園等の通園者は園を通じて配布・回収 未就園者は郵送による配布・回収
小学生	原則、小学校を通じて配布・回収 ただし、一部については郵送による配布・回収

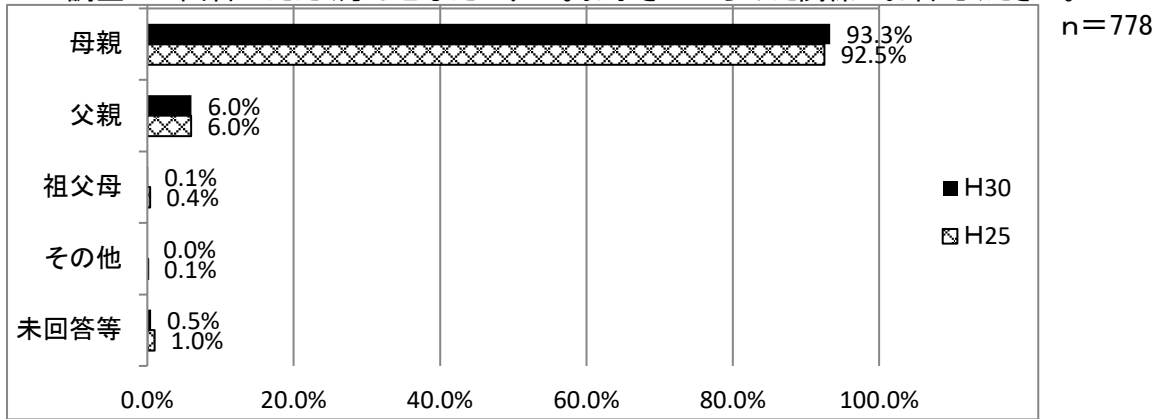
③回収結果

調査種類	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,077	778	778	72.2%
小学生	855	677	677	79.2%

④結果の見方

- ・結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計 100%にならないことがあります。
また、複数回答（2 つ以上の回答）では、合計が 100%を超える場合があります。
- ・図表中の「n（number of cases の略）」は、質問に対する回答者の総数（該当者質問では該当者数）を示し、回答者の比率（%）を算出するための基数です。
- ・回答者数（n）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになります。

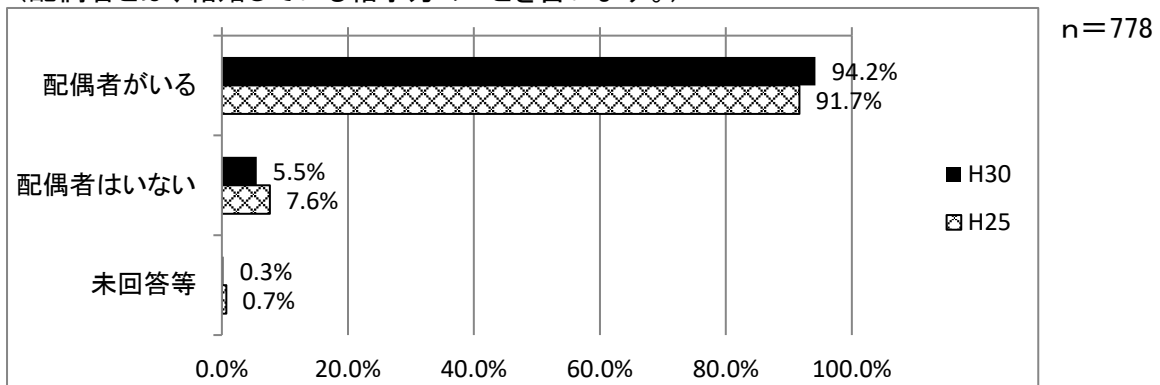
1 この調査にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。



「母親」が9割強

大多数が「母親」(93.3%)で、その比率は9割を超えています。

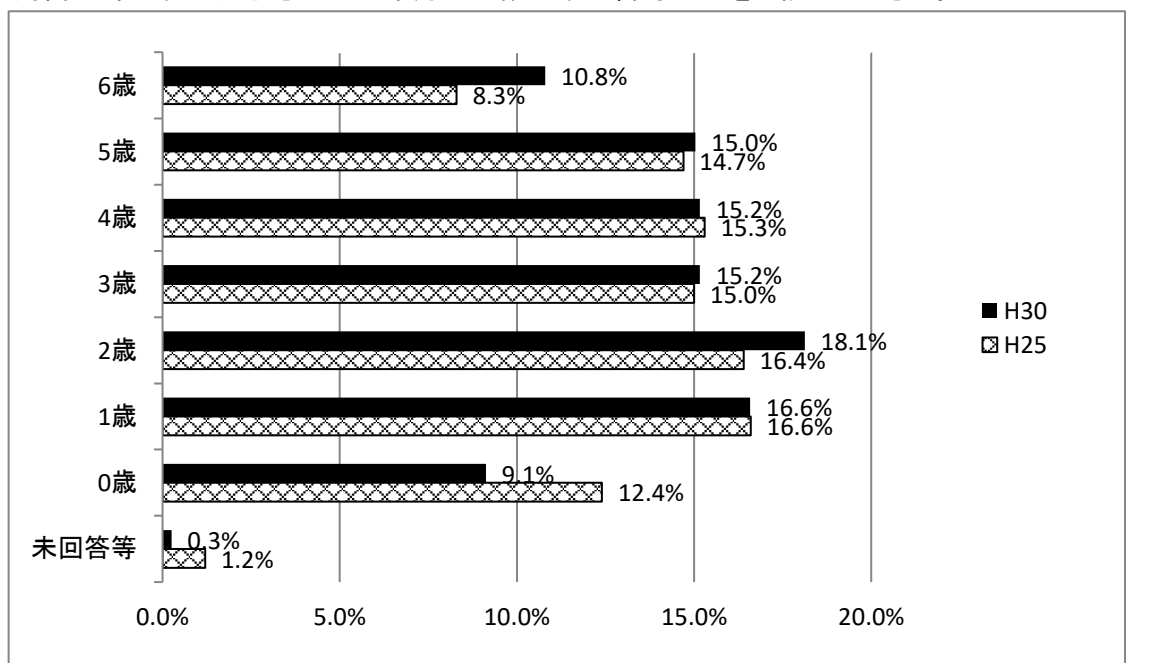
2 この調査にご回答いただく方の、配偶関係についてお答えください。【当てはまる番号1つに○】
(配偶者とは、結婚している相手方のことを言います。)



9割以上が「配偶者がいる」

「配偶者がいる」(94.2%)が最も多く、9割超を占めています。

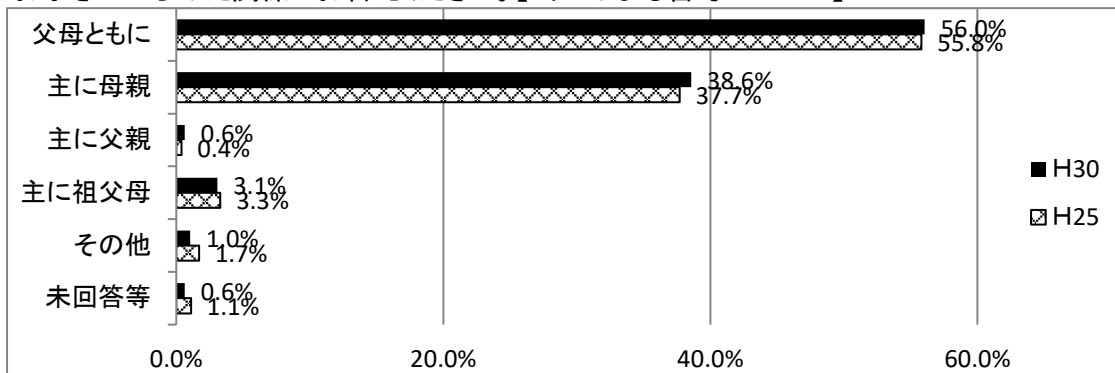
3 封筒のあて名のお子さんの生年月日の該当する番号に○をご記入ください。



「2歳」が2割弱

「2歳」(18.1%)が最も多い。次いで「1歳」(16.6%)、「3歳」及び「4歳」(ともに15.2%)の順となっています。

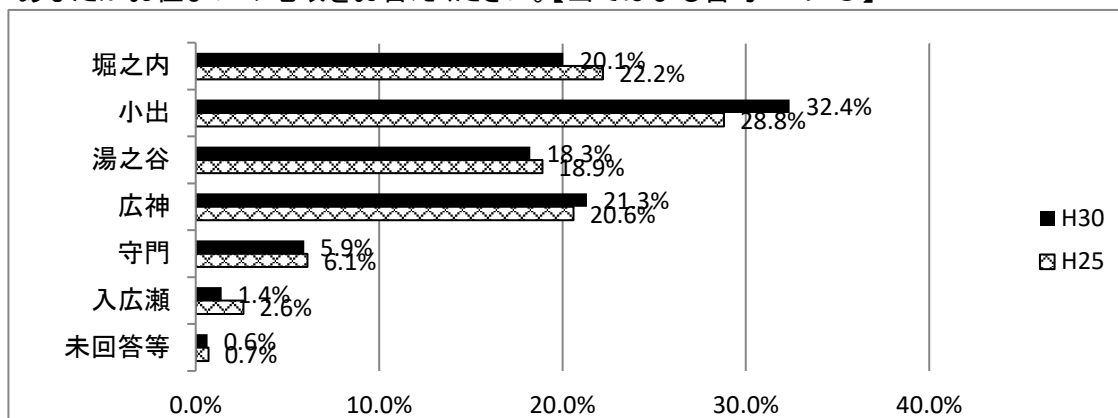
4 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】 n=778



「父母ともに」が半数超

「父母ともに」(56.0%)が最も多く、「主に母親」(38.6%)が次いで多くなっています。

5 あなたがお住まいの地域をお答えください。【当てはまる番号1つに○】 n=778



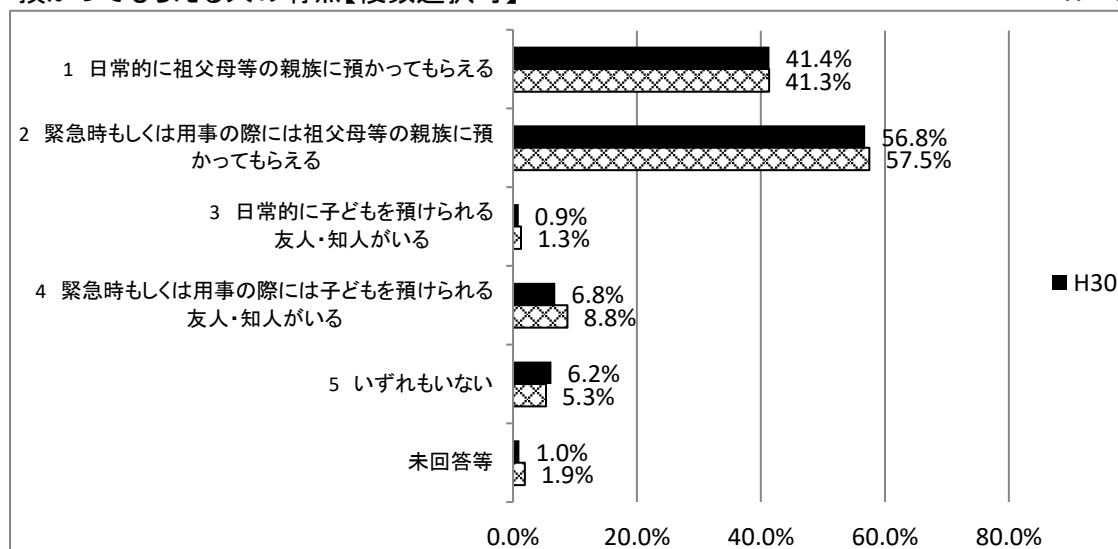
小出が3割強

「小出」(32.4%)が最も多く、平成25年よりも4ポイント弱多くなっています。平成25年度は3番目の「広神」(21.3%)が次いで多くなっています。

6 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる親族や知人はいますか。預かってもらうことに関する状況と合わせてお答えください。

預かってもらえる人の有無【複数選択可】

n=778

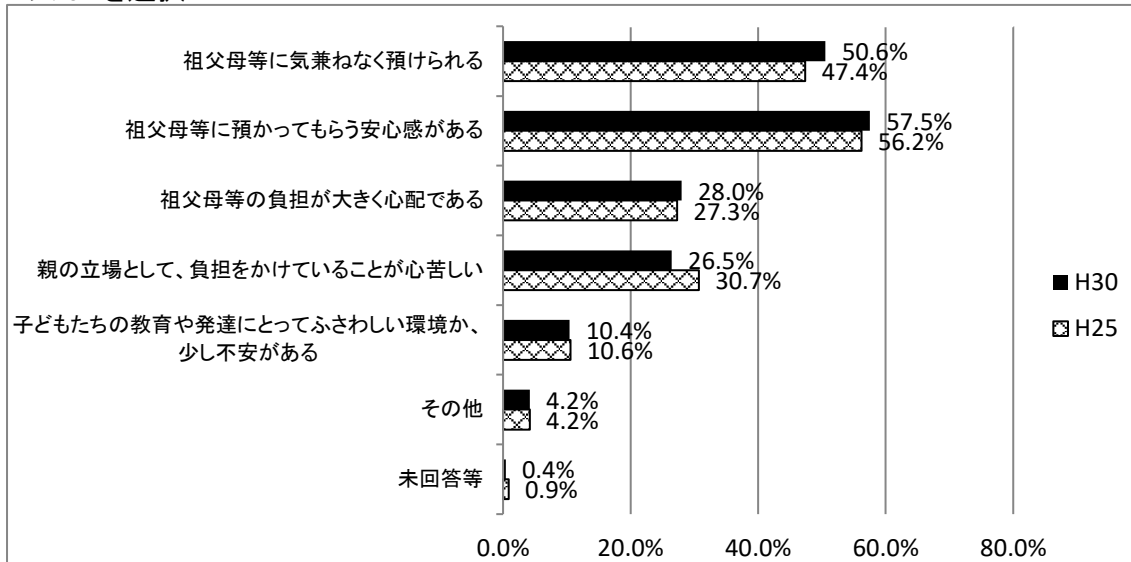


「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多い

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(56.8%)が最も多く、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(41.4%)が次いで多くなっています。

1又は2を選択

n=718

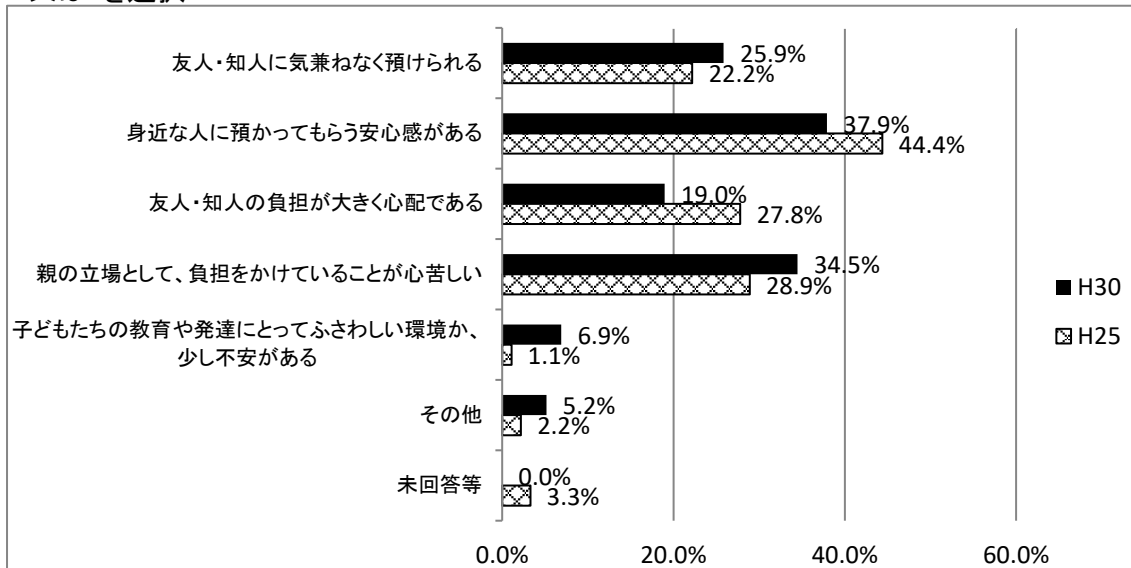


「祖父母等に預かってもらう安心感がある」が最も多い

日頃、祖父母等の親族に預かってもらえる方は、「祖父母等に預かってもらう安心感がある」(57.5%)が最も多く、次いで「祖父母等に気兼ねなく預けられる」(50.6%)と多くなっています。

3又は4を選択

n=58



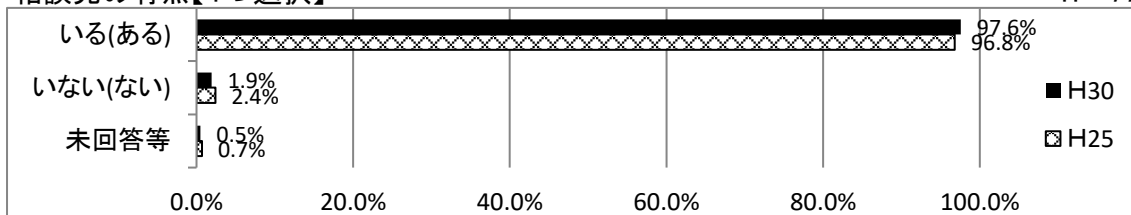
「身近な人に預かってもらう安心感がある」が最も多い

日頃、友人・知人に預かってもらえる方は、「身近な人に預かってもらう安心感がある」(37.9%)と最も多く、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(34.5%)と続いています。

7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に関する悩みや不安について、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

相談先の有無【1つ選択】

n=778

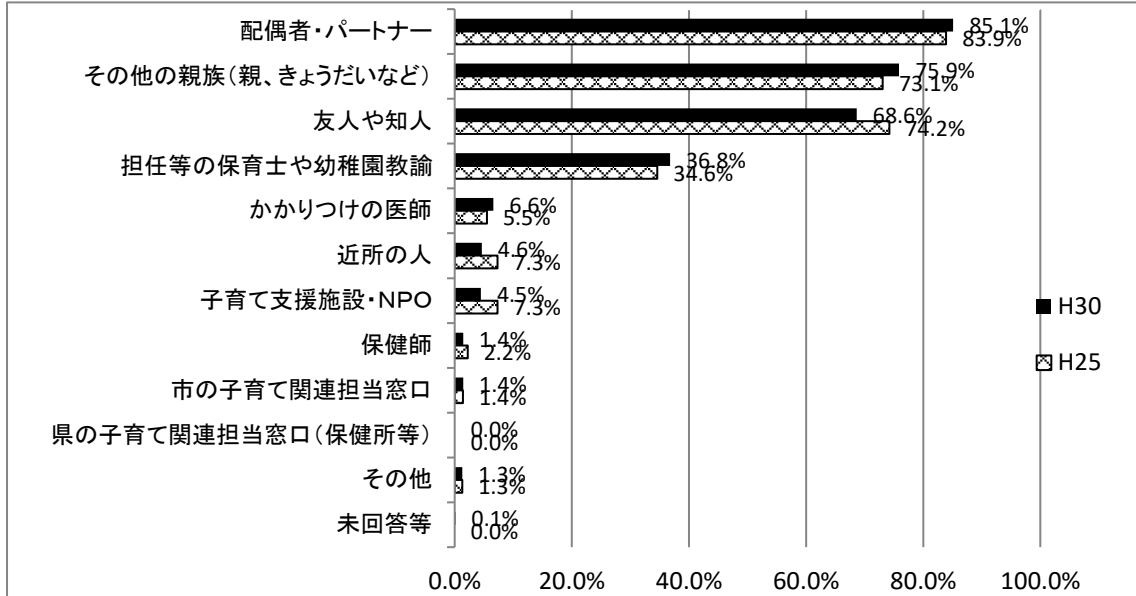


9割以上が「いる(ある)」と回答

子育てに関する悩みや不安について、気軽に相談できる人や場所が「いる(ある)」(97.6%)と回答する割合が9割を超えています。

相談相手(場所)【複数選択可】

n = 759

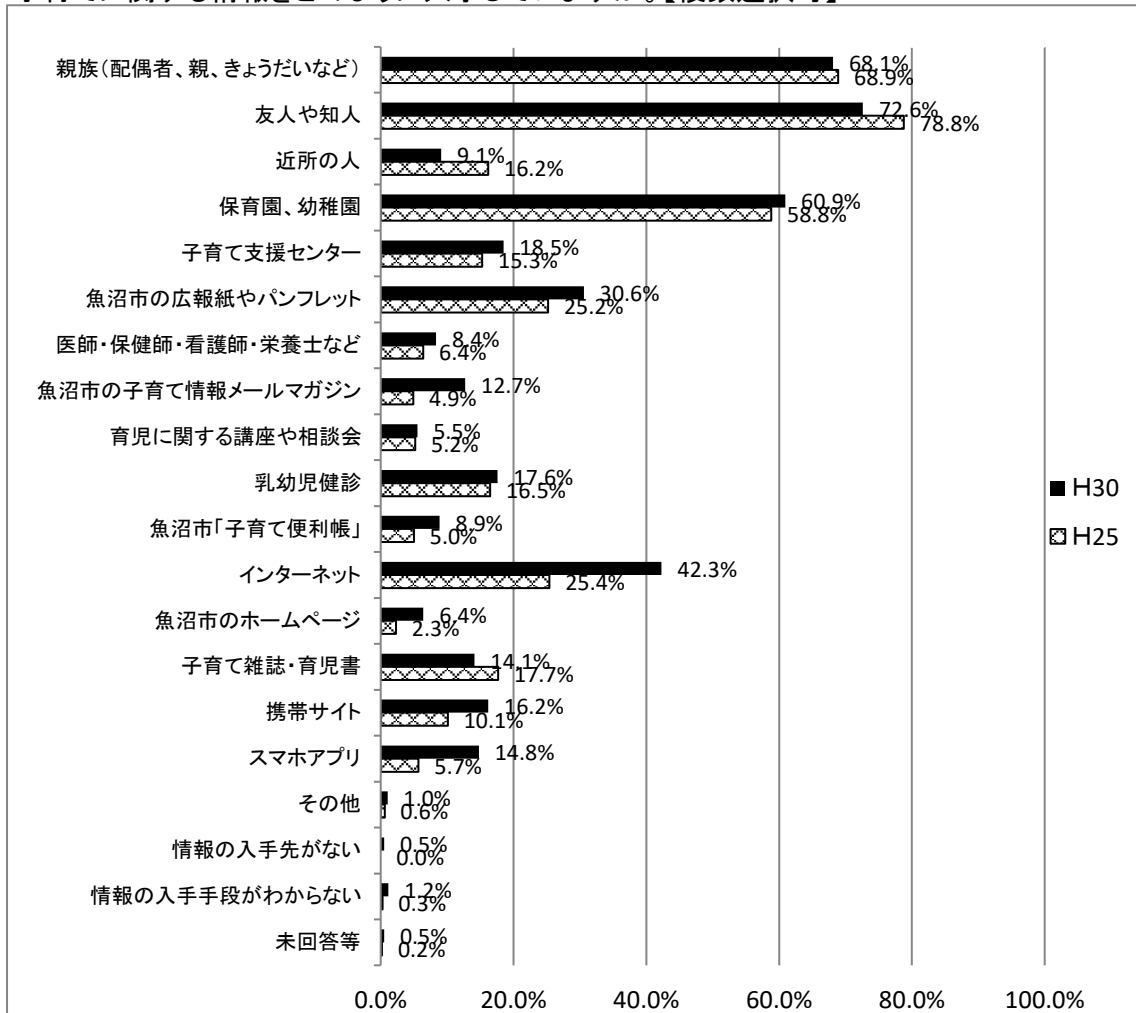


「配偶者・パートナー」が8割強で最も多い

「配偶者・パートナー」(85.1%)が最も多く、次いで平成25年調査で3位の「その他の親族(親、きょうだいなど)」(75.9%)と多くなっています。

8 子育てに関する情報をどのように入手していますか。【複数選択可】

n = 778

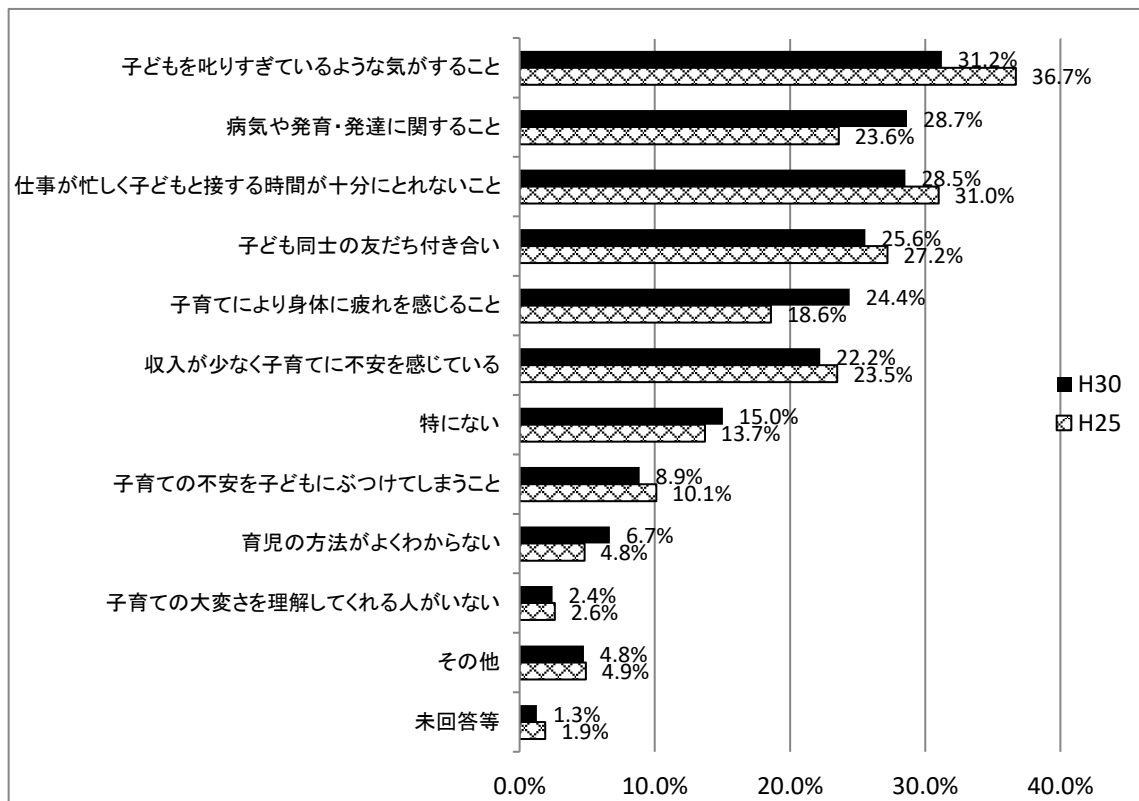


7割強が「友人や知人」と回答

「友人や知人」(72.6%)が最も多く、「親族(配偶者、親、きょうだいなど)」(68.1%)、「保育園、幼稚園」(60.9%)と続いています。

9 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはありますか。【複数選択可】

n=778

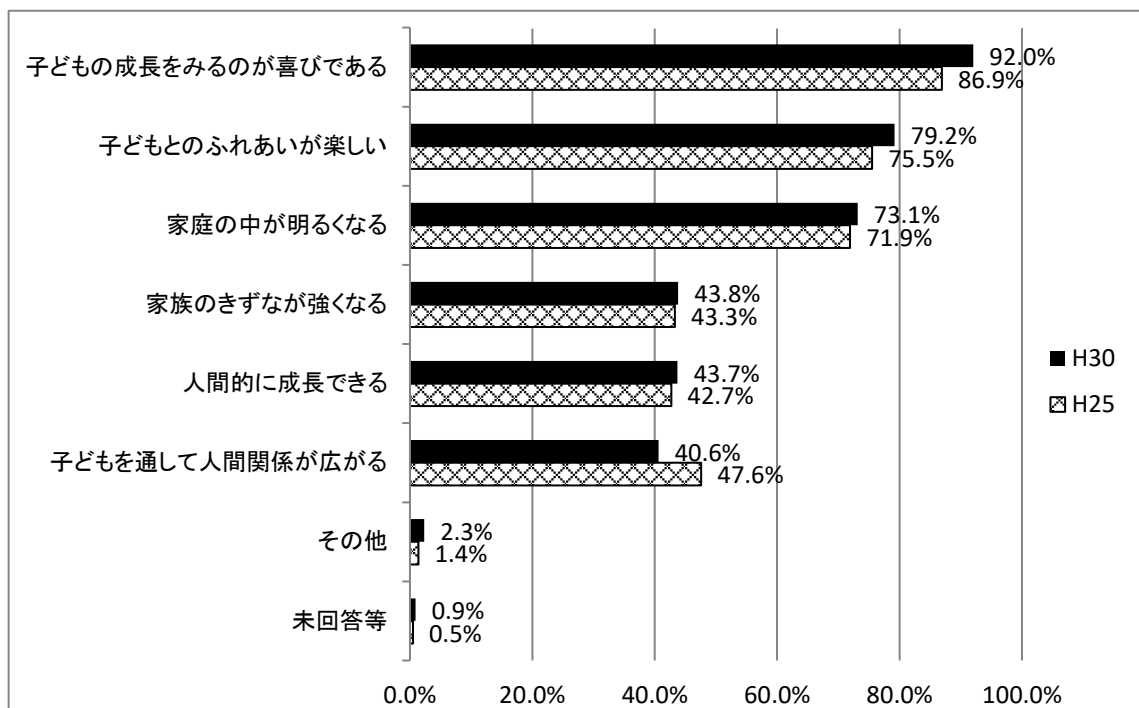


「子どもを叱りすぎているような気がする」が最も多い

「子どもを叱りすぎているような気がする」(31.2%)が平成25年よりも5ポイント以上下がりましたが最も多く、「病気や発育・発達に関する」(28.7%)、「仕事が忙しく子どもと接する時間が十分にとれない」(28.5%)と続いています。

10 あなたは、自分にとって子育てをしてよかったことはどんな場合ですか。【複数選択可】

n=778



「子どもの成長をみるのが喜びである」が9割強

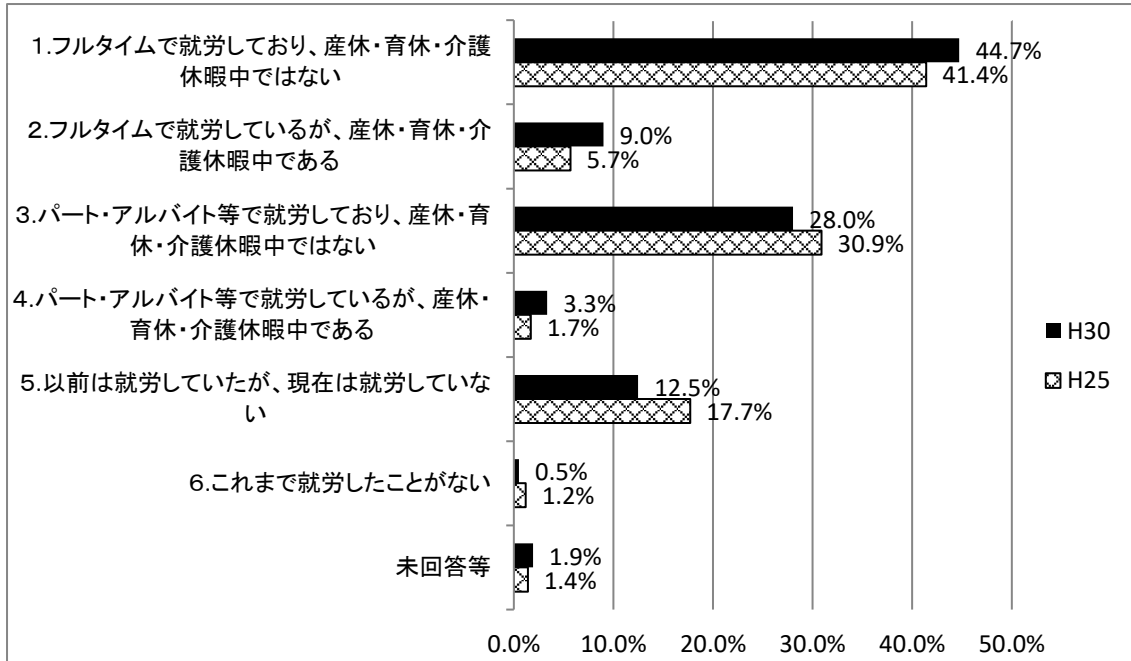
「子どもの成長をみるのが喜びである」(92.0%)が最も多く、「子どもとのふれあいが楽しい」(79.2%)、「家庭の中が明るくなる」(73.1%)と続いています。

11 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(父子家庭などで、母親がいない場合は回答不要です。)

① 就労状況と就労時間(母親)

母親の「就労状況」と「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休暇中の方は、休暇に入る前の状況でお答えください。
(ここでいうフルタイムは、いわゆる正社員等や準じた所定労働時間で働く労働者を指し、パート・アルバイト等は正社員等と比べて、所定労働時間の短い労働者を指します。)

n=778



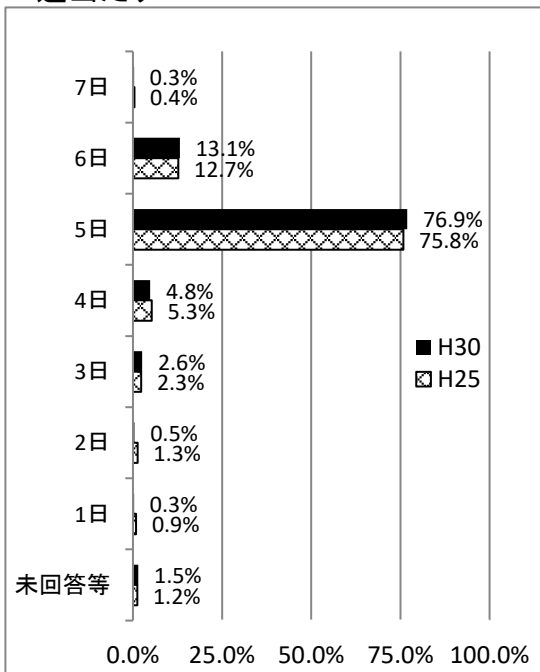
4割以上が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」(44.7%)が最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」(28.0%)で続いています。

就労時間

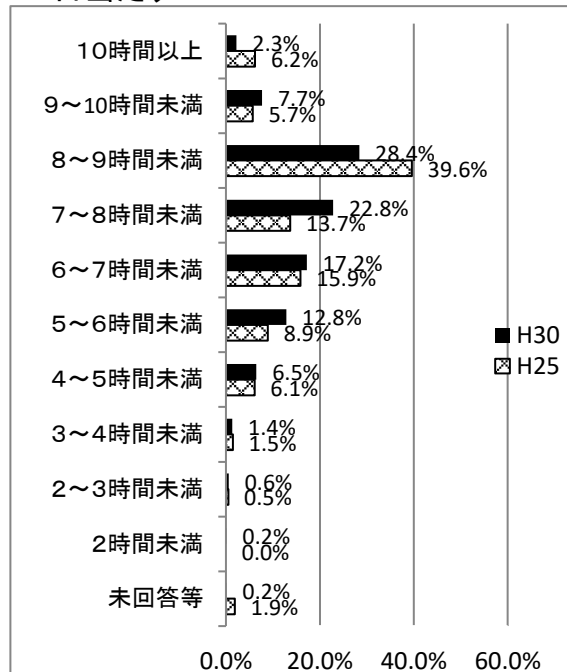
1週当たり

n=662



1日当たり

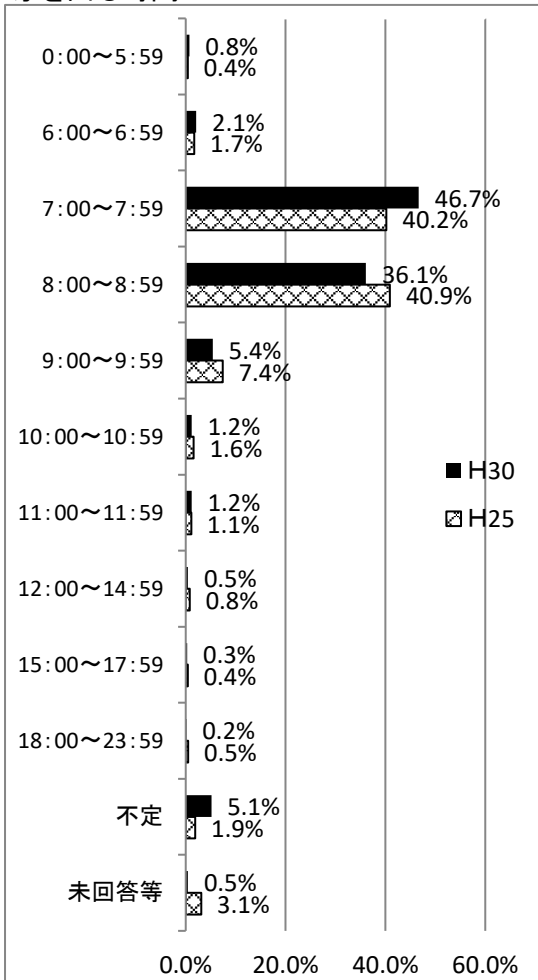
n=662



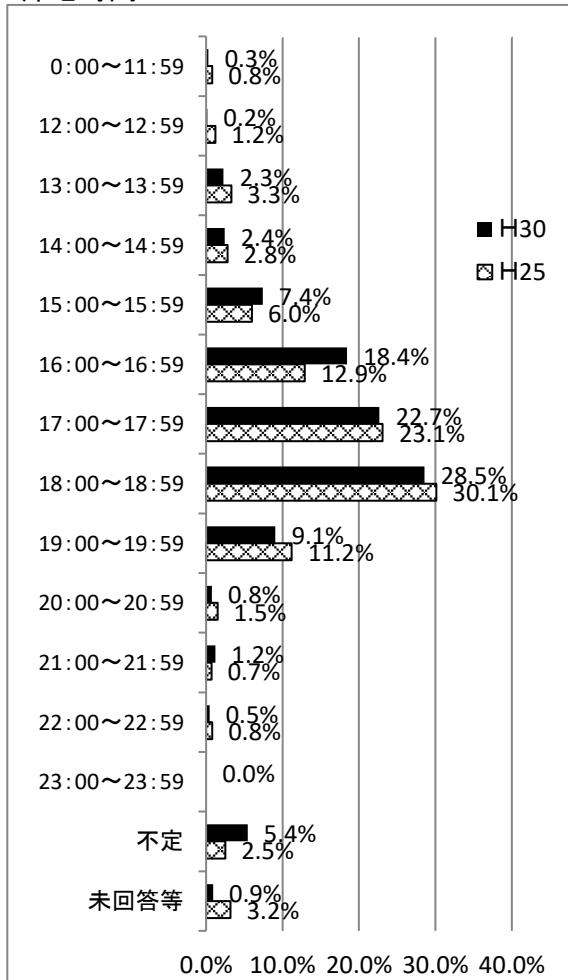
「5日」と「8～9時間未満」が最も多い

就労している母親の7割強が1週当たり「5日」(76.9%)、1日当たり「8～9時間未満」(28.4%)が最も多くなっています。

家を出る時間 n=662



帰宅時間 n=662

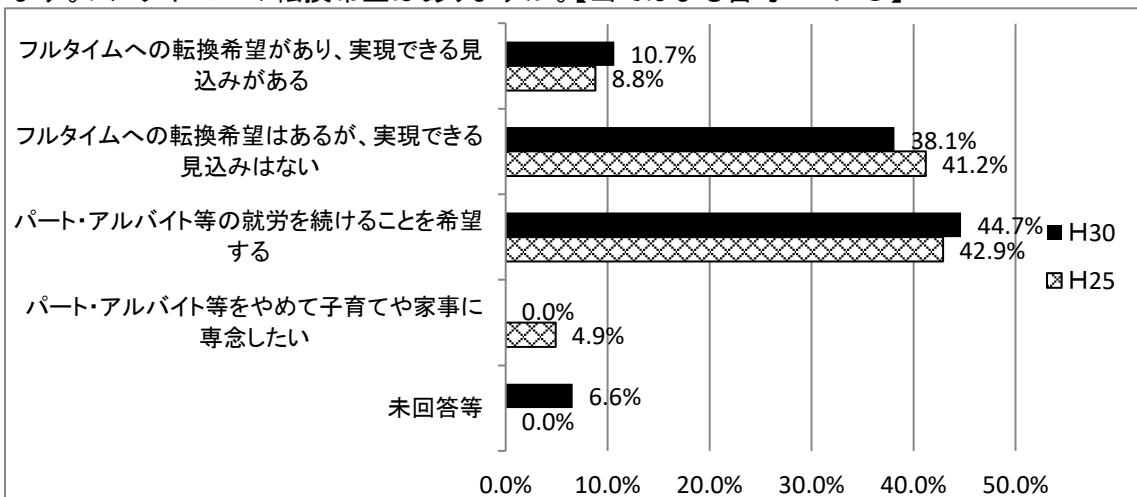


家を出る時間「7:00~7:59」、帰宅時間「18:00~18:59」が最も多い

就労している母親の家を出る時間は「7:00~7:59」、帰宅時間は「18:00~18:59」が最も多くなっています。平成25年の家を出る時間は、「8:00~8:59」「7:00~7:59」の順でしたが、平成30年の調査は逆転しています。

② フルタイムへの転換希望(母親)

11-①の質問で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。【当てはまる番号1つに○】 n=244

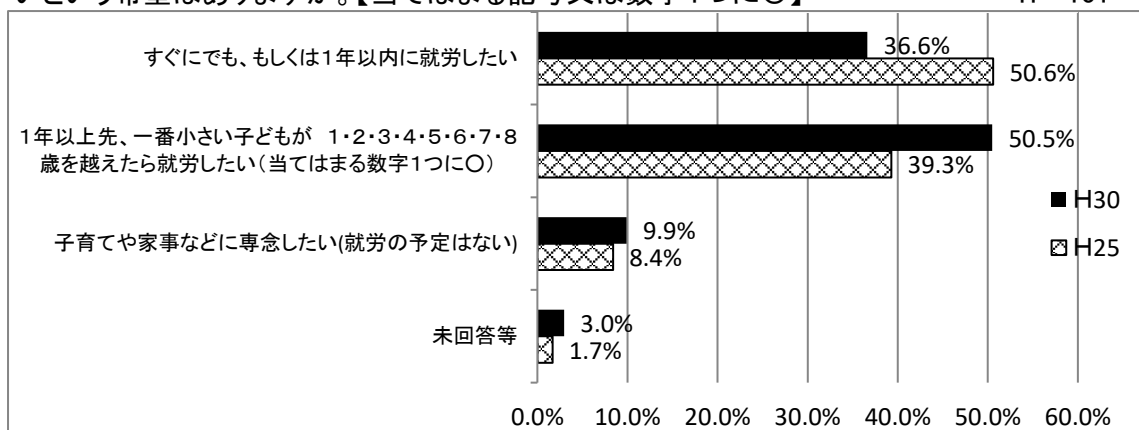


「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が最も多い

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」(44.7%)が最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(38.1%)が続いています。

③ 就労希望(母親)

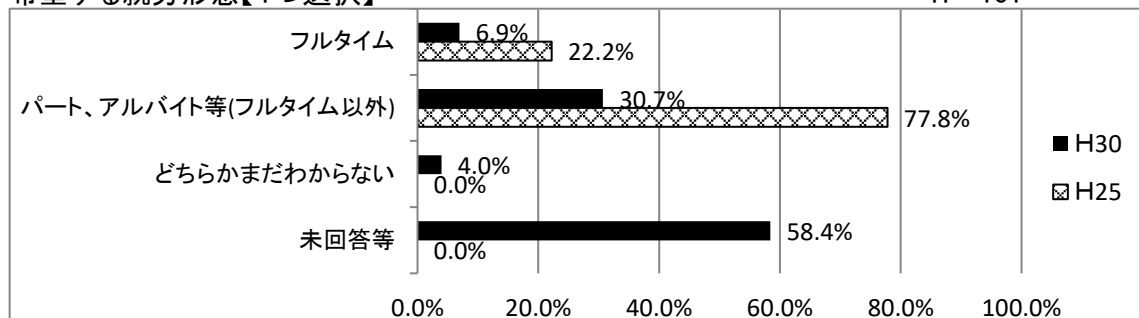
11-①の質問で「5.」または「6.」(現在就労していない)を選んだ方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。【当てはまる記号又は数字1つに○】 n=101



「1年以上先、一番小さい子どもが__歳を越えたら就労したい」が最も多い

現在就労していない母親の就労希望としては、「1年以上先、一番小さい子どもが__歳を越えたら就労したい」(50.5%)が最も多く、平成25年の調査で最も多かった「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(36.6%)が続いています。

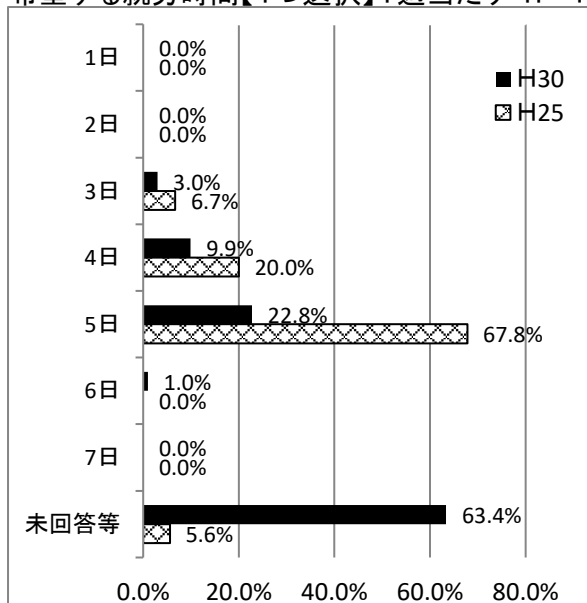
希望する就労形態【1つ選択】



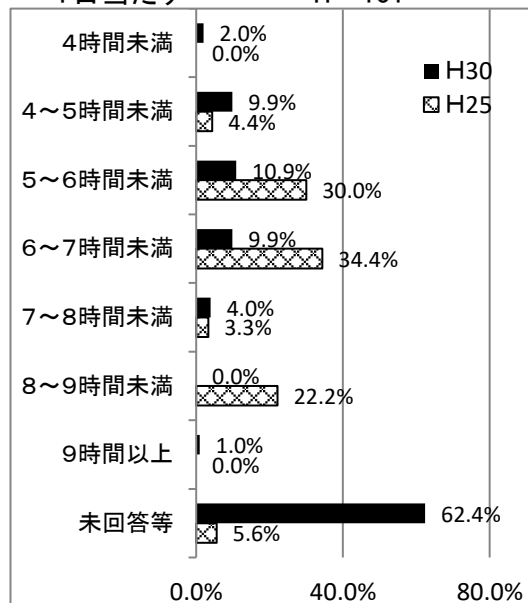
「パート、アルバイト等(フルタイム以外)」が最も多い

すぐにも、もしくは1年以内に就労したい母親の希望就労形態は、「パート・アルバイト等フルタイム以外」(30.7%)が最も多くなっています。

希望する就労時間【1つ選択】1週当たり n=101



1日当たり n=101

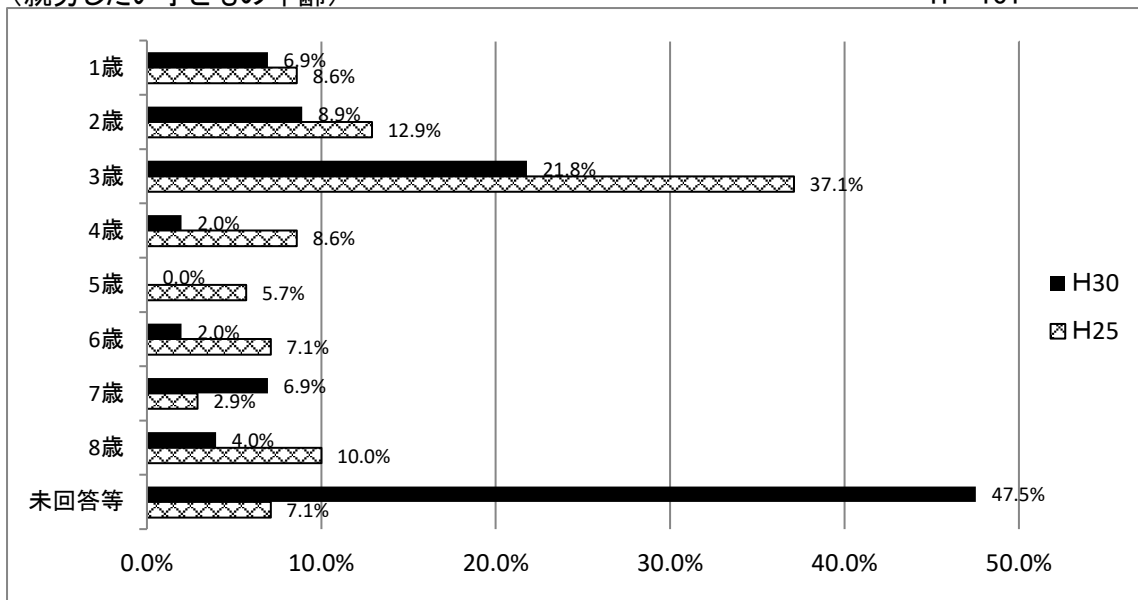


週「5日」、1日「5~6時間未満」が最も多い

母親の希望する就労時間は、週当たり「5日」(22.8%)が最も多く、1日あたりは「5~6時間未満」(10.9%)、次いで「4~5時間未満」及び「6~7時間未満」(共に9.9%)と続いています。

(就労したい子どもの年齢)

n=101



「3歳」が最も多い

1年以上先に就労を希望する母親の一番小さい子どもの年齢は、「3歳」(21.8%)が最も多く、2歳(8.9%)、1歳(6.9%)、7歳(6.9%)と続いています。

12 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(母子家庭などで、父親がいない場合は回答不要です。)

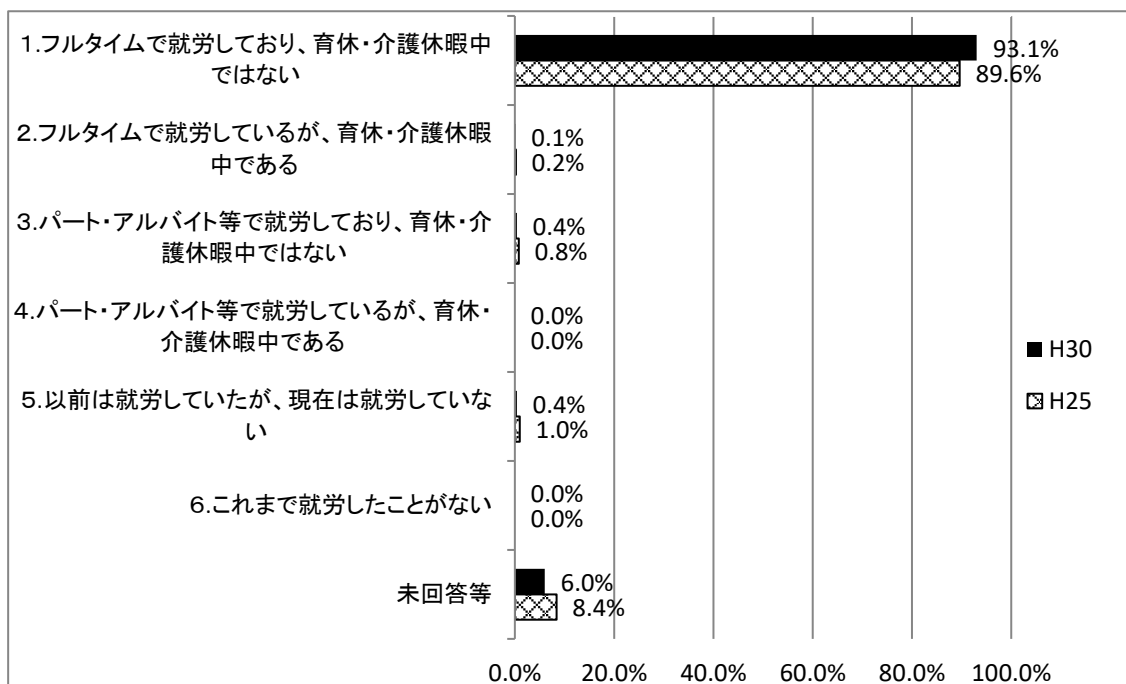
① 就労状況と就労時間(父親)

父親の「就労状況」と「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、育休・介護休暇中の方は、休暇に入る前の状況でお答えください。

(ここでいうフルタイムは、いわゆる正社員等や準じた所定労働時間で働く労働者を指し、パート・アルバイト等は正社員等と比べて、所定労働時間の短い労働者を指します。)

父親の就労状況【1つ選択】

n=778



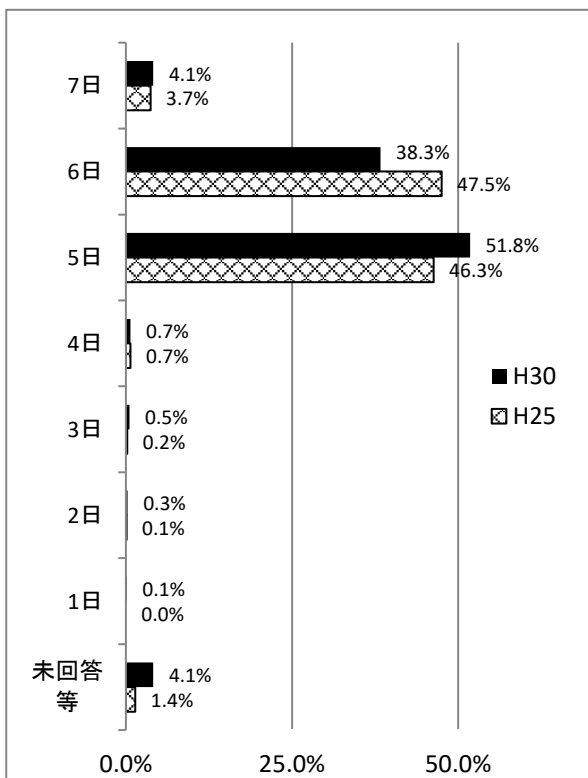
9割強が「フルタイムで就労しており、育休・介護休暇中ではない」

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休暇中ではない」(93.1%)と9割を超えて多くなっています。

就労時間【各1つ選択】

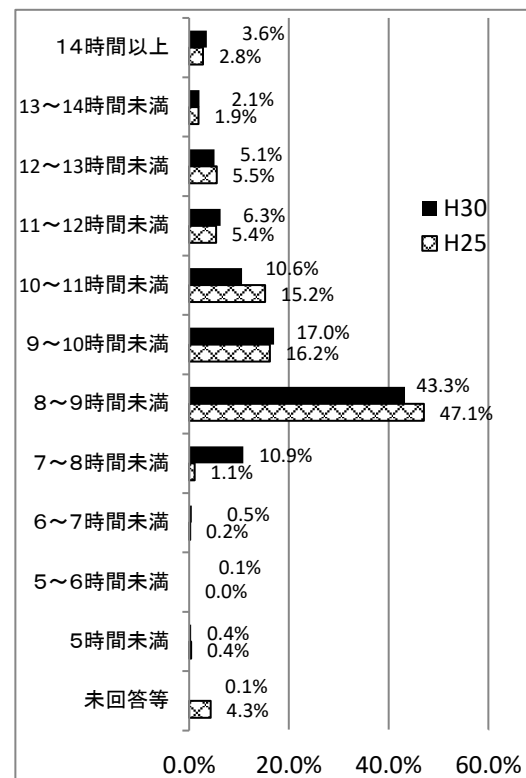
1週当たり

n=728



1日当たり

n=728

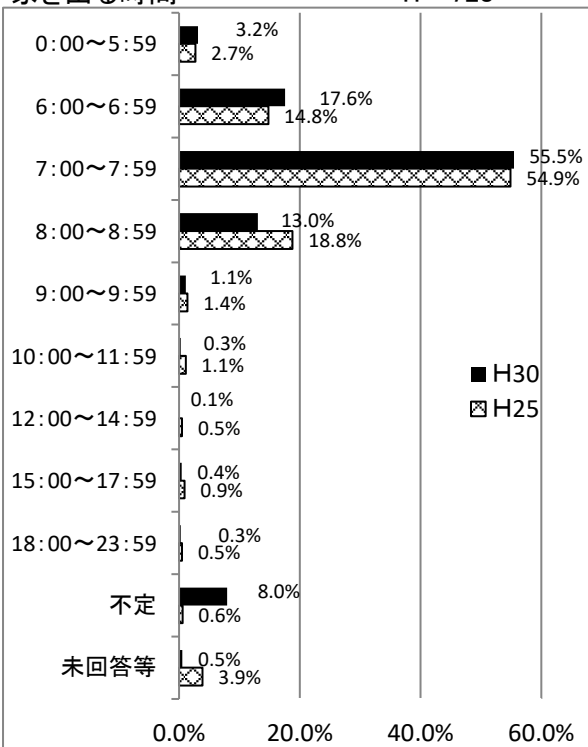


就労時間は週当たり「5日」、日当たり「8～9時間」が最も多い

就労している父親の週あたりの就労日数は「5日」(51.8%)と最も多くなり、平成25年の調査で最も多かった「6日」が次いで多くなっています。日当たりの就労時間は「8～9時間未満」(43.3%)が最も多くなっています。

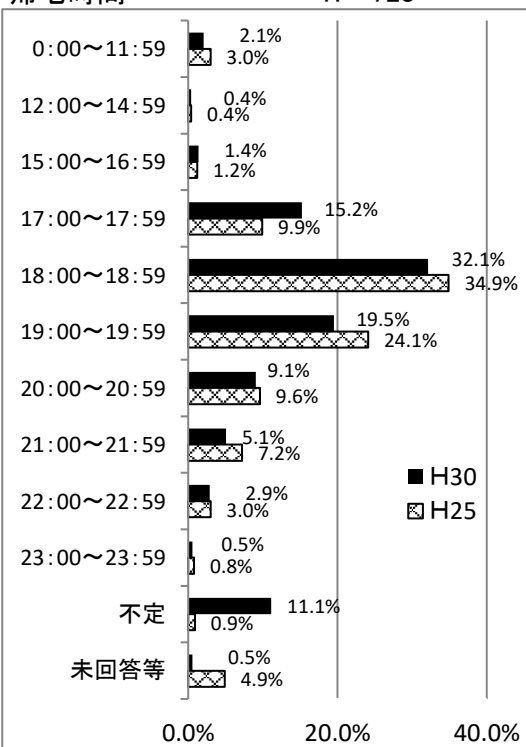
家を出る時間

n=728



帰宅時間

n=728

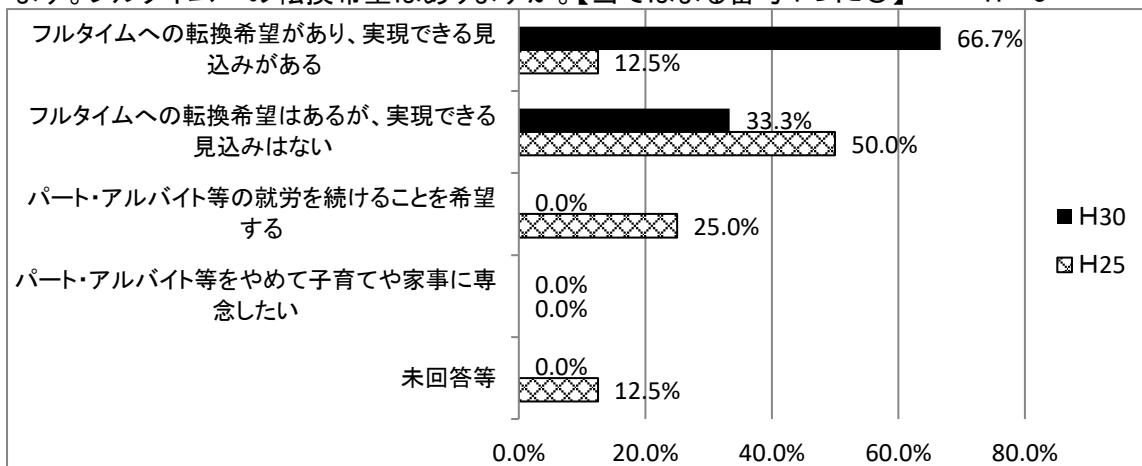


家を出る時間は「7:00～7:59」、帰宅時間は「18:00～18:59」が最も多い

就労している父親の家を出る時間は、「7:00～7:59」(55.5%)と最も多く、帰宅時間は「18:00～18:59」(32.1%)が最も多くなっています。帰宅時間は平成25年と比較して「17:00～17:59」が約5ポイント上昇し、反対に「19:00～19:59」が5ポイント減少しました。

② フルタイムへの転換希望(父親)

12-①の質問で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。【当てはまる番号1つに○】 n=3

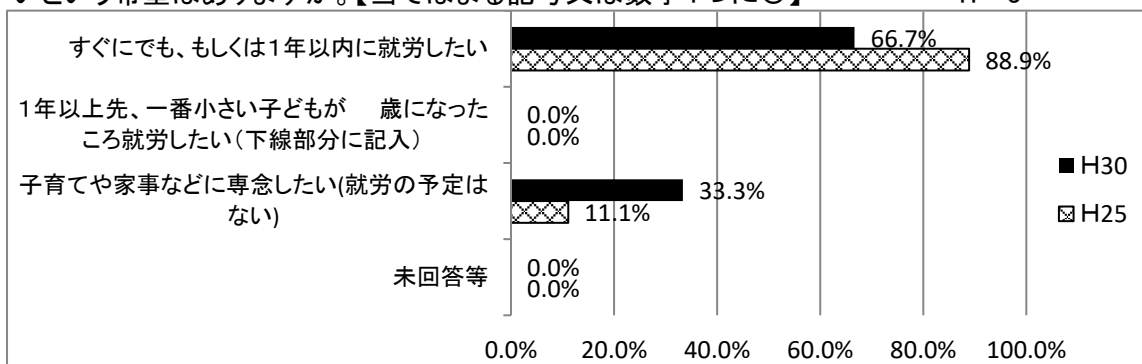


「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が最も多い

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(66.7%)と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(33.3%)となっています。

③ 就労希望(父親)

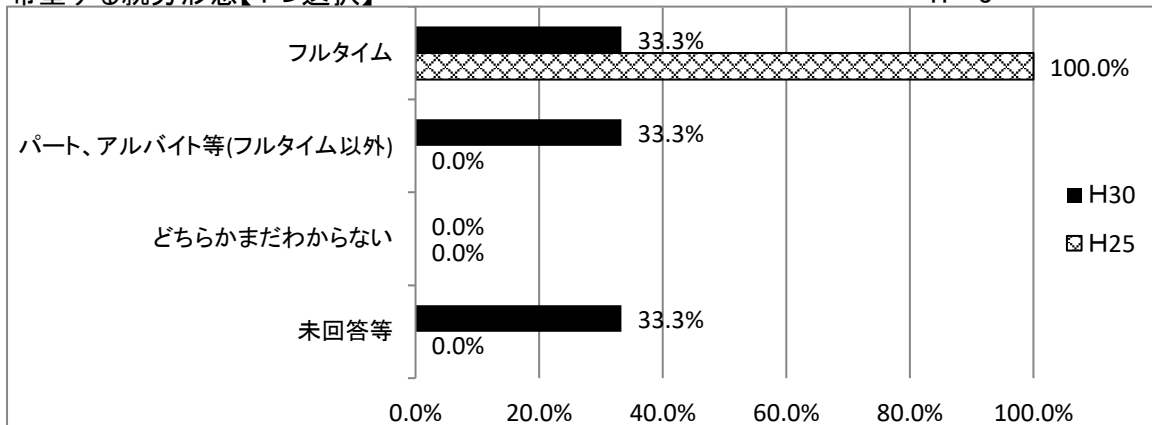
12-①の質問で「5.」または「6.」(現在就労していない)を選んだ方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。【当てはまる記号又は数字1つに○】 n=3



7割弱が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答

現在就労していない父親の就労希望は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(66.7%)と最も多くなっており、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が平成25年より約22ポイント上昇して33.3%となっています。

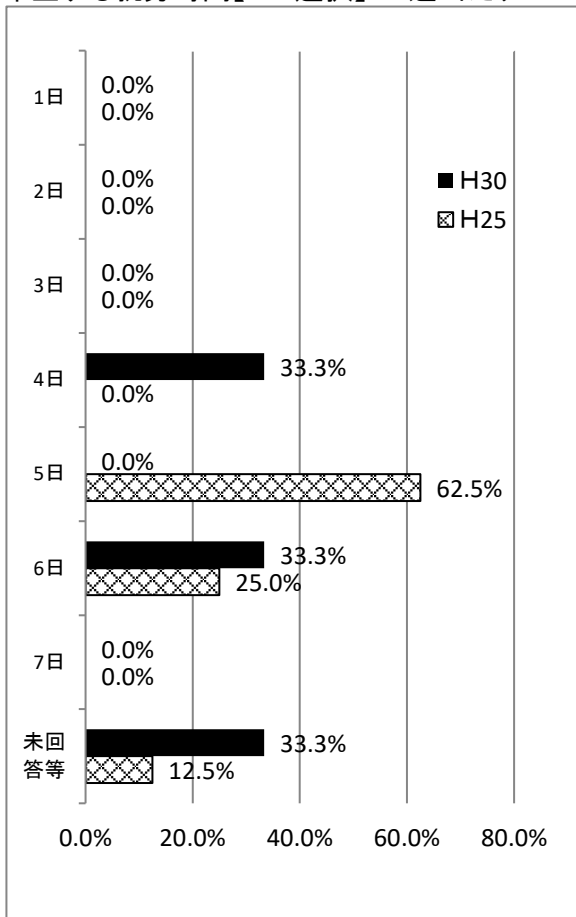
希望する就労形態【1つ選択】



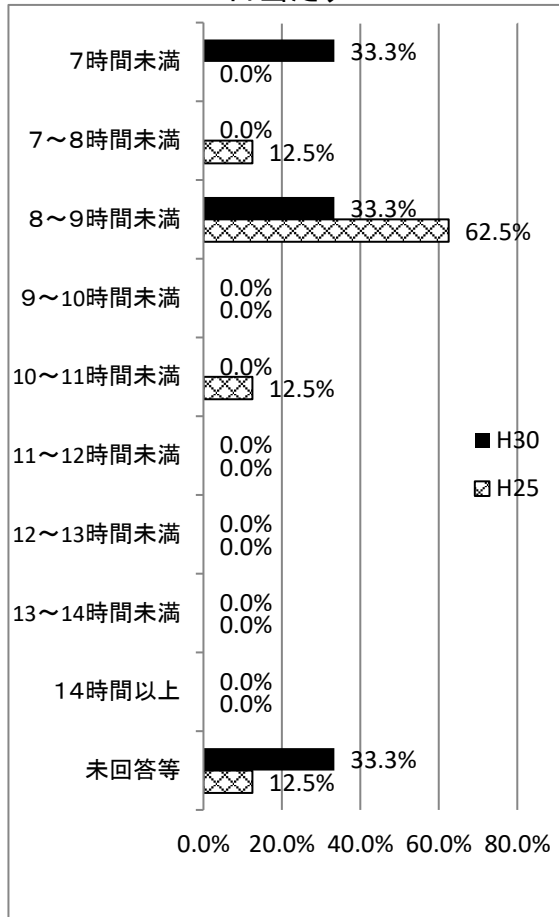
「フルタイム」「パート、アルバイト等」が同数

すぐにでも、もしくは1年以内に就職したい父親の希望就労形態は、「フルタイム」「パート、アルバイト等」が同数の回答でした。

希望する就労時間【1つ選択】 1週当たり n=3



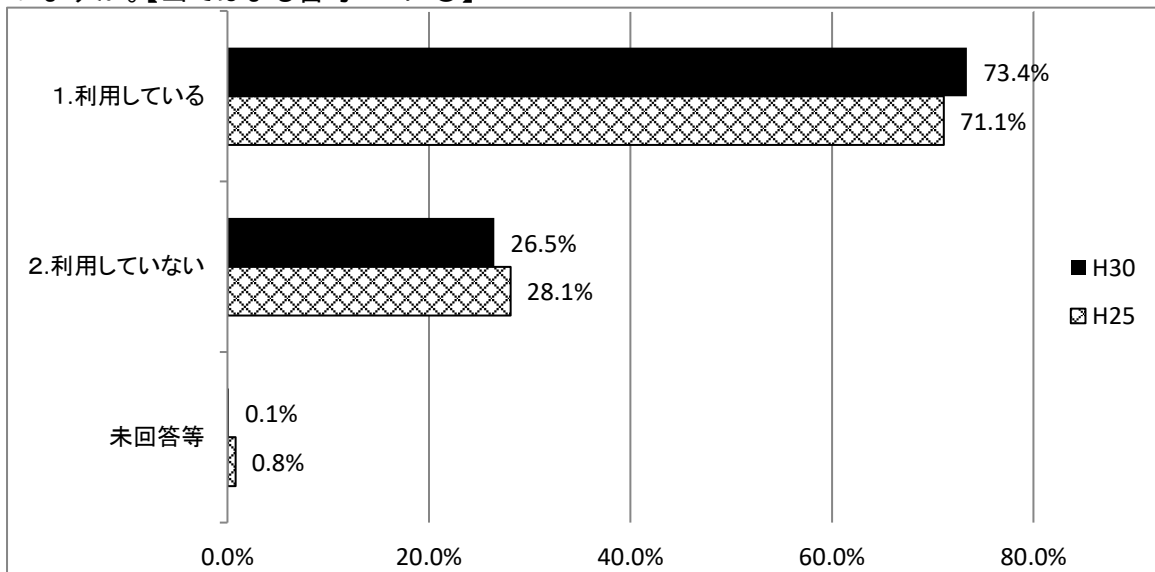
1日当たり n=3



「4日」と「6日」、「7時間未満」と「8～9時間未満」が同数

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい父親の希望就労時間は週当たりで「4日」と「6日」、日当たりで「7時間未満」と「8～9時間未満」が同数となっています。

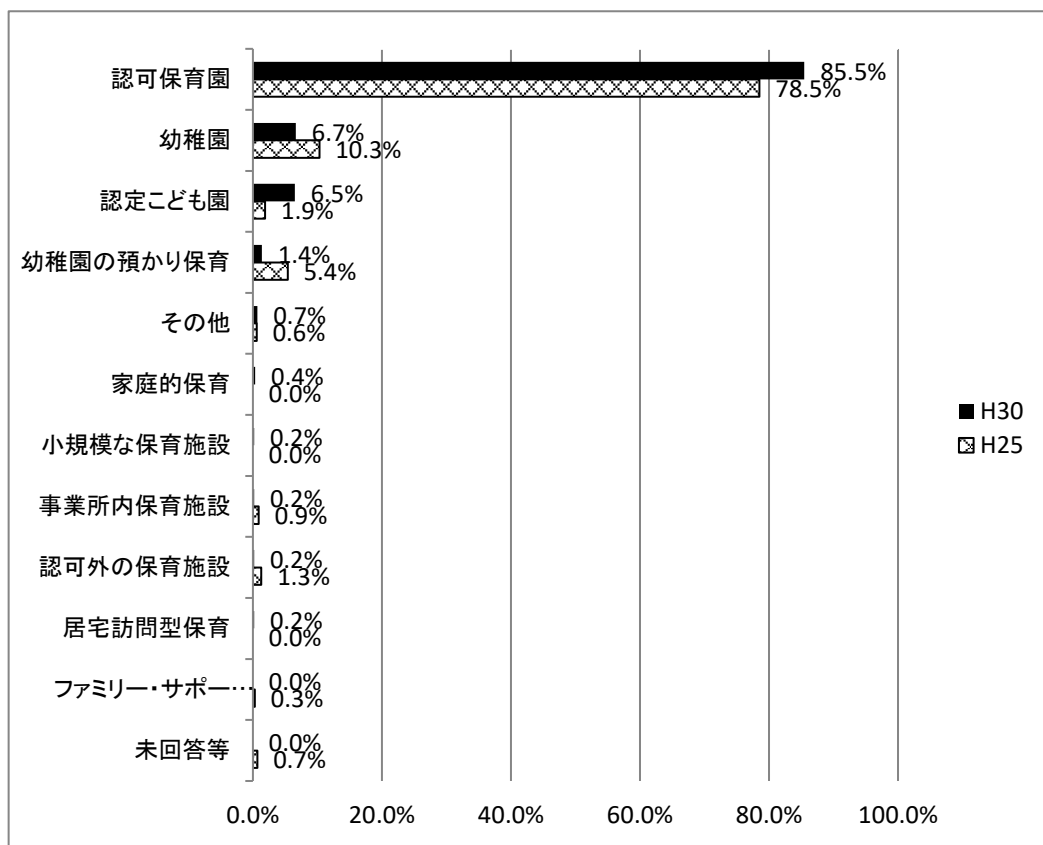
13 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。【当てはまる番号1つに○】 n=778



7割強が「利用している」と回答

平成25年より約2ポイント上昇して7割強が「利用している」(73.4%)と回答しています。

- ② 13-②～13-④は、問13で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。【当てはまる番号すべてに○】 n=571

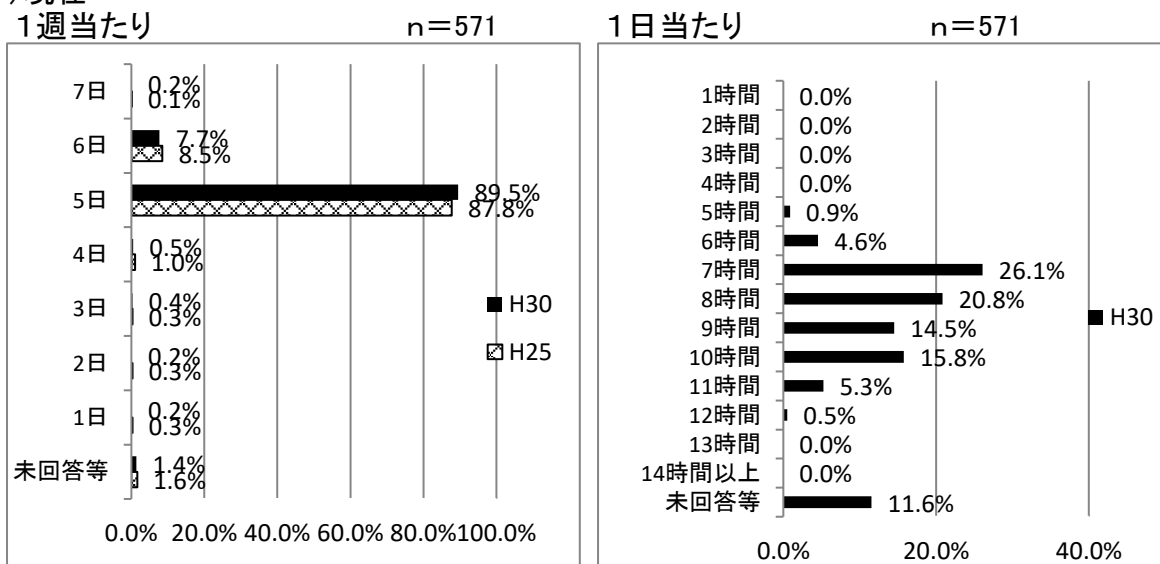


「認可保育園」が8割強

利用している事業は「認可保育園」(85.5%)と最も多く、「幼稚園」(6.7%)、「認定こども園」(6.5%)と続いています。

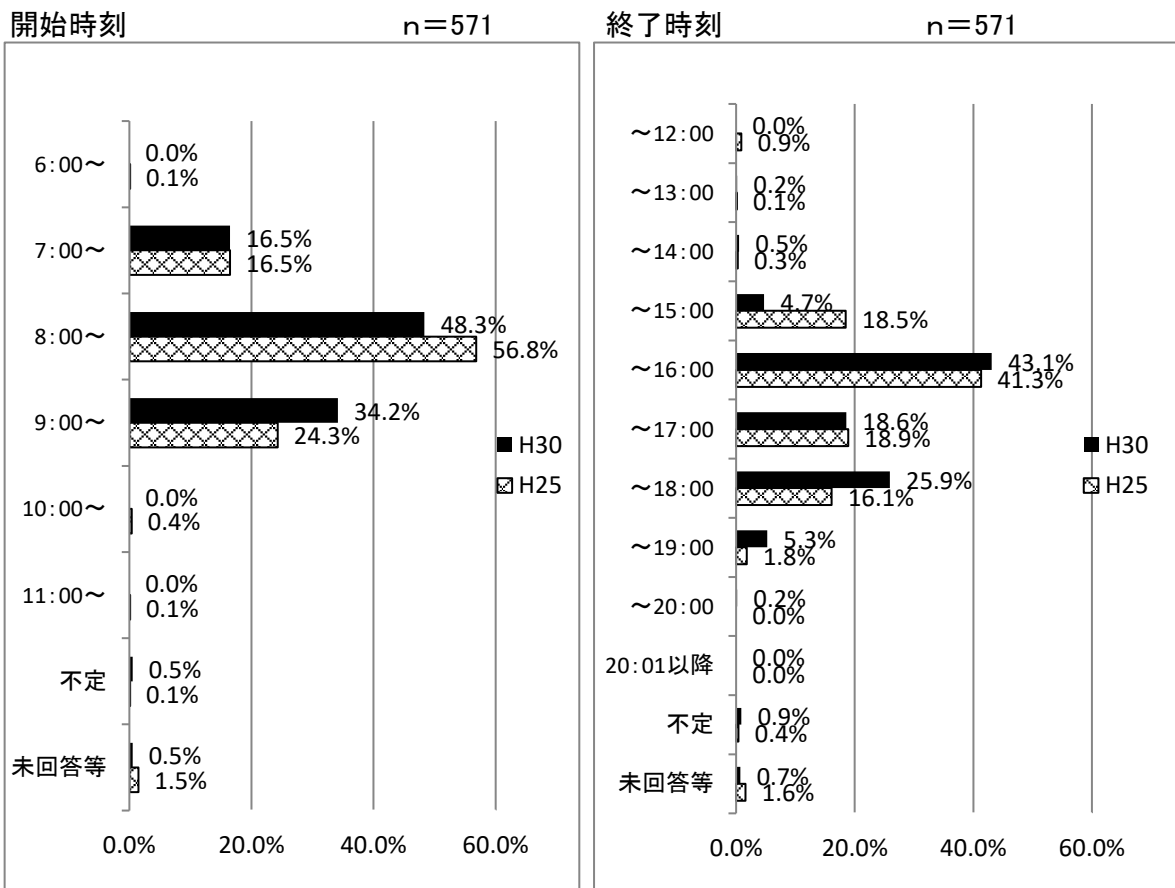
- ③ 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。【1週当たり何日、1日当たり何時間、開始時刻及び終了時刻を、それぞれ当てはまる数字又は記号1つに○】

(1) 現在



週当たり「5日」9割弱、日あたりは「7時間」が最も多い

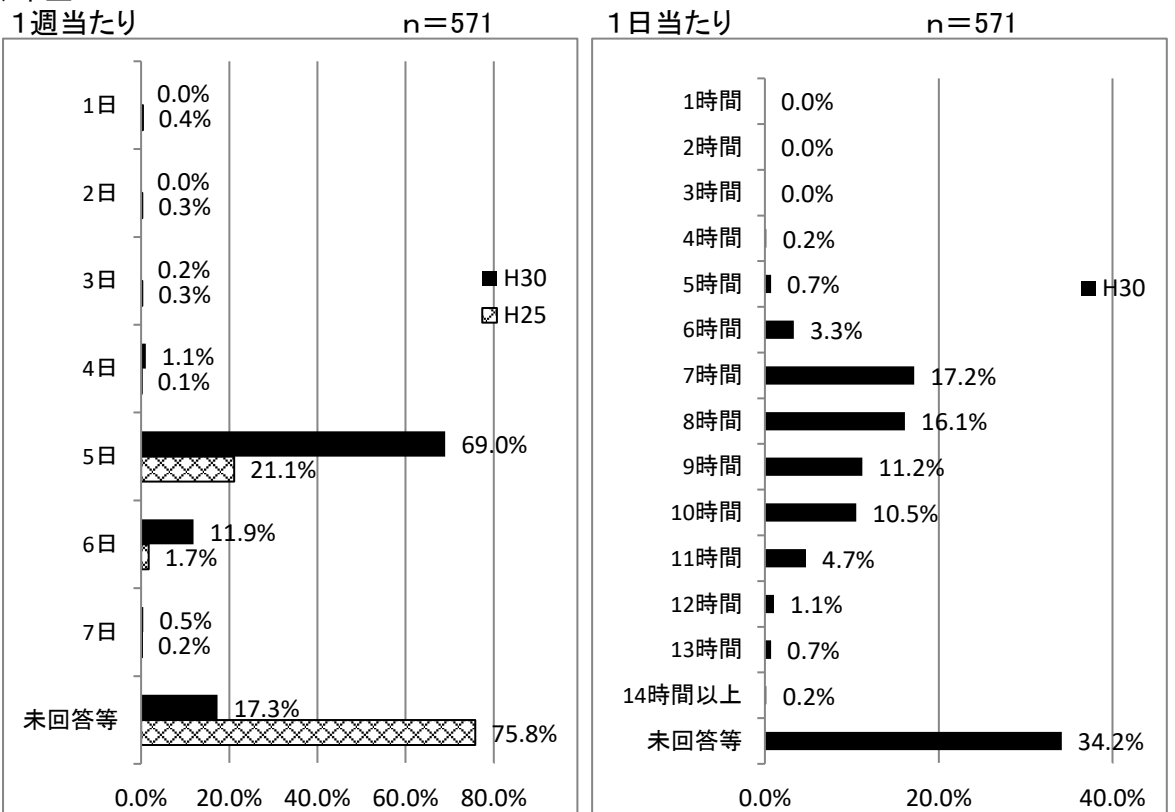
現在利用している方の利用時間は週当たり「5日」(89.5%)、日あたりでは「7時間」(26.1%)が最も多くなっています。



開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~16:00」が最も多い

現在利用している方の利用時間帯は、開始時刻が「8:00~」(48.3%)、終了時刻は「~16:00」(43.1%)が最も多く、ともに4割超となっています。

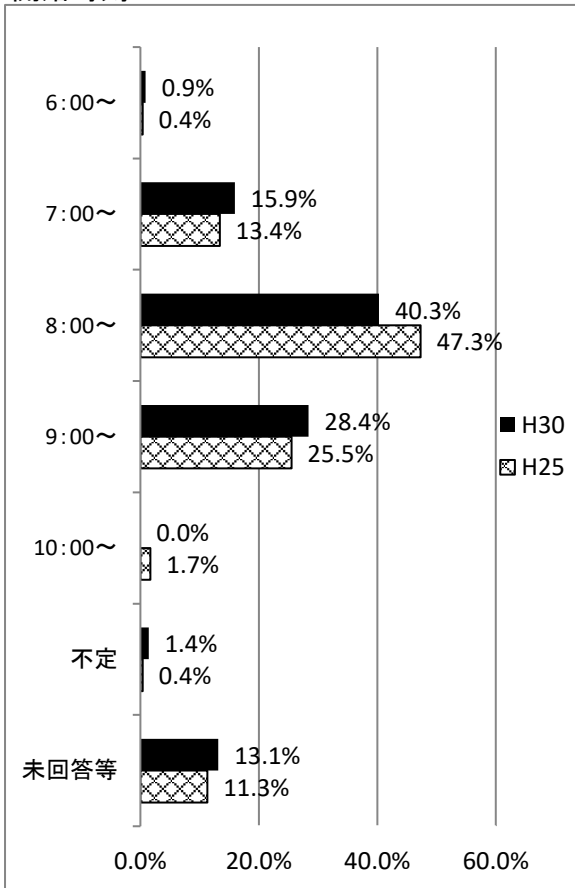
(2) 希望



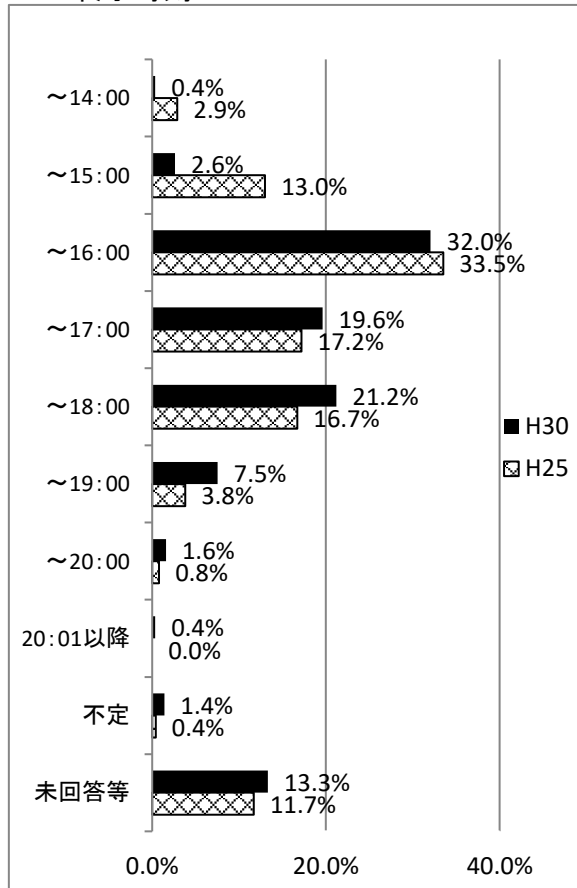
希望は週当たり「5日」、日当たり「7時間」が最も多い

利用の希望時間は、週当たり「5日」(69.0%)、日当たり「7時間」(17.2%)が最も多くなっています。

開始時刻 n=571



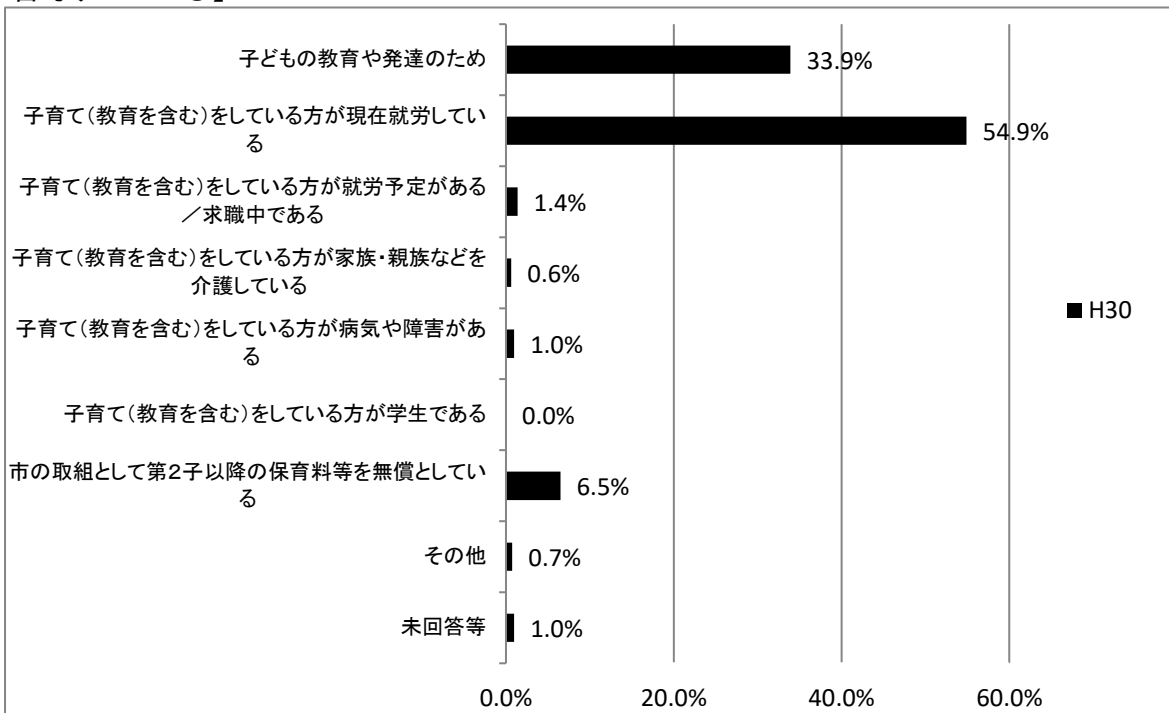
終了時刻 n=571



希望の開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~16:00」が最も多い

希望の開始時刻は「8:00~」(40.3%)、終了時刻は「~16:00」(32.0%)が最も多くなっています。

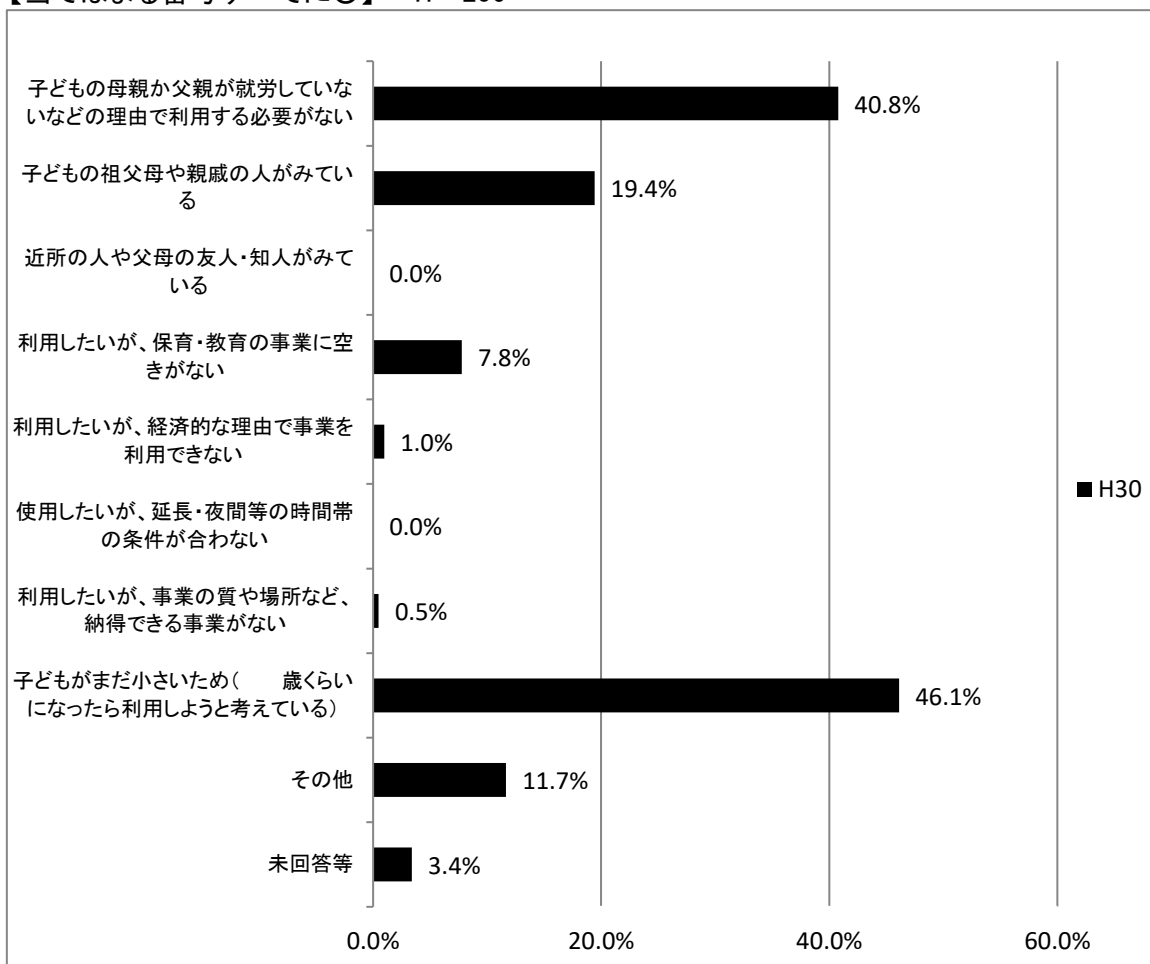
④ 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。【当てはまる番号すべてに○】 n=571



「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が5割強

教育・保育の事業を利用されている理由については、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(54.9%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(33.9%)と続いています。

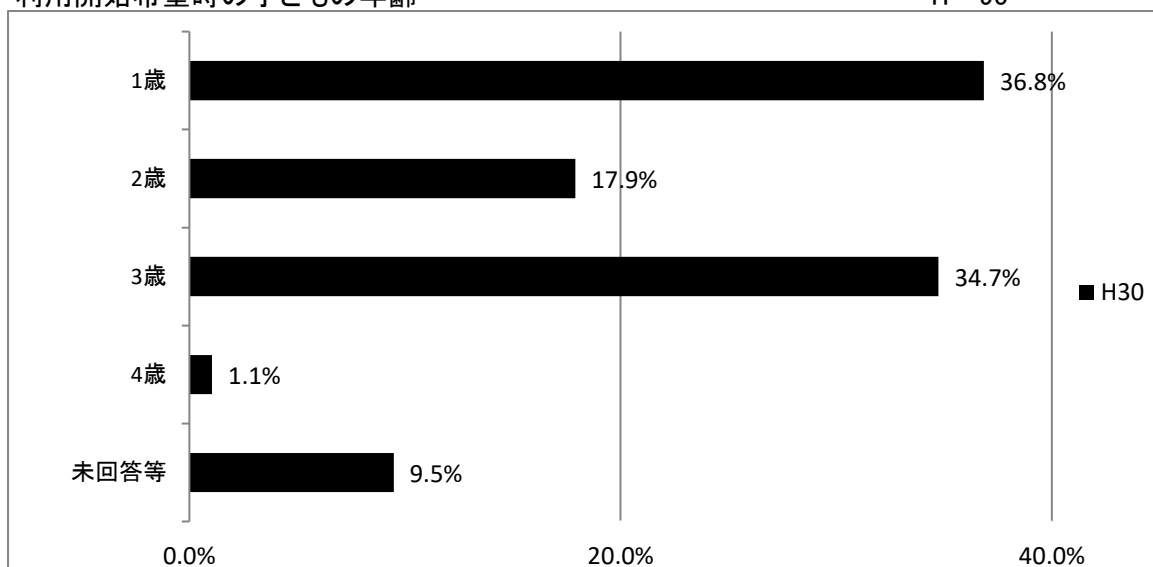
⑤ 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。
【当てはまる番号すべてに○】 n=206



「子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)」が最も多い理由について、「子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)」(46.1%)が最も多く、次いで「子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない」(40.8%)となっています。

利用開始希望時の子どもの年齢

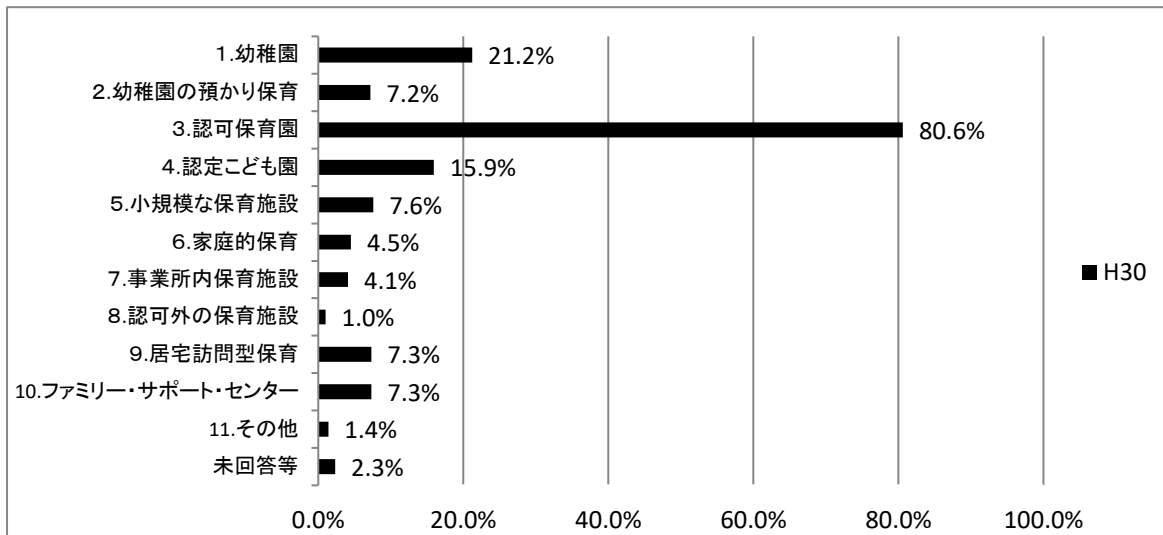
n=95



「1歳」が4割弱

利用開始希望の子どもの年齢は「1歳」(36.8%)が最も多く、次いで「3歳」(34.7%)となっています。

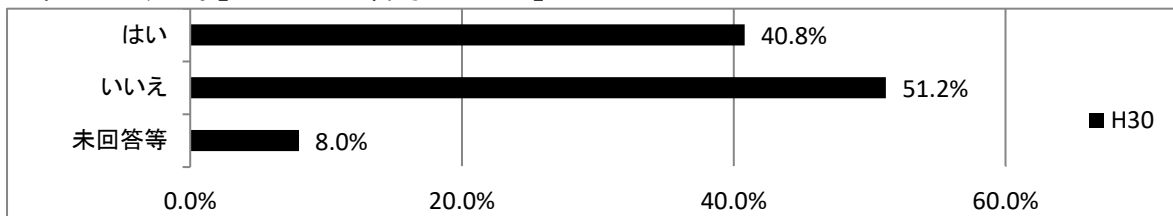
14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
【当てはまる番号すべてに○】 n=778



「認可保育園」が8割強

利用したい事業は「認可保育園」(80.6%)が最も多く、次いで「幼稚園」(21.2%)となっています。

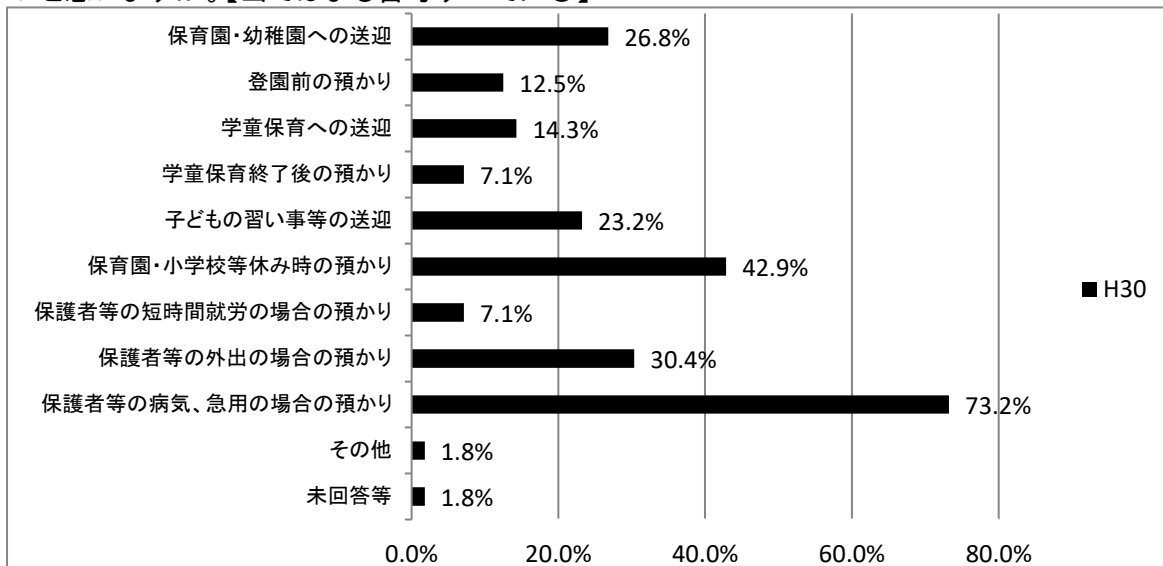
② 問14で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方に伺います。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。【当てはまる番号1つに○】 n=125



幼稚園の利用を強く希望「いいえ」が5割強

特に幼稚園の利用を強く希望する回答は「いいえ」(51.2%)が5割を超え、「はい」(40.8%)が4割強でした。

③ 問14で「10. ファミリー・サポート・センター」に○をつけた方に伺います。どのようなとき利用したいと思いますか。【当てはまる番号すべてに○】 n=56



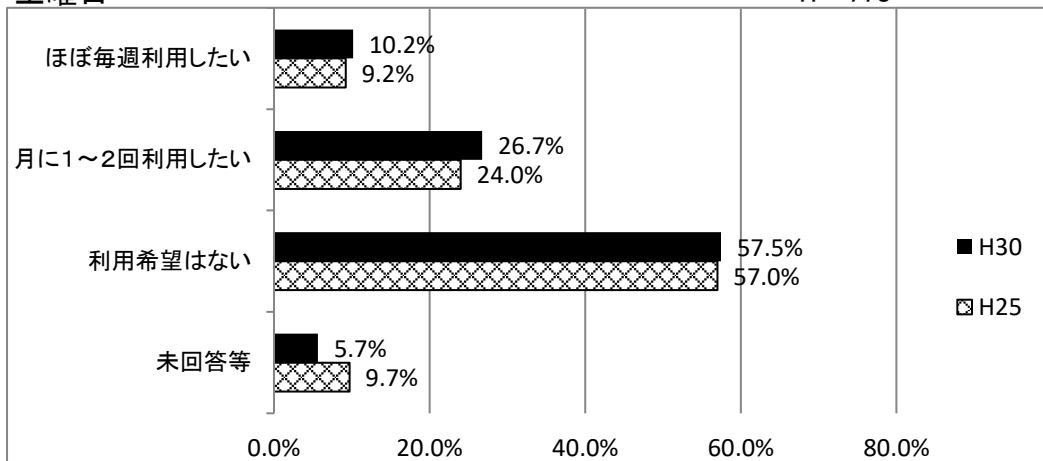
「保護者等の病気、急用の場合の預かり」が7割強

ファミリーサポートセンターを利用したい理由は「保護者等の病気、急用の場合の預かり」(73.2%)で最も高くなっています。

15 あて名のお子さんについて、土・日・祝日及び春・夏・冬休みなどの長期休暇中における定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除く)。利用希望の有無と利用したい時間帯をそれぞれ当てはまる記号1つに○をつけてください。現在利用中の方は、今後の希望をご記入ください。(長期休暇中は幼稚園利用者のみ)。

土曜日

n=778



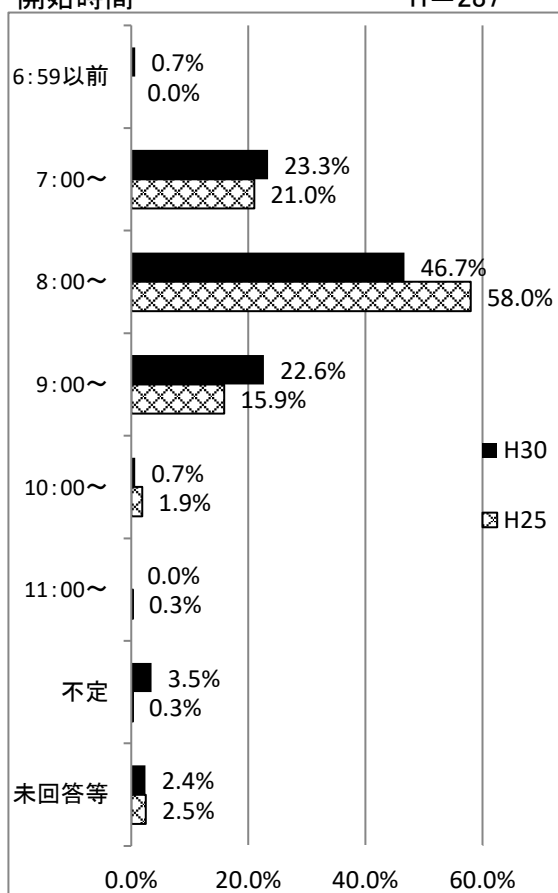
3割強が「利用したい」と回答

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は「月に1~2回利用したい」(26.7%)と「ほぼ毎週利用したい」(10.2%)が3割強となっています。

土曜日 利用したい時間帯

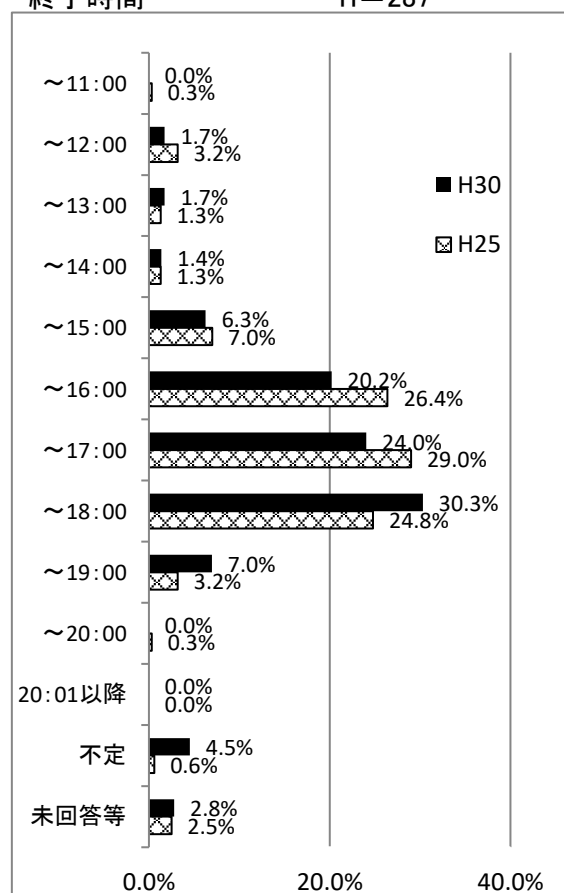
開始時間

n=287



終了時間

n=287

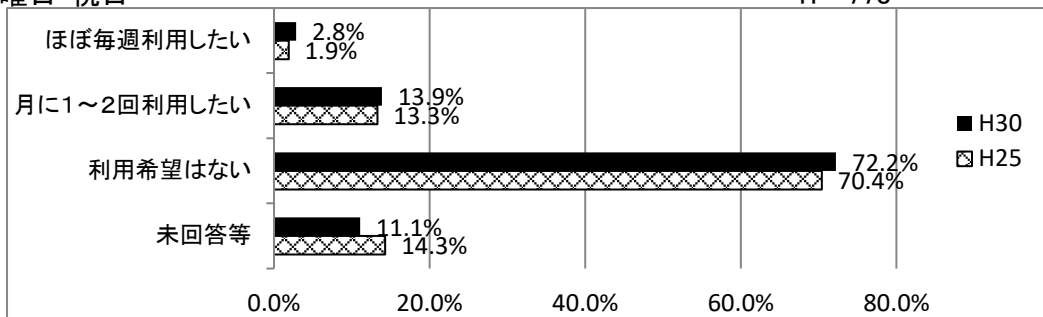


開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~18:00」が最も多い

土曜日の利用したい時間帯は開始時刻が「8:00~」(46.7%)、終了時刻は「~18:00」(30.3%)が最も多くなっています。

日曜日・祝日

n=778



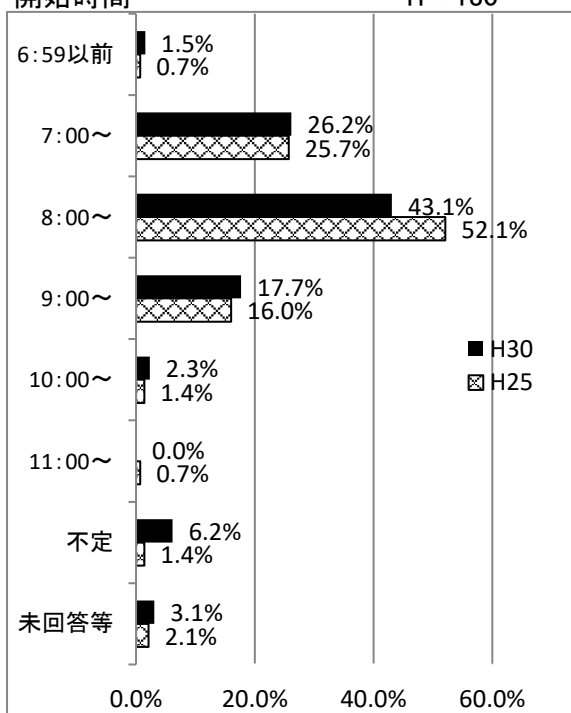
1割強が「利用したい」と回答

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は「月に1~2回利用したい」(13.9%)と「ほぼ毎週利用したい」(2.8%)が1割強となっています。また「利用希望はない」(72.2%)は7割強となっています。

日曜日・祝日 利用したい時間帯

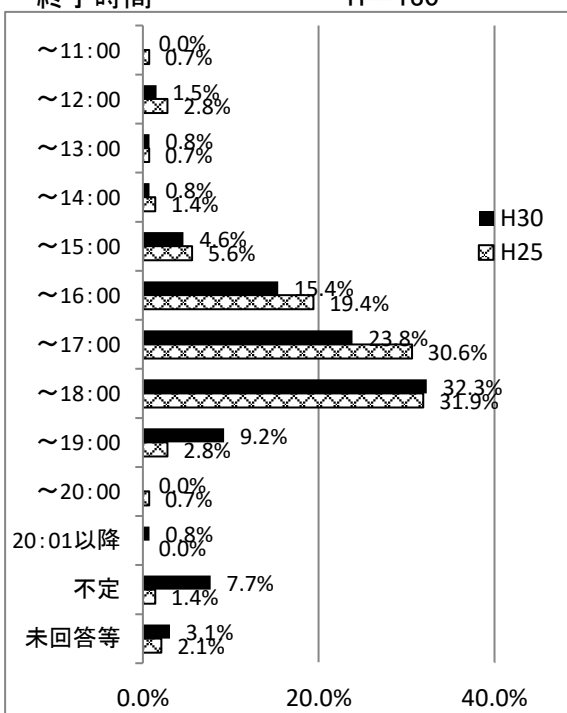
開始時間

n=130



終了時間

n=130

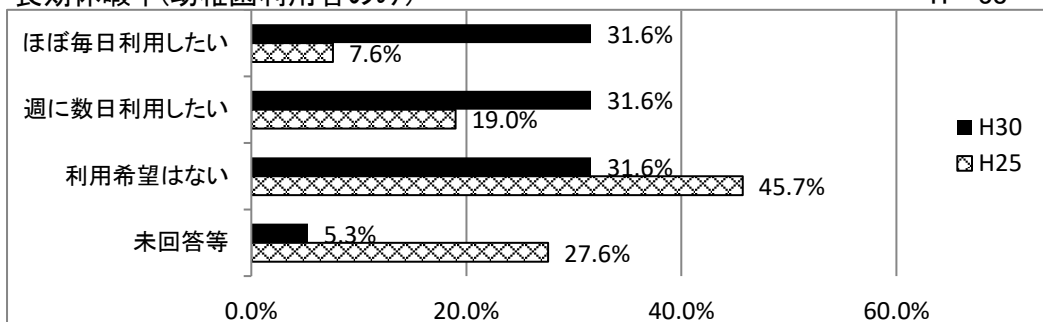


開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~18:00」が最も多い

日曜日・祝日の利用したい時間帯は開始時刻が「8:00~」(43.1%)、終了時刻は「~18:00」(32.3%)が最も多くなっています。

長期休暇中(幼稚園利用者のみ)

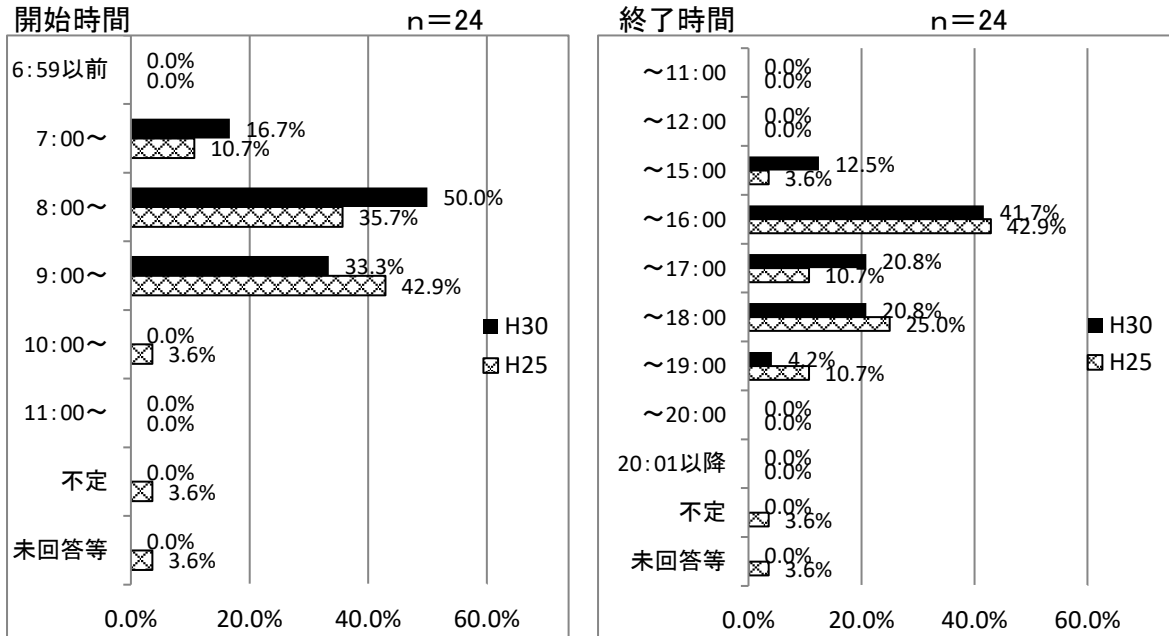
n=38



6割強が「利用したい」と回答

長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望は「月に1~2回利用したい」(31.6%)と「ほぼ毎週利用したい」(31.6%)が6割強となっています。

長期休暇中(幼稚園利用者のみ) 利用したい時間帯



開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~16:00」が最も多い

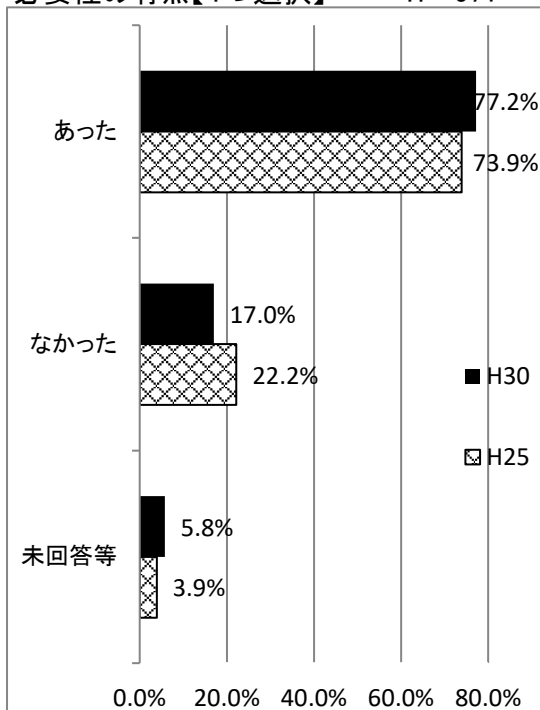
長期休暇中の利用したい時間帯は、開始時刻が「8:00~」(43.1%)、終了時刻は「~18:00」(32.3%)が最も多くなっています。

16 問15で平日日中の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方にお伺いします。利用していない方は問19へお進みください。

あて名のお子さんについて、この1年間(平成29年12月~平成30年11月の間)に病気やケガのために通常の教育・保育事業を利用できず、特別な対応をとる必要がありましたか。必要があった場合はこの1年間に行った対処方法を選択し、それぞれの当てはまる日数の記号にそれぞれ1つ〇をつけてください。(半日の場合も1日とカウントしてください。)

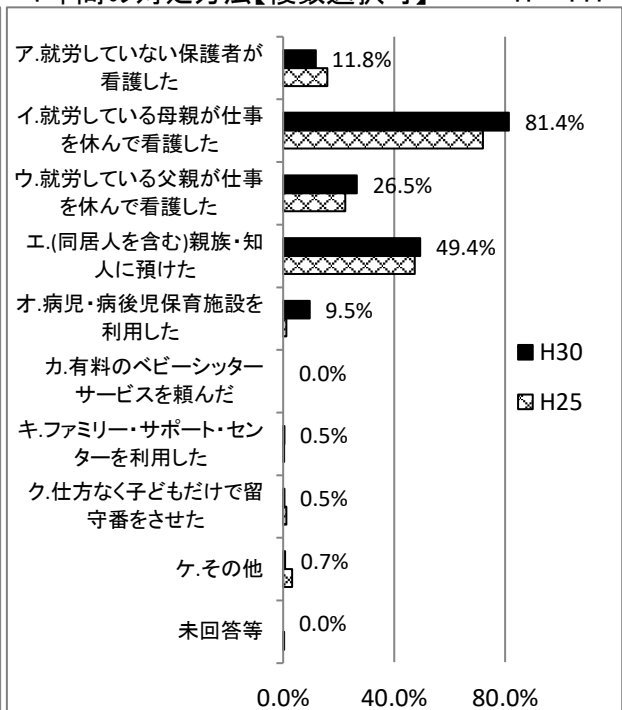
必要性の有無【1つ選択】

n=571



1年間の対処方法【複数選択可】

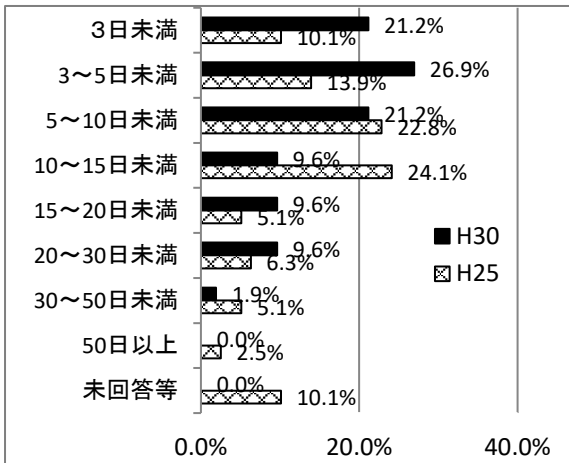
n=441



7割強が必要性が「あった」(72.2%)と回答し、対処方法は8割強が「就労している母親が仕事を休んで看護した」(81.4%)と回答しています。

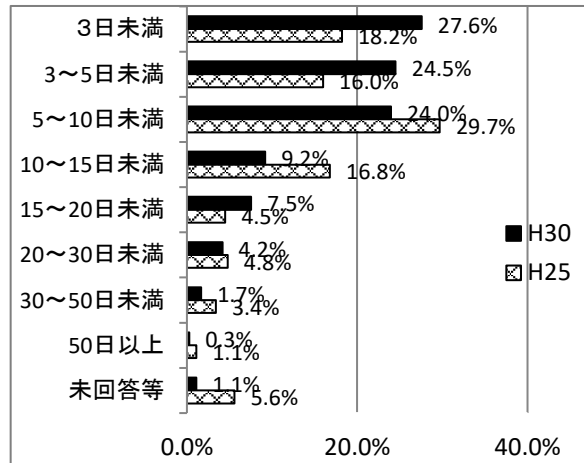
年間日数

ア 就労していない保護者が看護した
n=52



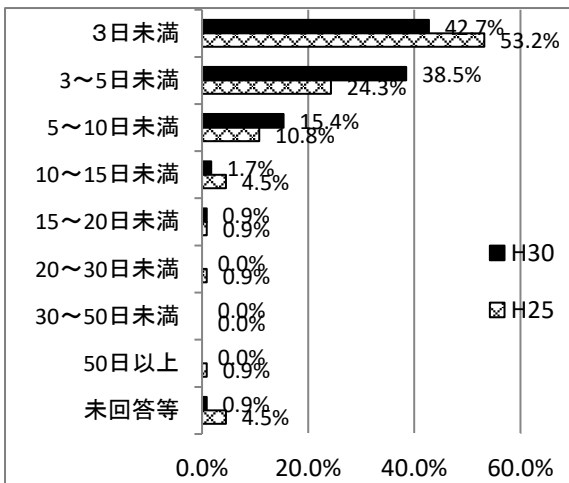
「3~5日未満」(26.9%)が最も多い

イ 就労している母親が仕事を休んで看護した
n=359



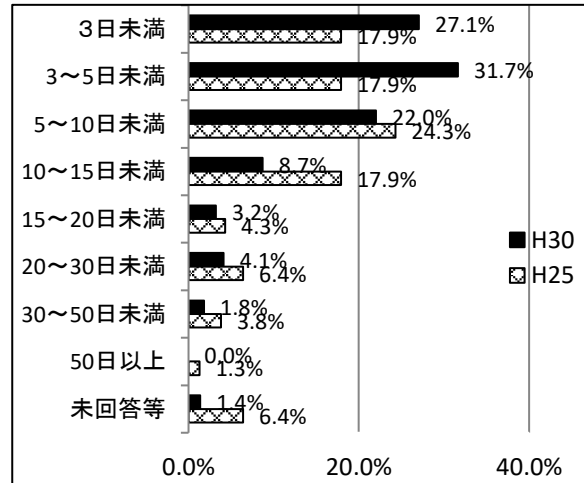
「3日未満」(27.6%)が最も多い

ウ 就労している父親が仕事を休んで看護した
n=117



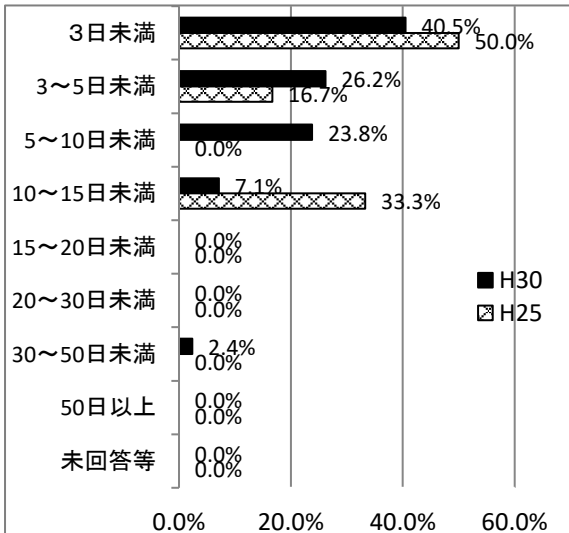
「3日未満」(42.7%)が最も多い

エ (同居人を含む)親族・知人に預けた
n=218



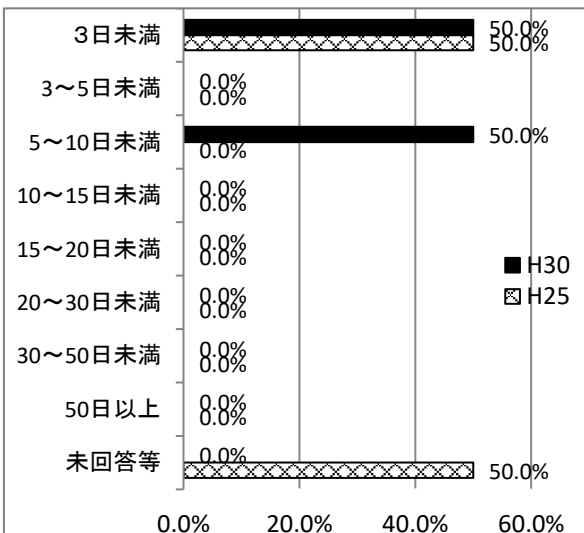
「3~5日未満」(27.1%)が最も多い

オ 病児・病後児保育施設を利用した
n=42



「3日未満」(40.5%)が最も多い

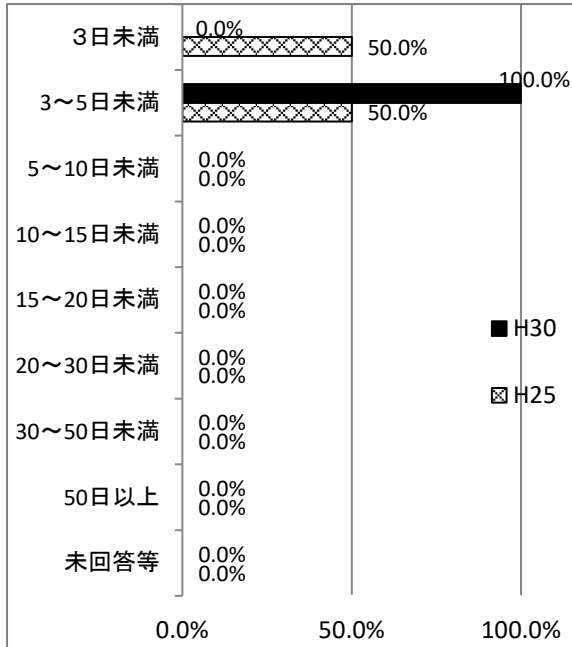
キ ファミリー・サポート・センターを利用した
n=2



「3日未満」(50.0%)と「5~10日」(50.0%)が半々

ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

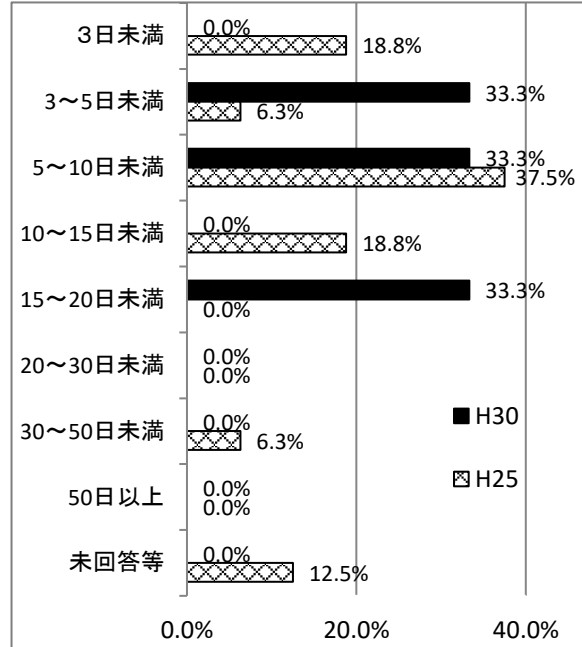
n=2



全員が「3～5日未満」と回答

ケ その他

n=3

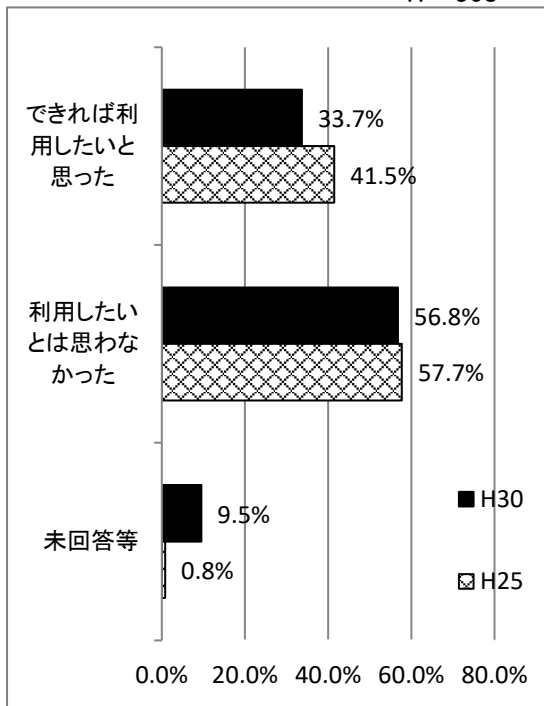


「3～5日未満」「5～10日未満」「15～20日未満」が各1/3

17 問16の対処方法で、「イ。」または「ウ。」を選んだ方にお伺いします。その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか。思われた場合は希望日数と利用したい事業形態を、思わなかった場合はその理由をお答えください。

病気の際の意向【1つ選択】

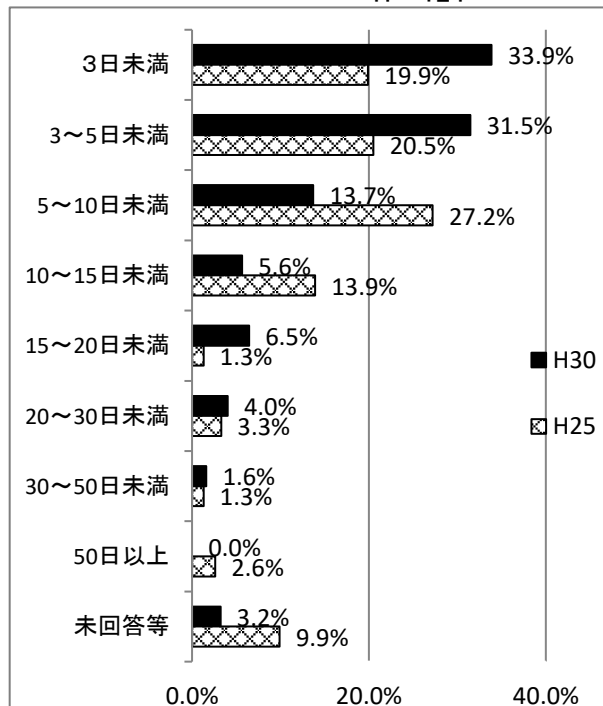
n=368



希望日数【1つ選択】

問16でイ、ウと答えた日数の合計に対して

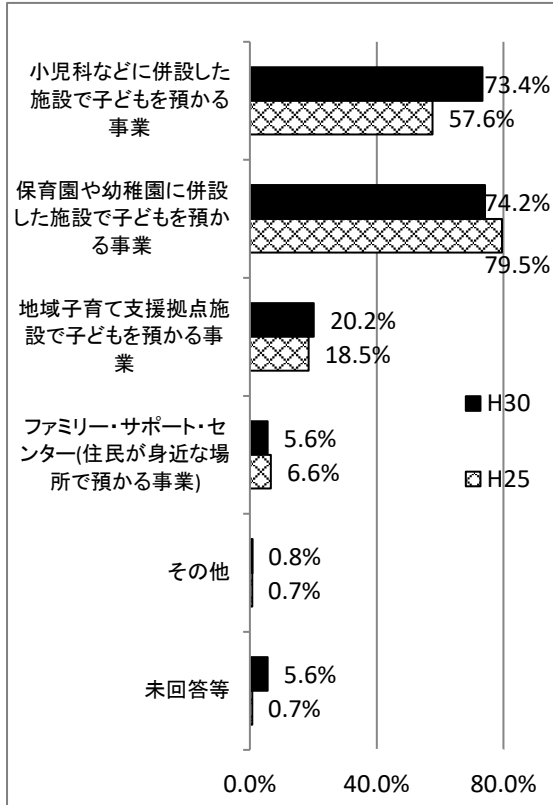
n=124



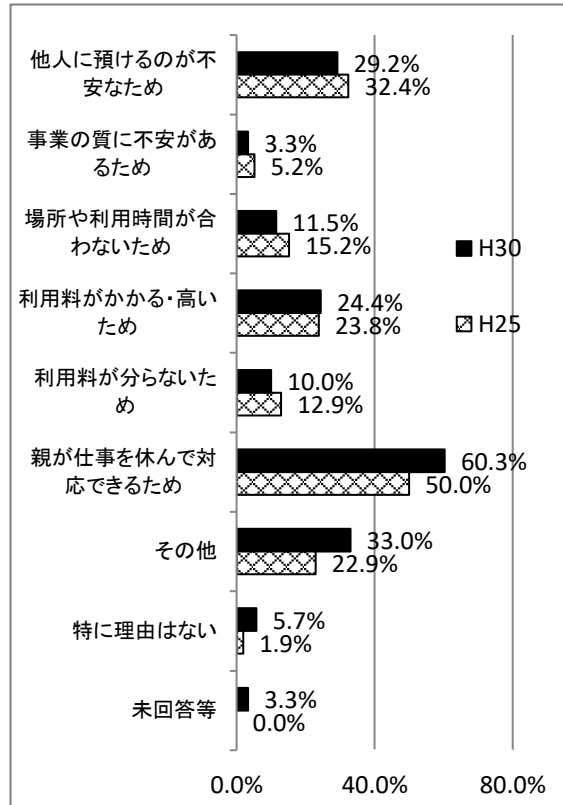
3割強が「できれば利用したいと思った」と回答し、希望日数は「3日未満」が最も多い

病児・病後児保育事業の利用意向としては、3割強が「できれば利用したいと思った」(33.7%)と回答し、希望日数は「3日未満」(33.9%)が最も多くなっています。

希望する事業形態【複数選択可】n=124



思わなかった理由【複数選択可】n=209

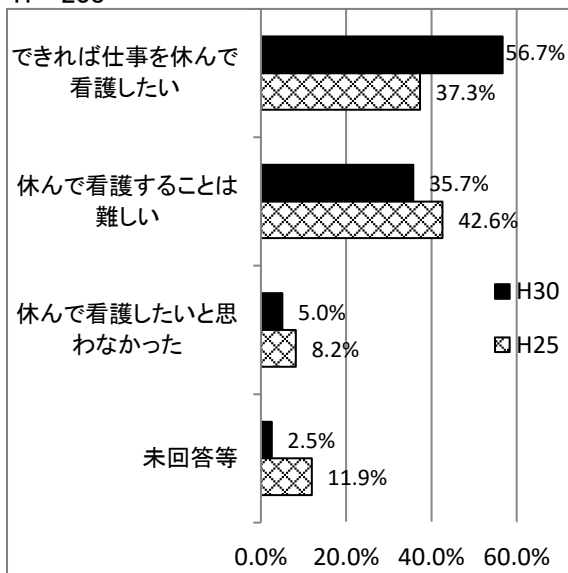


「保育園や幼稚園に併設した施設で子どもを預かる事業」「小児科などに併設した施設で子どもを預かる事業」がともに7割強

「親が仕事を休んで対応できるため」が6割強

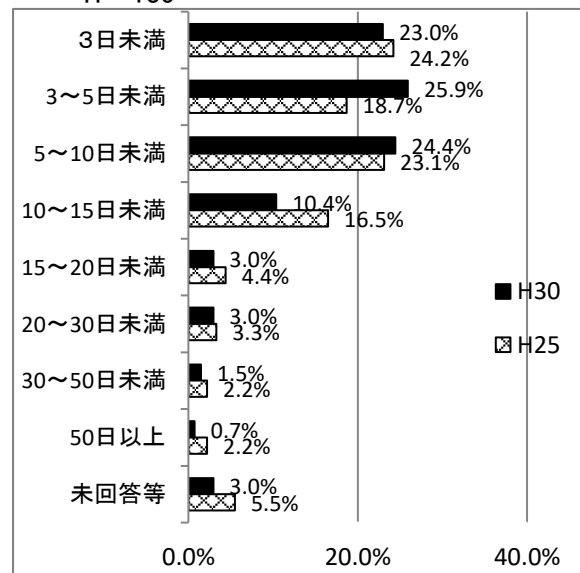
18 問16の対処方法で、「エ.」から「ク.」のいずれかを選んだ方にお伺いします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。思われた方はできれば仕事を休んで看護したいと思う日数を、休んで看護することが難しい場合はその理由を合わせてお答えください。

希望の有無【1つ選択】n=238



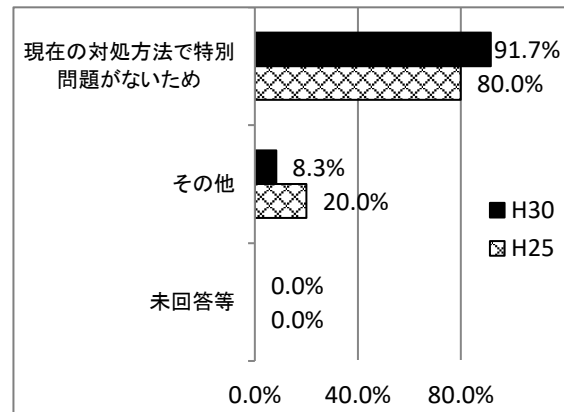
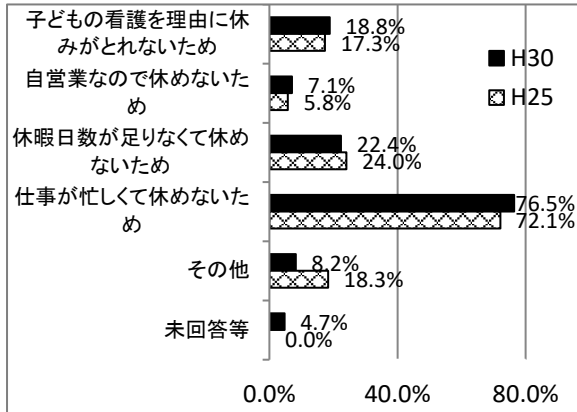
「できれば仕事を休んで看護したい」が5割強

できれば仕事を休んで看護したい 希望日数【2つ選択】n=135



「3~5日未満」が最も多い

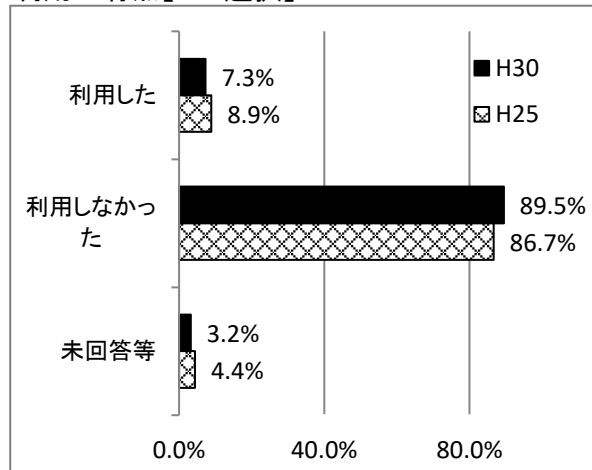
休んで看護することは難しい その理由【複数選択可】 n=85
休んで看護したいと思わなかった その理由 n=12



「仕事が忙しくて休めないため」が7割超 9割強が現在の対処方法で特別問題がない

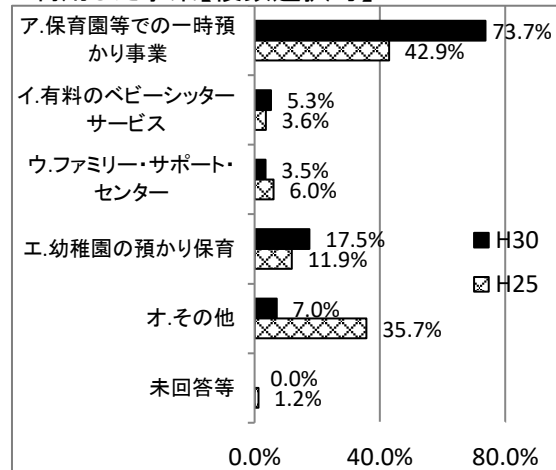
19 あて名のお子さんについて、この1年間(平成29年12月～平成30年11月の間)に、私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用した事業はありますか。利用があった場合はこの1年間に利用した事業を選択し、それぞれ日数をお答えください。(半日の場合も1日とカウントしてください。)

利用の有無【1つ選択】 n=778



9割弱が「利用しなかった」と回答

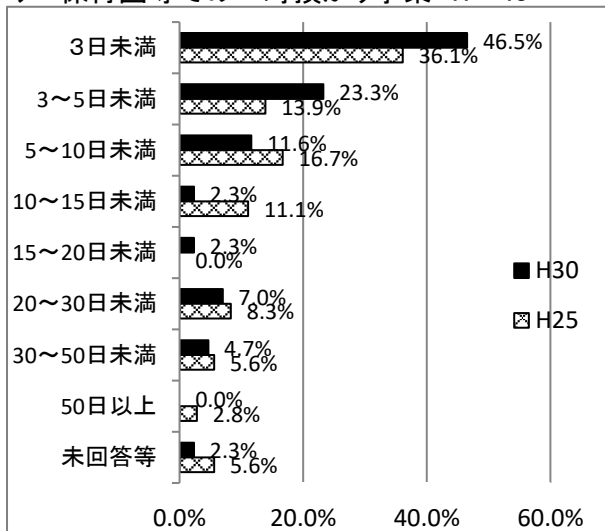
利用した事業【複数選択可】 n=57



7割強が「保育園等での一時預かり事業」を利用

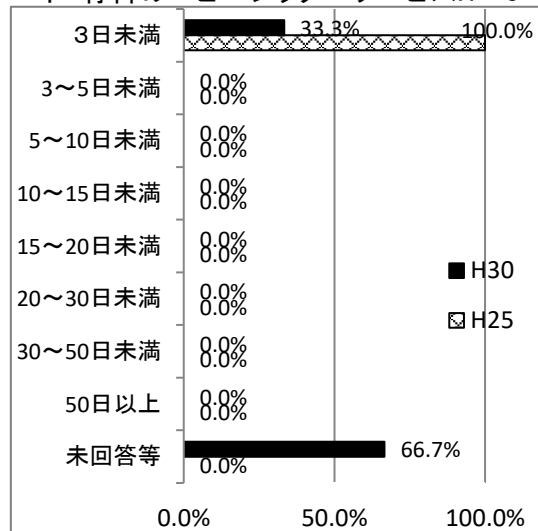
年間日数【1つ選択】

ア 保育園等での一時預かり事業 n=43



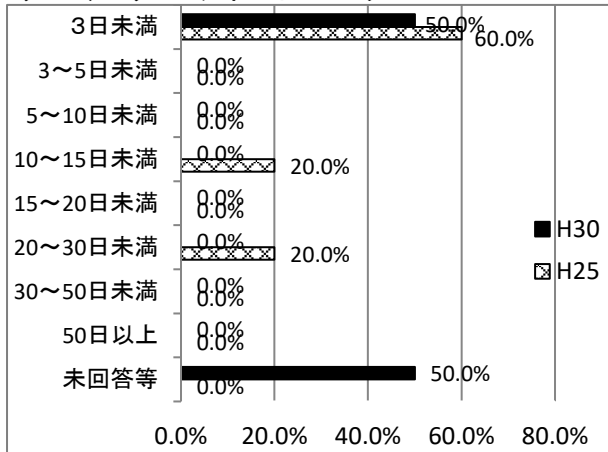
「3日未満」が4割強

イ 有料のベビーシッターサービス n=3



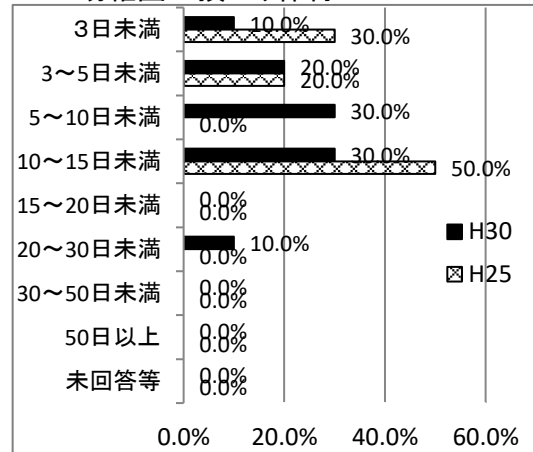
「3日未満」が3割強

ウ ファミリー・サポート・センター n=2



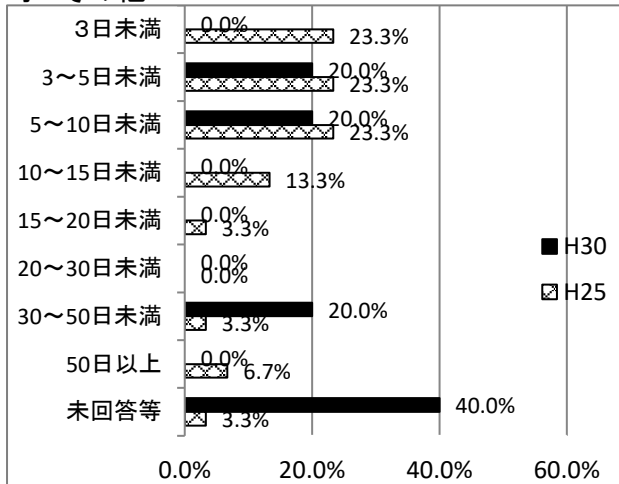
「3日未満」が5割

エ 幼稚園の預かり保育 n=10



「5~10日」「10~15日」がそれぞれ3割

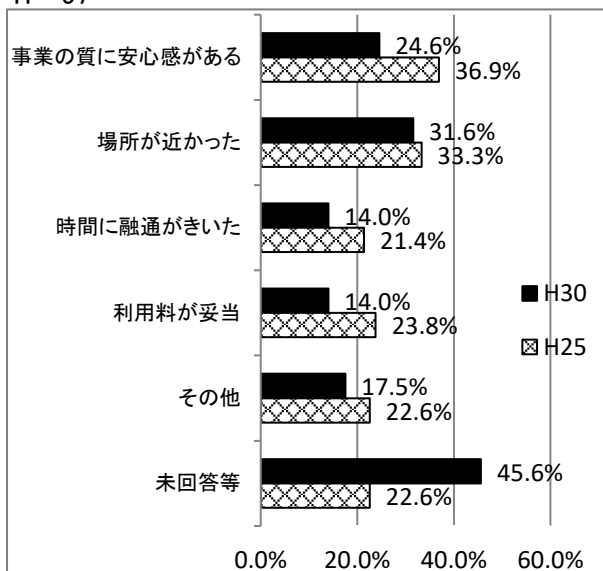
オ その他 n=5



「3~5日」「5~10日」「30~50日」がそれぞれ2割

上記のア～オを選んだ理由【複数選択可】

n=57

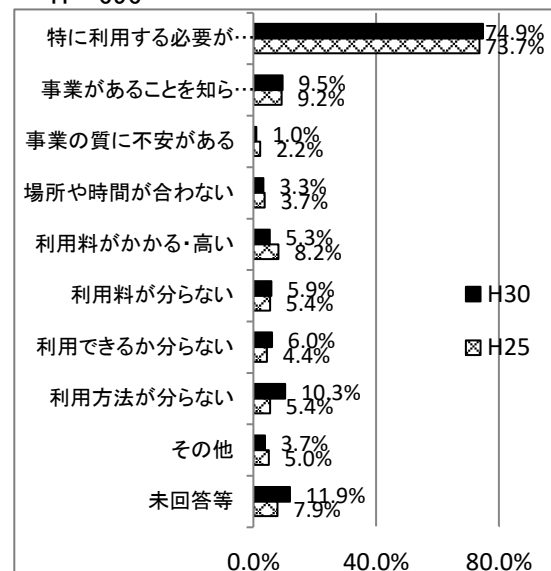


「場所が近かった」が最も多い

利用した事業を選んだ理由は「場所が近かった」(31.6%)が最も多く、次いで「事業の質に安心感がある」(24.6%)となっており、平成25年の調査と入れ替わっています。また、利用しなかった理由は「特に利用する必要がない」(74.9%)が最も多くなっています。

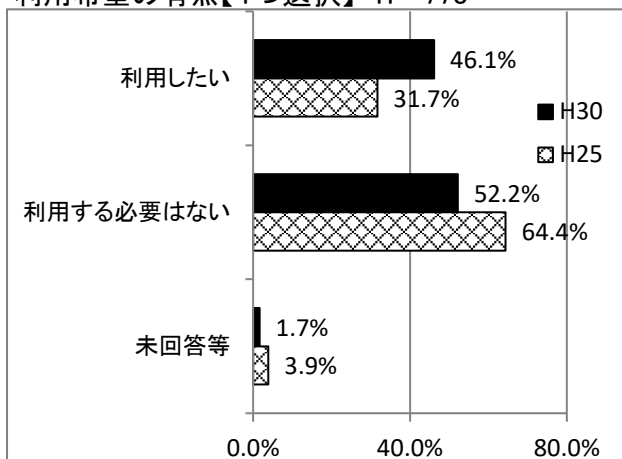
利用しなかった理由【複数選択可】

n=696

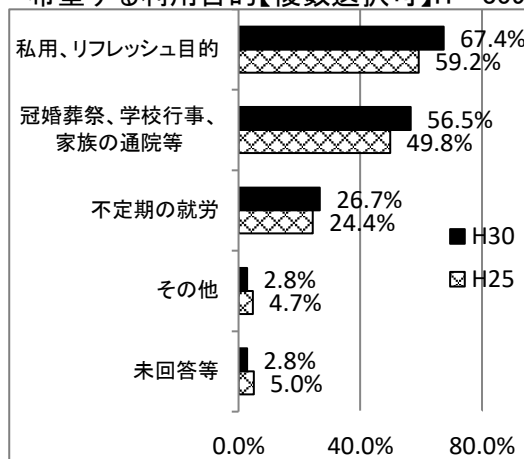


20 外出、仕事や通院などで育児ができないとき、育児疲れでリフレッシュしたい時など、お子さんを一時的に預かる事業があります。利用希望や利用目的、希望日数についてお答えください。

利用希望の有無【1つ選択】 n=778



希望する利用目的【複数選択可】n=359

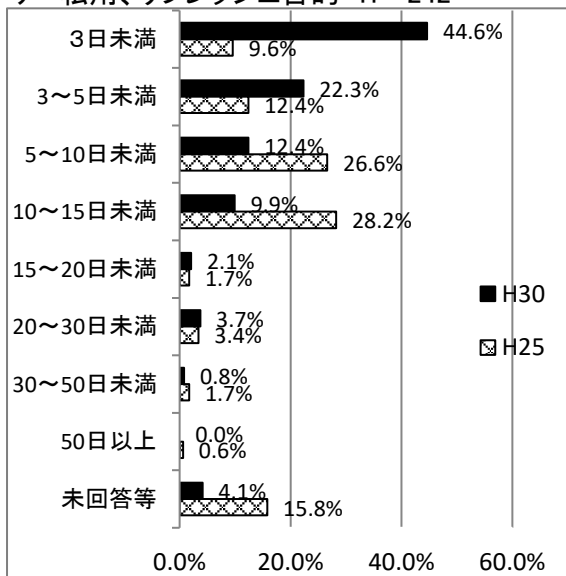


5割弱が「利用したい」と回答し、利用目的の7割弱が「私用、リフレッシュ目的」

利用目的は「私用、リフレッシュ目的」(67.4%)、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」(56.5%)の順となっています。

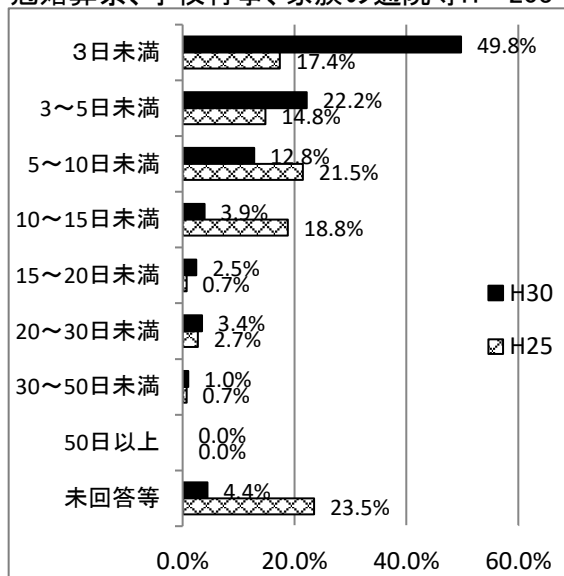
年間希望日数【1つ選択】

ア 私用、リフレッシュ目的 n=242



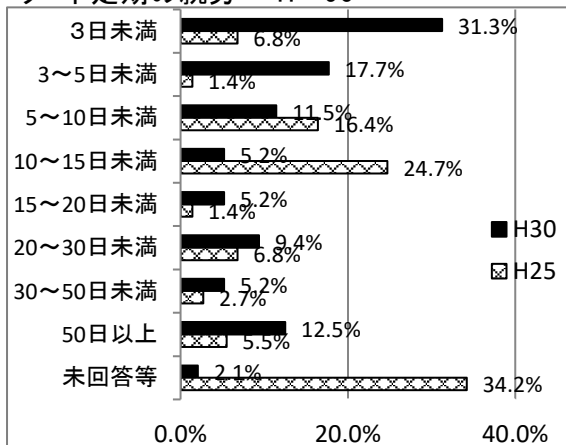
「3日未満」が5割弱

イ 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等 n=203



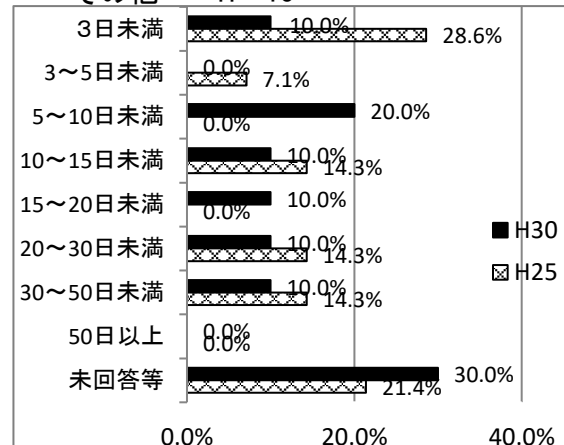
「3日未満」が5割弱

ウ 不定期の就労 n=96



「3日未満」が約3割

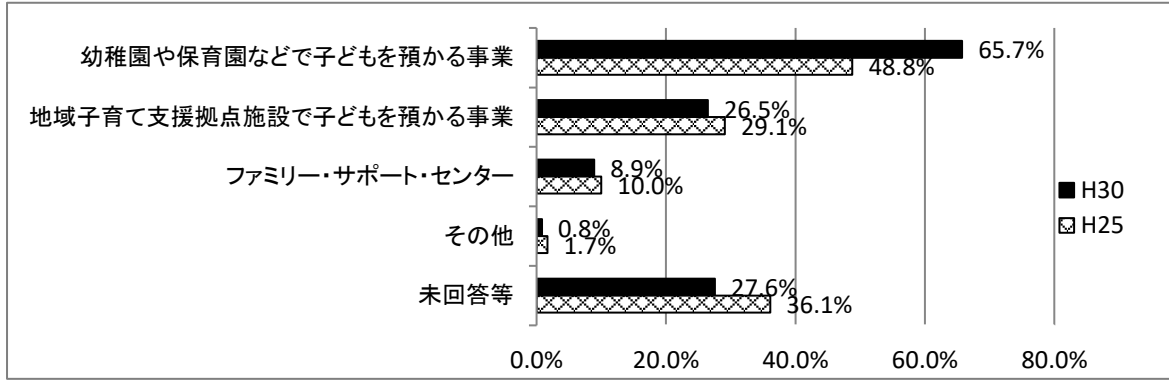
エ その他 n=10



「5~10日」が2割

希望する事業形態【複数選択可】

n=359



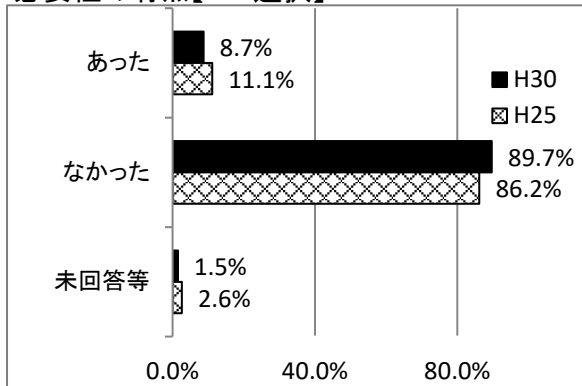
「幼稚園や保育園などで子どもを預かる事業」が最も多い

希望する事業形態は、「幼稚園や保育園などで子どもを預かる事業」(65.7%)が最も多く7割弱となっています。

- 21 あて名のお子さんについて、この1年間(平成29年12月～平成30年11月の間)に、保護者の用事(冠婚葬祭、家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。
必要があった場合は、その際の対処方法を選択し、それぞれの日数をお答えください。

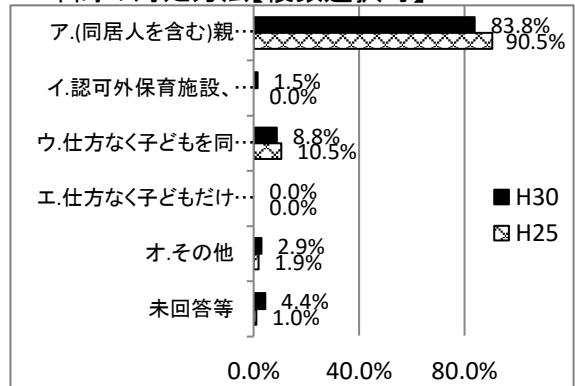
必要性の有無【1つ選択】

n=778



1年間の対処方法【複数選択可】

n=68

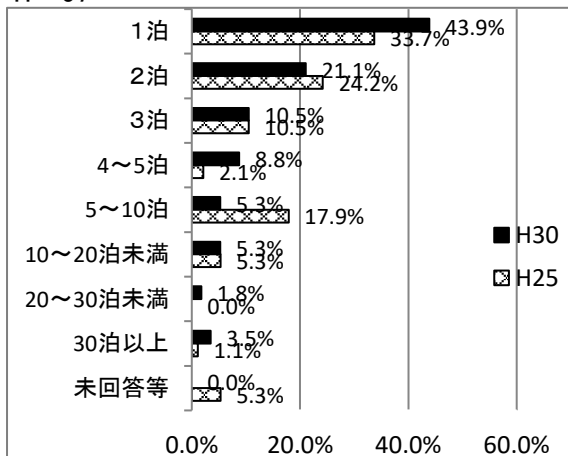


1割弱が必要ありと回答、対処方法は(同居人を含む)親族・知人に預けたが8割強

保護者の用事によりお子さんを家族以外に預けなければならないことが「あった」(8.7%)ことは1割弱で、対処方法は「(同居人を含む)親族・知人に預けた」(83.8%)で8割強となっています。

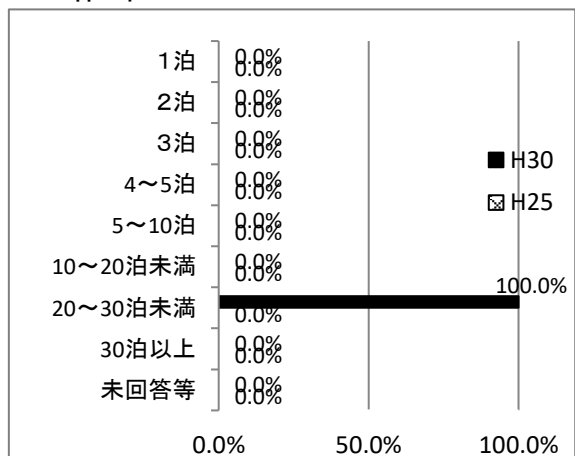
年間日数【1つ選択】

ア (同居人を含む)親族・知人に預けた
n=57



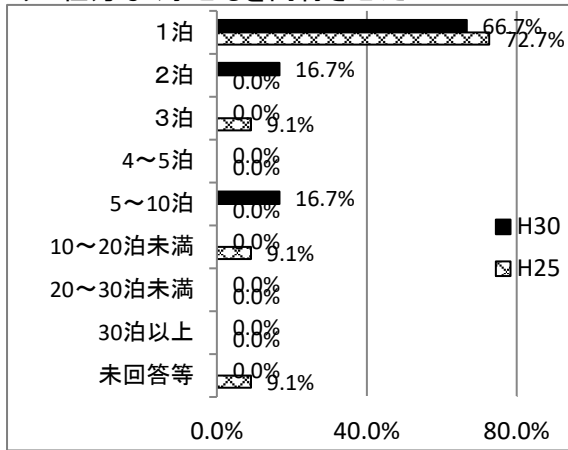
4割強が「1泊」と回答

イ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した
n=1



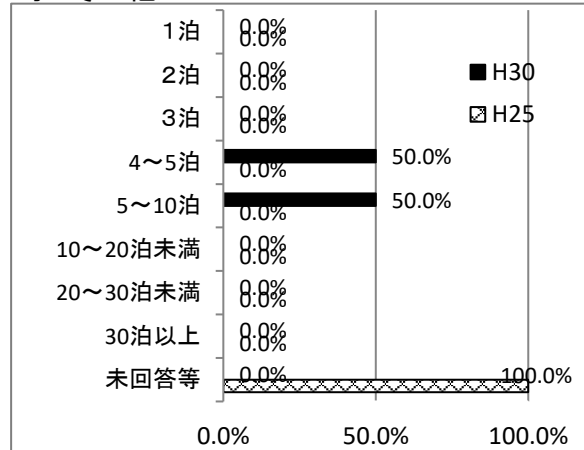
「20~30泊」と回答

ウ 仕方なく子どもを同行させた n=6



「1泊」が6割強

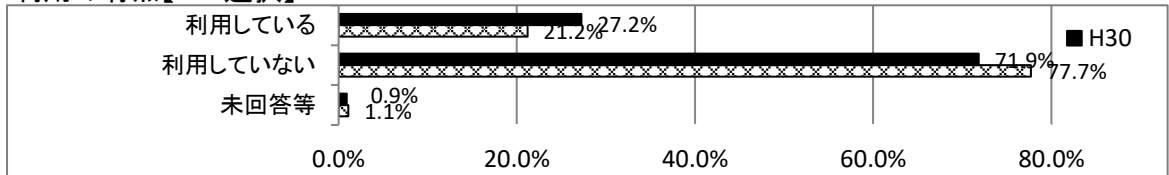
オ その他 n=2



「4~5泊」「5~10泊」で5割

22 あて名のお子さんについて、あなたのご家庭では、現在、「地域子育て支援拠点施設」を利用していますか。利用している場合は、利用している回数とその理由を、利用していない場合はその理由をお答えください。

利用の有無【1つ選択】

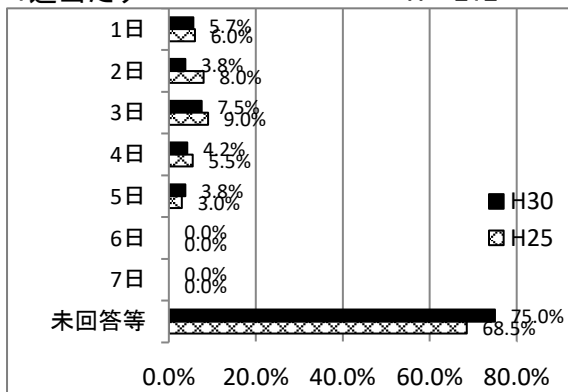


3割弱が「利用している」と回答

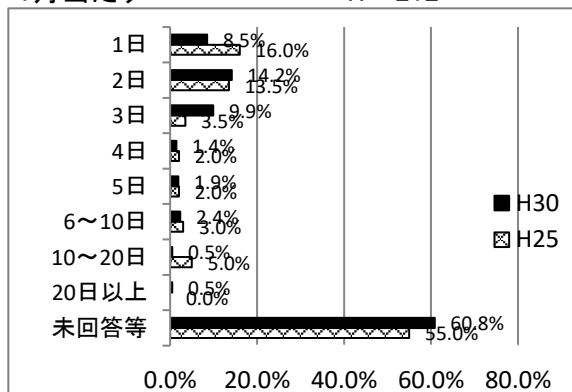
地域子育て支援拠点施設を「利用している」(27.2%)と回答している人は3割弱ですが、平成25年調査よりも6ポイント上昇しています。

利用回数【1つ選択】

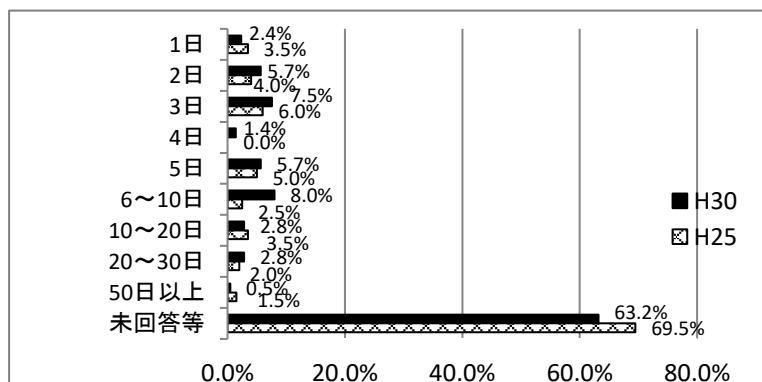
1週当たり



1月当たり

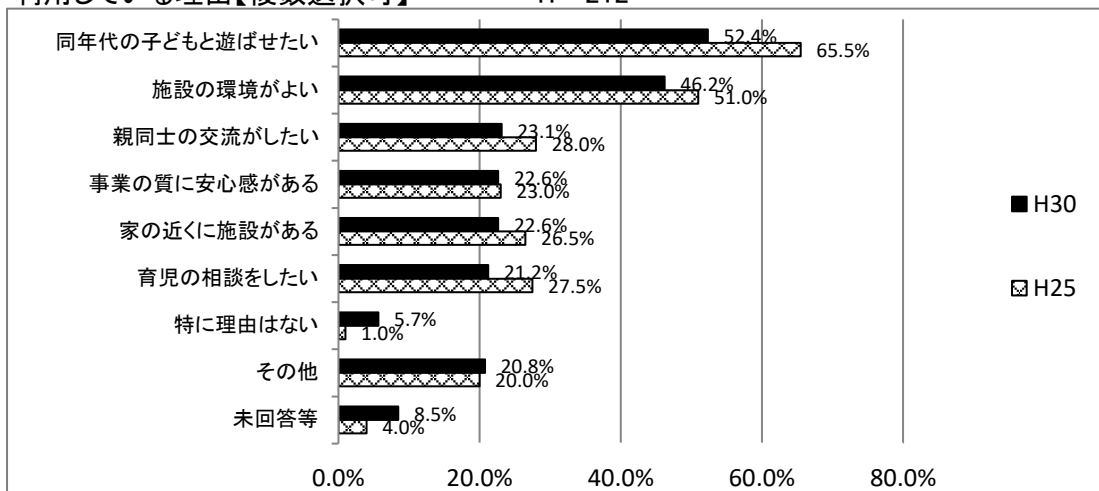


1年当たり
n=212



利用回数は週当たりが「3日」、月当たりが「2日」、年当たりが「6~10日」が最も多い回答

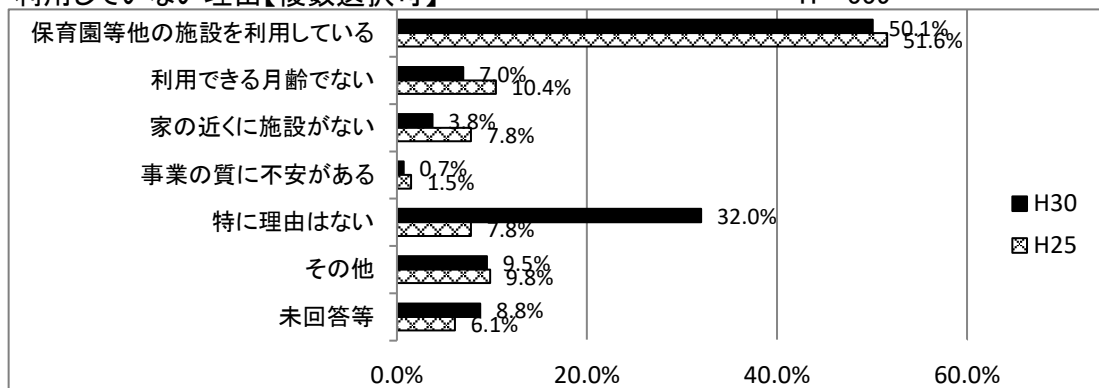
利用している理由【複数選択可】 n=212



5割強が「同年代の子どもと遊ばせたい」と回答

地域子育て支援拠点施設を利用している理由は「同年代の子どもと遊ばせたい」(52.4%)、「施設的环境がよい」(46.4%)と続いています。

利用していない理由【複数選択可】 n=559

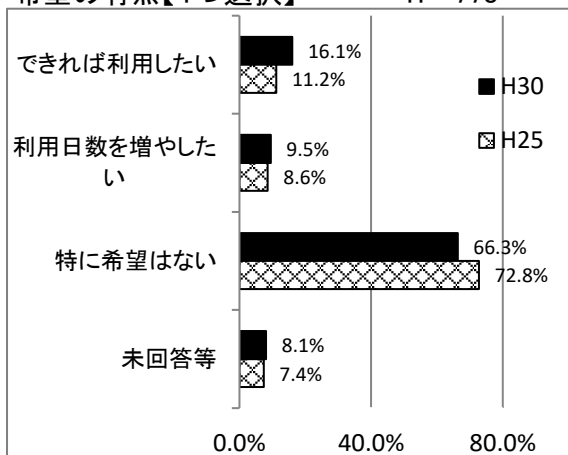


5割強が「保育園等他の施設を利用している」と回答

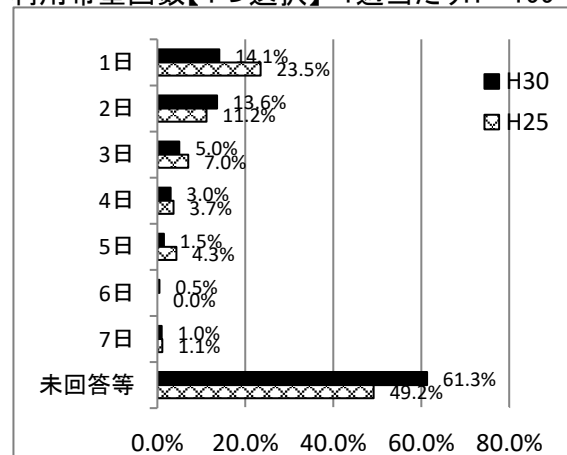
地域子育て支援拠点施設を利用していない理由は「保育園等他の施設を利用している」(50.1%)、「特に理由はない」(32.0%)と続いています。

23 地域子育て支援拠点施設を、今は利用していないができれば利用したい、あるいは利用日数を増やしたいという希望はありますか。希望がある場合は、利用したい回数をお答えください。

希望の有無【1つ選択】 n=778

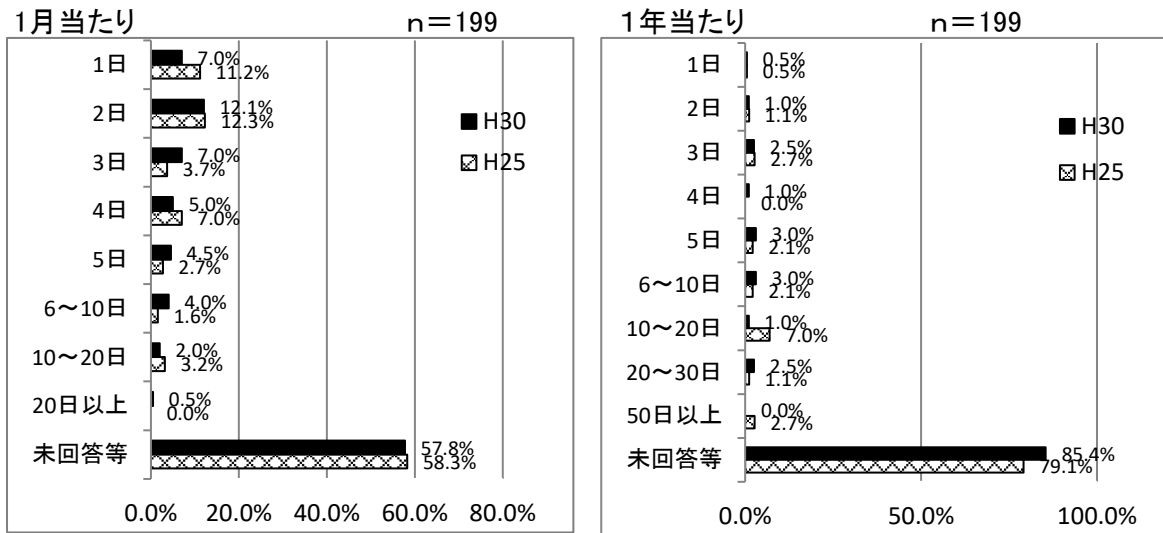


利用希望回数【1つ選択】 1週当たりn=199



2割強が「利用希望あり」

地域子育て支援拠点施設の利用希望の有無は「できれば利用したい」(16.1%)、「利用日数を増やしたい」(9.5%)を合わせた利用希望有が2割強となっています。

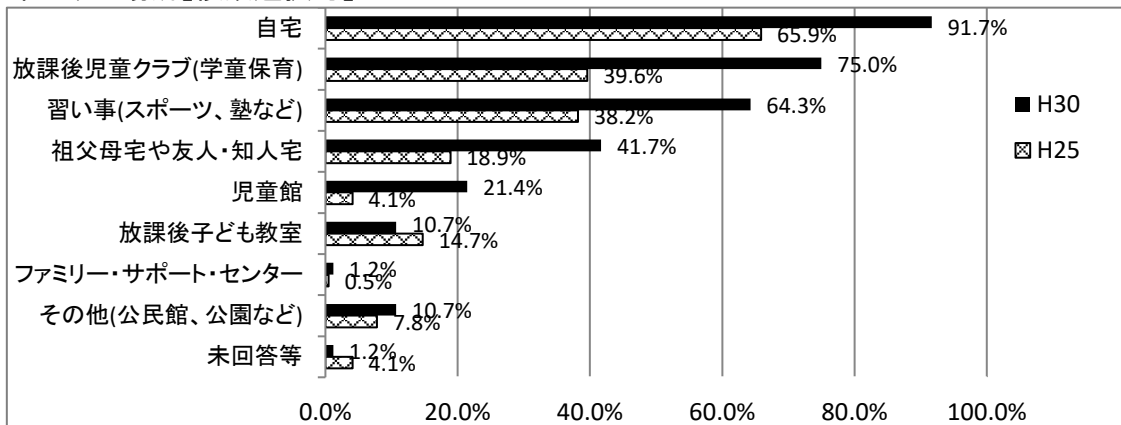


週当たり「1日」、月当たり「2日」、年当たり「5日」と「6~10日」が最も多い

地域子育て支援拠点施設の利用希望回数は、週当たり「1日」(14.1%)、月当たり「2日」(12.1%)、年当たり「5日」(3.0%)と「6~10日」(3.0%)が最も多くなっています。

24 あて名のお子さんが5歳以上(平成30年4月1日時点)の方にお伺いします。お子さんが小学校に就学された後、放課後(平日の授業、クラブ活動など終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいとお考えですか。低学年時(1~3年生)と高学年時(4~6年生)に分けて、それぞれ希望する場所と週当たりの希望日数をお答えください。(現在お持ちのイメージでお答えください。)

希望する場所【複数選択可】

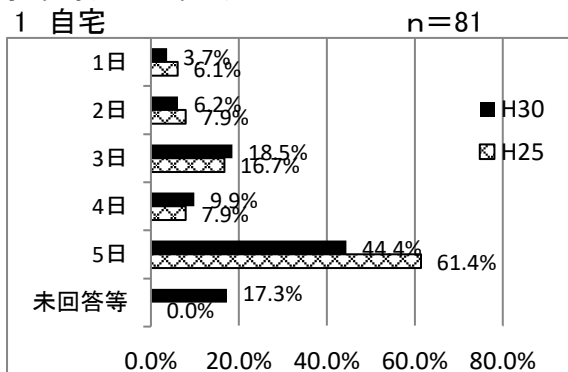


9割強が「自宅」を希望

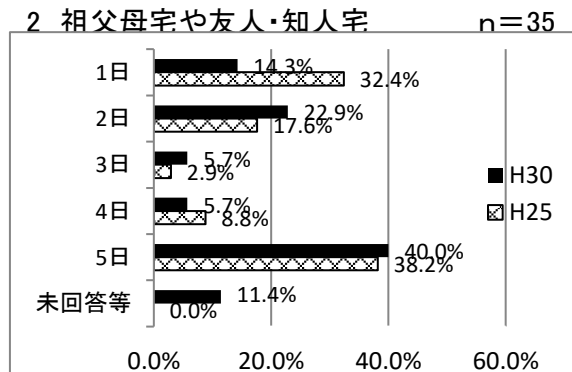
放課後を過ごさせたい場所としては、「自宅」(91.7%)、「放課後児童クラブ」(75.0%)と続いています。

週当たりの希望日数【各1つ選択】

低学年時(1~3年生)

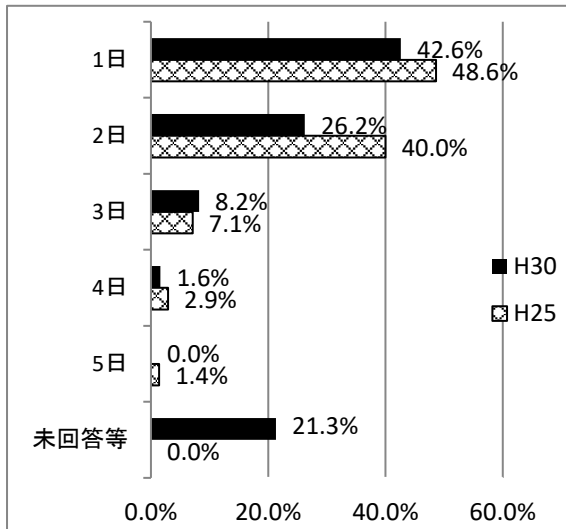


「5日」が4割強



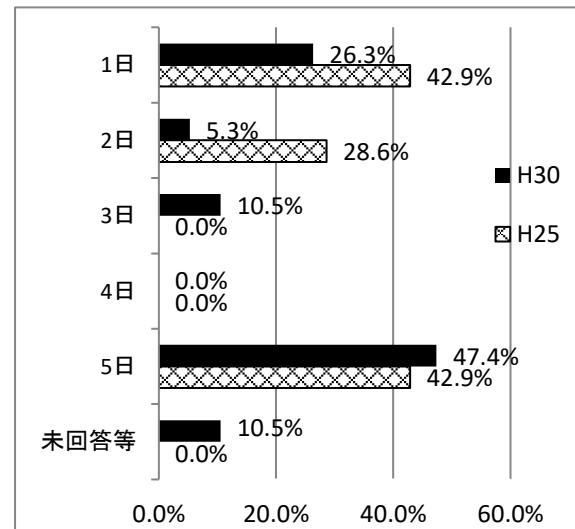
「5日」が4割

3 習い事(スポーツ、塾など) n=61



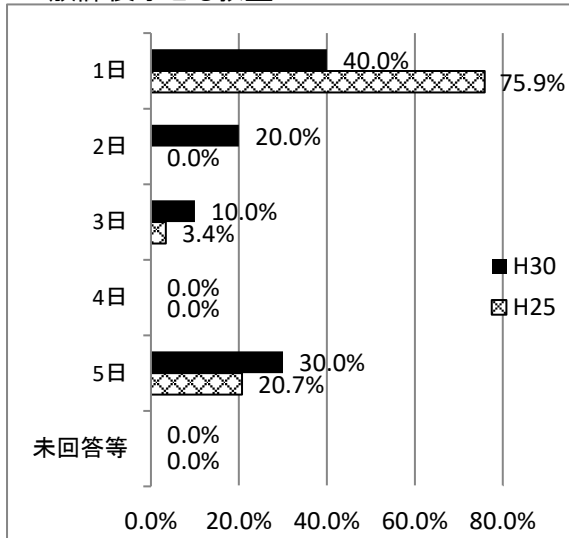
「1日」が4割強

4 児童館 n=19



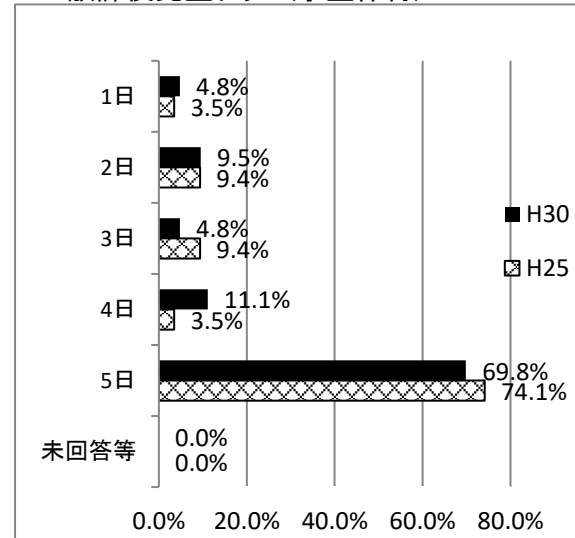
「5日」が4割強

5 放課後子ども教室 n=10



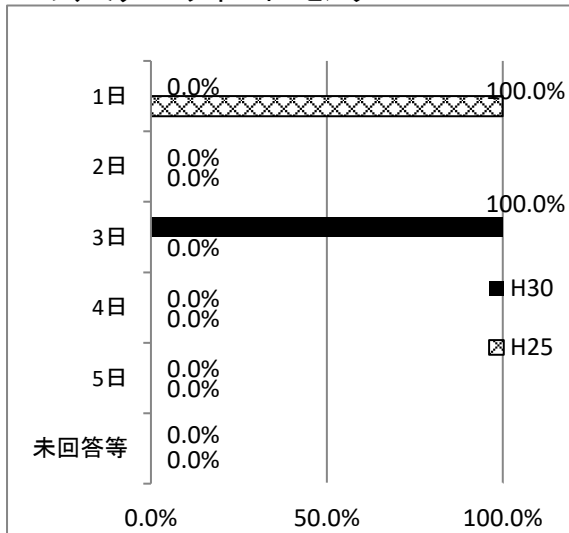
「1日」が4割

6 放課後児童クラブ(学童保育) n=63



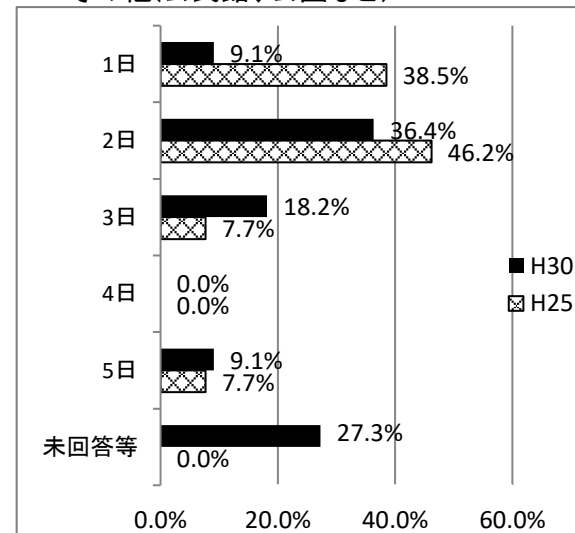
「5日」が7割弱

7 ファミリー・サポート・センター n=1



「3日」と回答

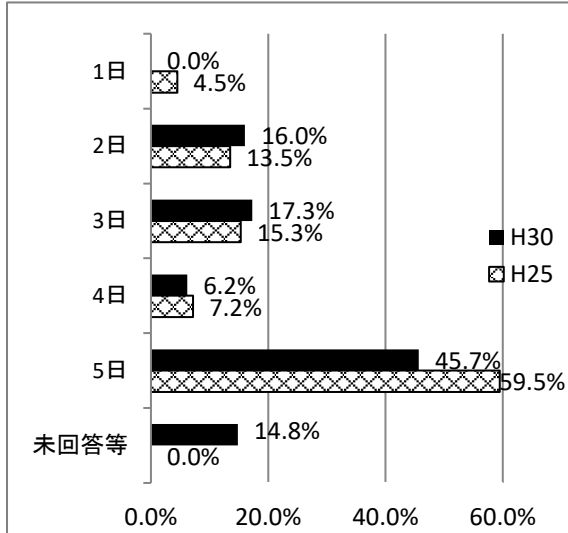
8 その他(公民館、公園など) n=11



「2日」が4割弱

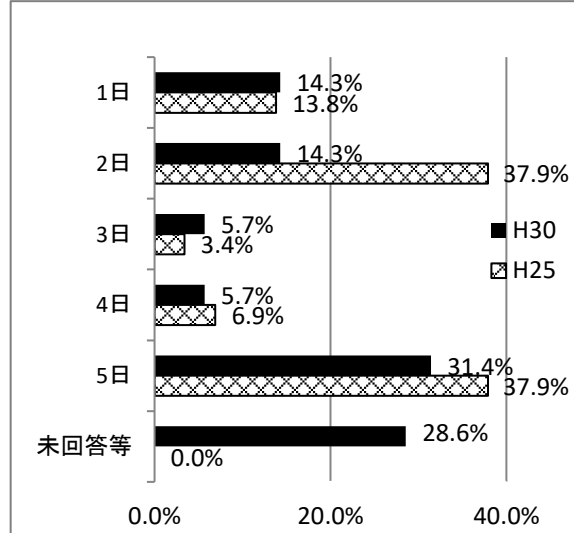
高学年時(4~6年生)

1 自宅 n=81



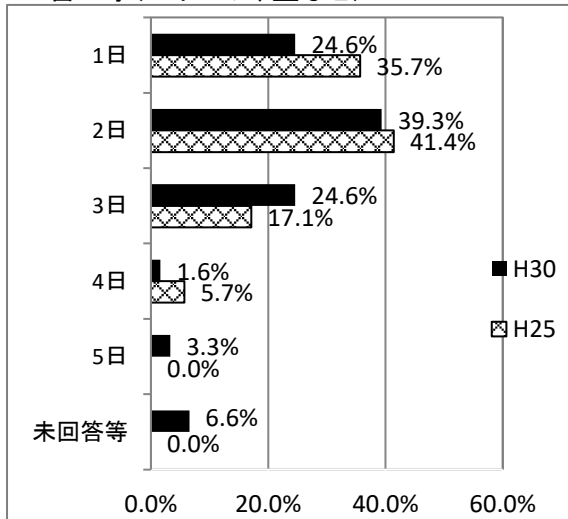
「5日」が4割強

2 祖父母宅や友人・知人宅 n=35



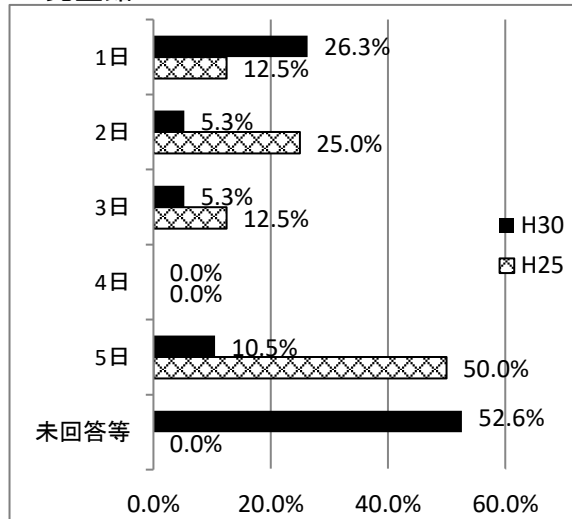
「5日」が3割強

3 習い事(スポーツ、塾など) n=61



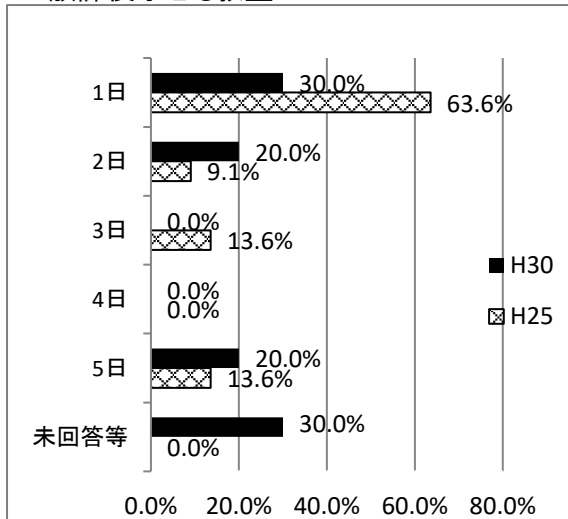
「2日」が4割弱

4 児童館 n=19



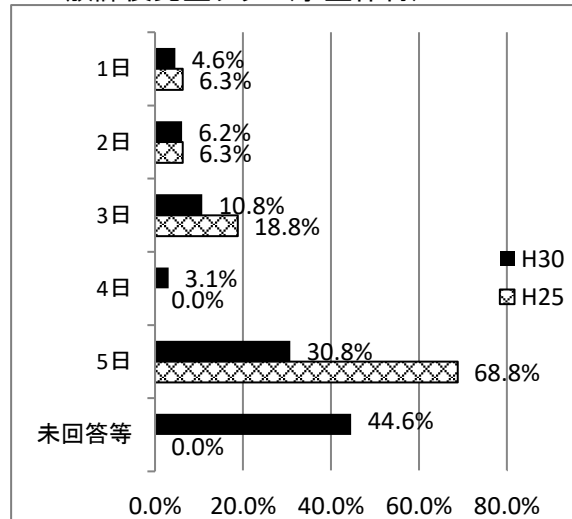
「1日」が3割弱

5 放課後子ども教室 n=10



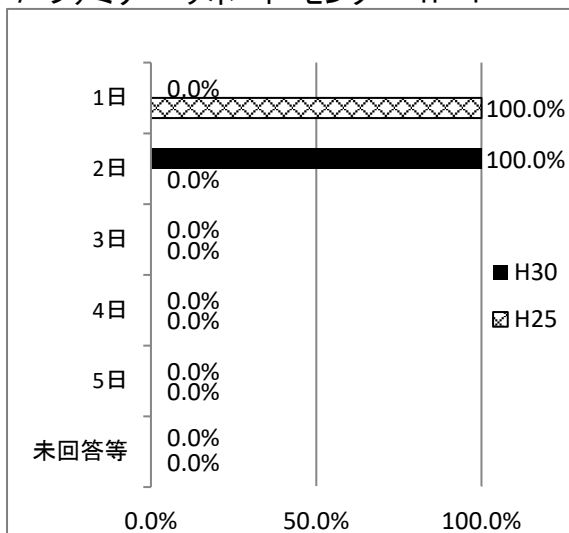
「1日」が3割

6 放課後児童クラブ(学童保育) n=65



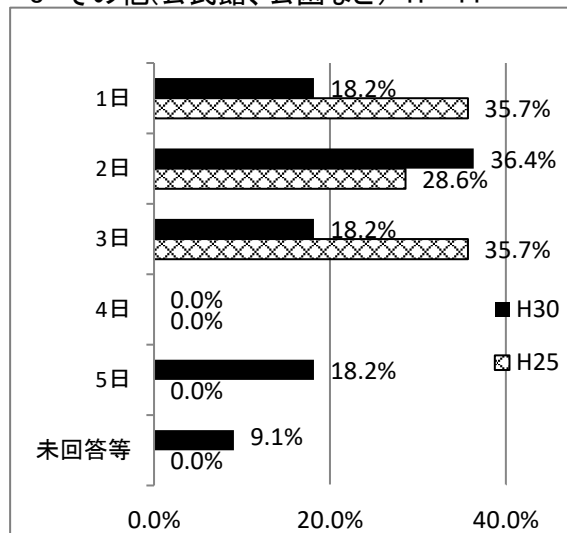
「5日」が3割強

7 ファミリー・サポート・センター n=1



「2日」と回答

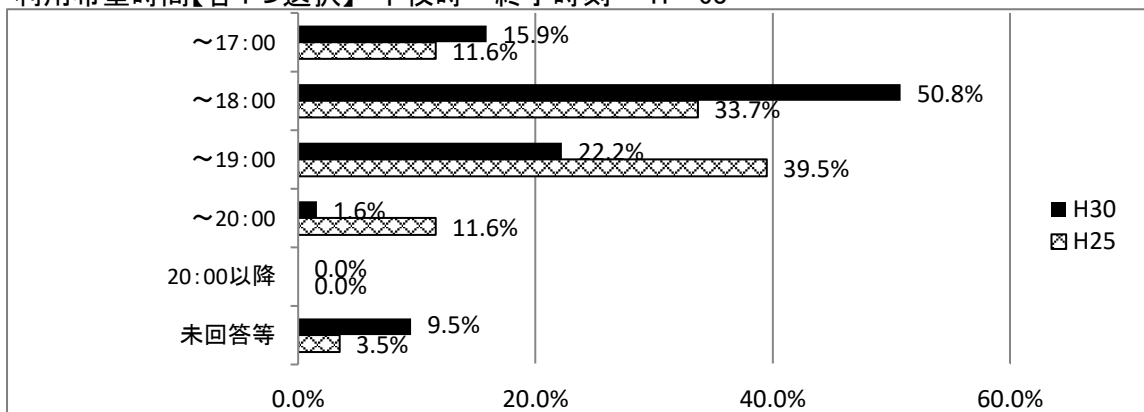
8 その他(公民館、公園など) n=11



「2日」が3割強

25 あて名のお子さんが5歳以上(平成30年4月1日時点)の方にお伺いします。
 平日、土曜日、日・祝日、長期休暇中(春・夏・冬休み)について、それぞれの期間における学童保育の利用希望と利用したい時間帯をお答えください。学童保育は両親が共働きであり、祖父母が就労しているなど、家庭において子どもを保育することが困難な場合に利用でき、一定の利用料が発生します。

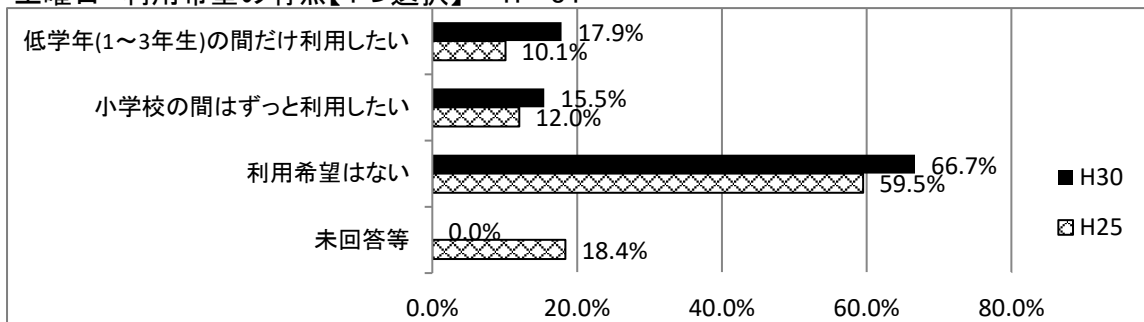
平日 ※ 問24で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」を選択した方
 利用希望時間【各1つ選択】 下校時～終了時刻 n=63



「～18:00」が5割強

平日の学童保育の利用希望時間は「～18:00」(50.8%)、「～19:00」(22.2%)と続いています。

土曜日 利用希望の有無【1つ選択】 n=84



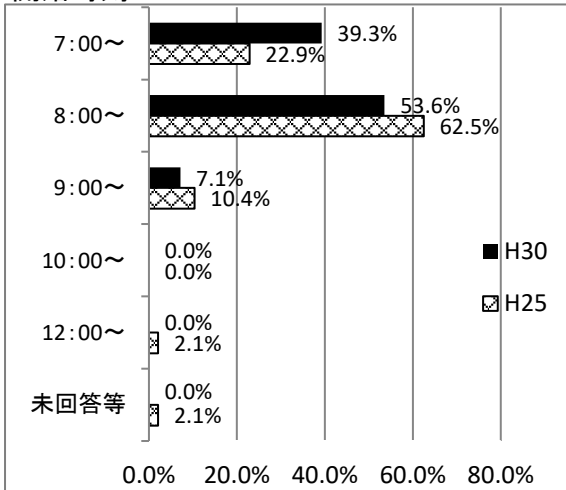
「利用したい」は3割強

土曜日の利用希望は「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」(17.9%)、「小学校の間はずっと利用したい」(15.5%)を合わせた「利用したい」の割合は3割強となっています。

土曜日 利用希望時間【各1つ選択】

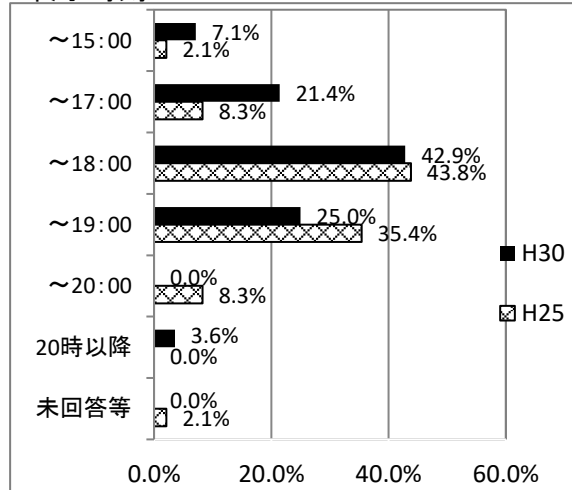
開始時刻

n=28



終了時刻

n=28

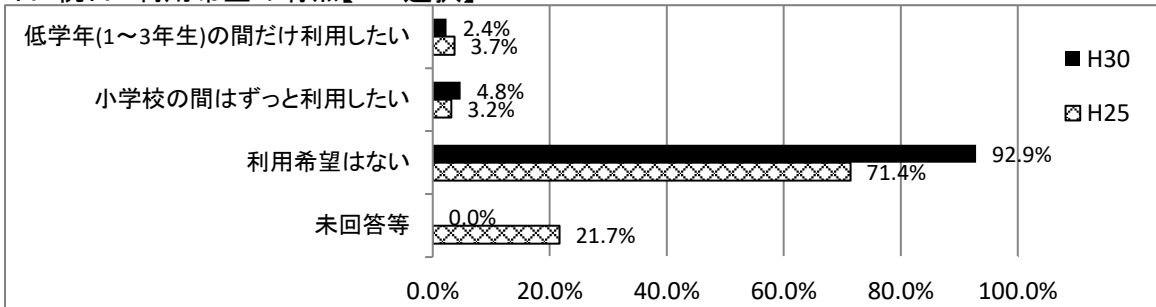


開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~18:00」が最も多い

土曜日の学童保育の利用希望時間は開始時刻が「8:00~」(53.6%)、終了時刻が「~18:00」(42.9%)と最も多くなっています。

日・祝日 利用希望の有無【1つ選択】

n=84



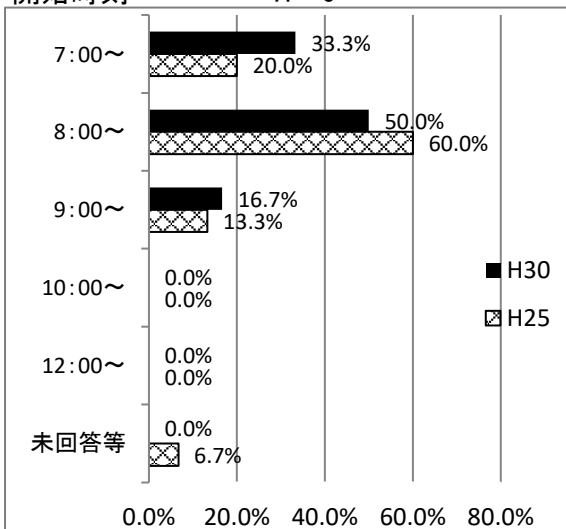
「利用したい」は1割弱

日・祝日の利用希望は「低学年(1~3年生)の間だけ利用したい」(2.4%)、「小学校の間はずっと利用したい」(4.8%)を合わせた「利用したい」の割合は1割弱となっています。

日・祝日 利用希望時間【各1つ選択】

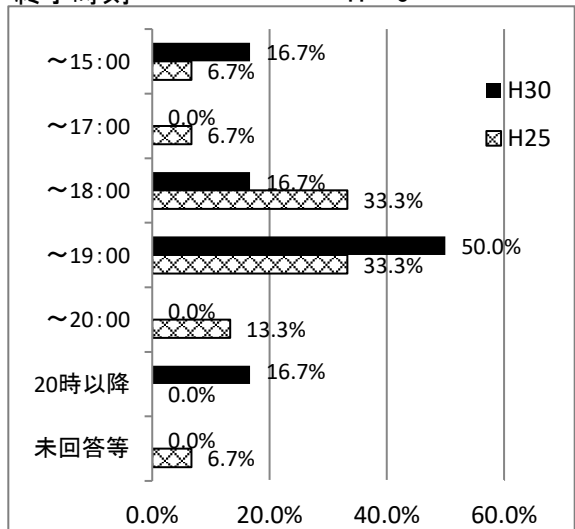
開始時刻

n=6



終了時刻

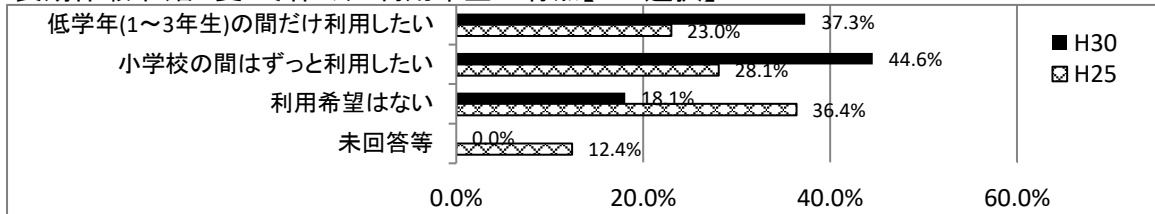
n=6



開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~19:00」が最も多い

土曜日の学童保育の利用希望時間は開始時刻が「8:00~」(50.0%)、終了時刻が「~19:00」(50.0%)と最も多くなっています。

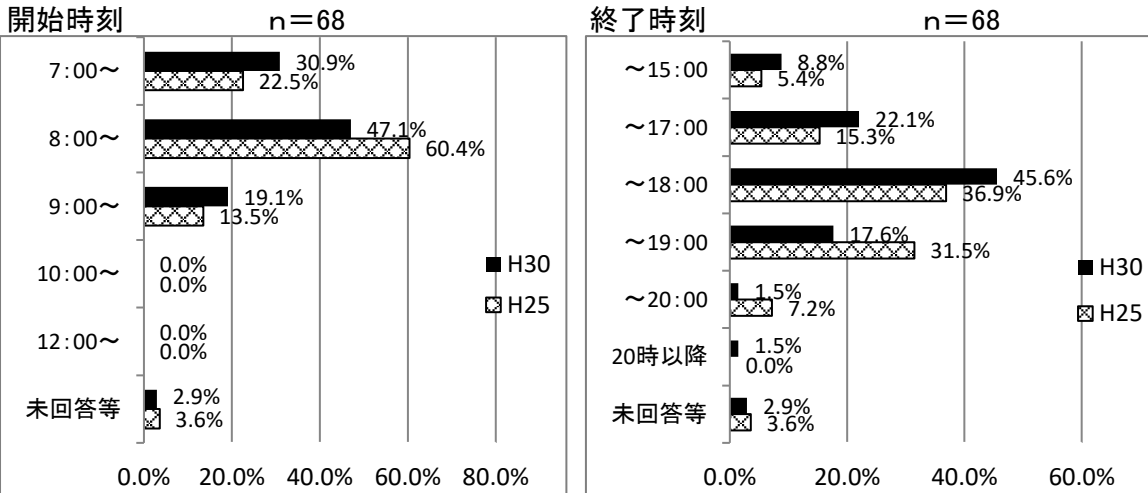
長期休暇中(春・夏・冬休み) 利用希望の有無【1つ選択】 n=83



「利用したい」は8割強

長期休暇中の利用希望は「低学年(1~3年生)の間だけ利用したい」(37.3%)、「小学校の間はずっと利用したい」(44.6%)を合わせた「利用したい」の割合は8割強となっています。

長期休暇中(春・夏・冬休み) 利用希望時間【各1つ選択】

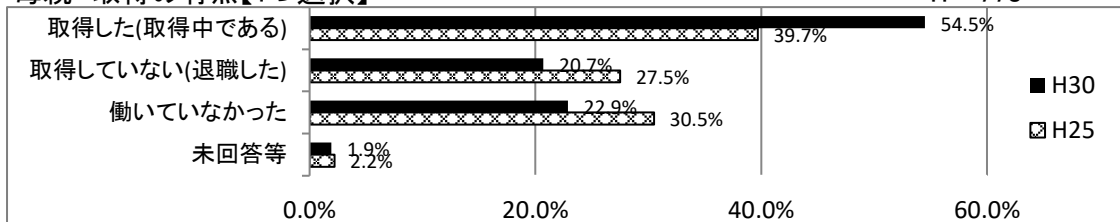


開始時刻は「8:00~」、終了時刻は「~18:00」が最も多い

長期休暇中の学童保育の利用希望時間は開始時刻が「8:00~」(47.1%)、終了時刻が「~18:00」(45.6%)と最も多くなっています。

- 26 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を利用しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。(母子家庭などで父親がいない場合は父親欄、父子家庭などで母親がいない場合は母親欄の回答は不要です。)

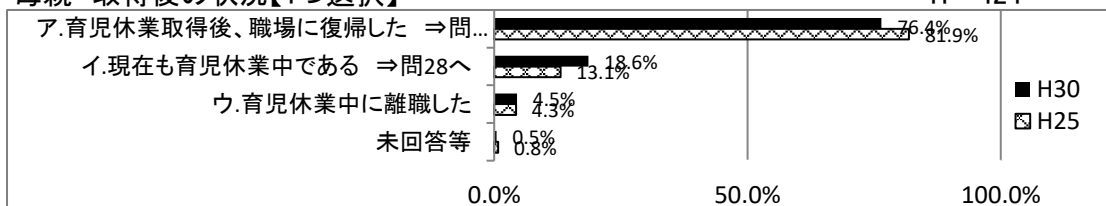
母親 取得の有無【1つ選択】 n=778



5割強が「取得した」

母親の育児休業を「取得した」(54.5%)と回答した割合は5割強となっており、平成25年調査より約15ポイント上昇しています。

母親 取得後の状況【1つ選択】 n=424

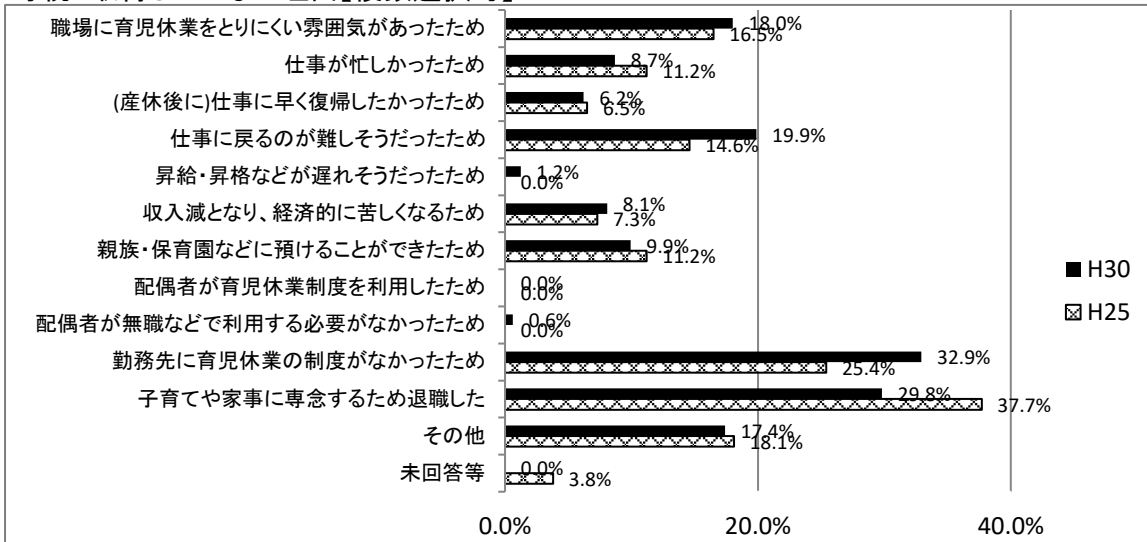


約8割が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答

育児休業を取得した母親の取得後の状況は「育児休業取得後、職場に復帰した」(76.4%)と回答した割合は約8割となっています。

母親 取得していない理由【複数選択可】

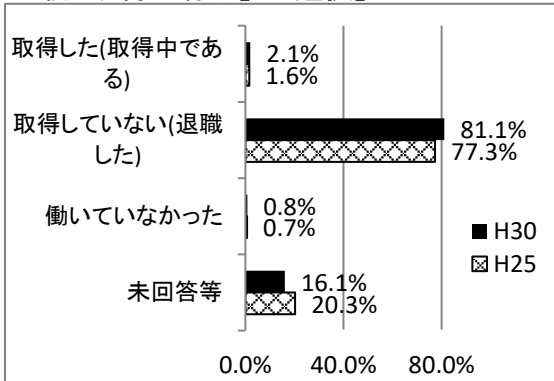
n=161



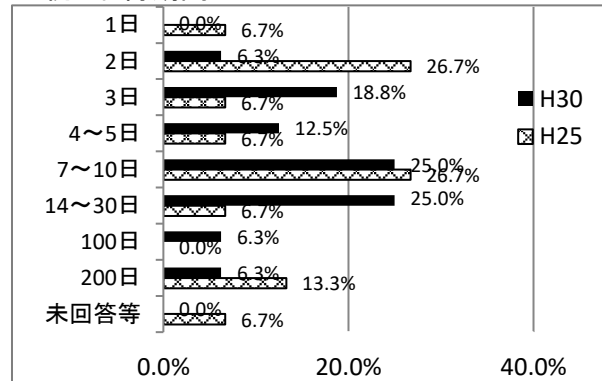
「勤務先に育児休業の制度がなかったため」が最も多い

母親の育児休業を取得していない理由は「勤務先に育児休業の制度がなかったため」(32.9%)が最も多く、次いで平成25年調査で最も多かった「子育てや家事に専念するため」(29.8%)となっています。

父親 取得の有無【1つ選択】 n=778



父親 取得期間 n=16

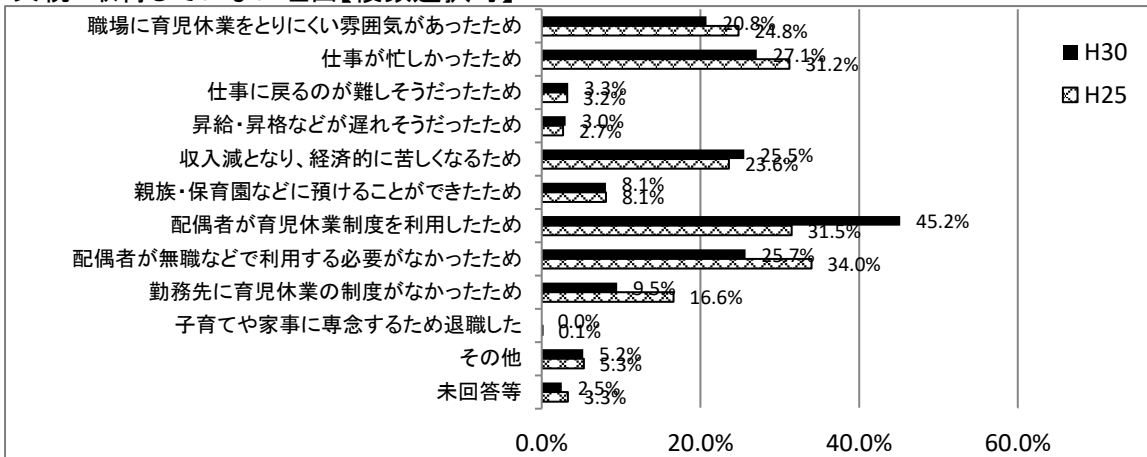


8割強が「取得していない」、期間は「7～10日」と「14～30日」を合わせて5割

父親の8割強が育児休業を「取得していない」(81.1%)と回答しています。「取得した」(2.1%)は平成25年よりも僅かに増えています。取得した期間は「7～10日」(25.0%)と「14～30日」(25.0%)を合わせて5割と最も多くなっています。

父親 取得していない理由【複数選択可】

n=631



「配偶者が育児休業制度を利用したため」が最も多い

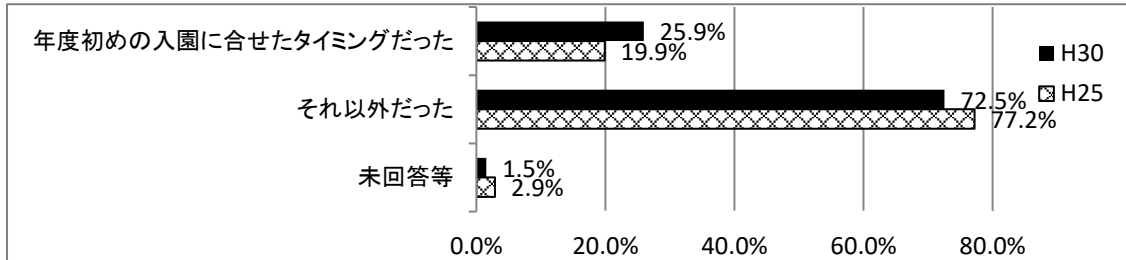
父親の育児休業を取得していない理由は「配偶者が育児休業制度を利用したため」(45.2%)が最も多く、次いで「仕事が忙しかったため」(27.1%)となっています。

27 問26で母親が、「1-ア 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にお伺いします。問26で答えた職場復帰時の状況についてお答えください。

① 職場復帰のタイミング

育児休業から職場復帰したのは、年度初めの保育園や幼稚園への入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【当てはまる番号1つに○】

※ 年度初めの認可保育園入園を希望し、1~2月ごろ復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合や、年度初めの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。 n=324



「年度初めの入園に合せたタイミングだった」が2割強

育児休業から職場復帰したタイミングは、「年度初めの入園に合せたタイミングだった」(25.9%)が3割弱に対し、7割強が「それ以外だった」(72.5%)と回答しています。

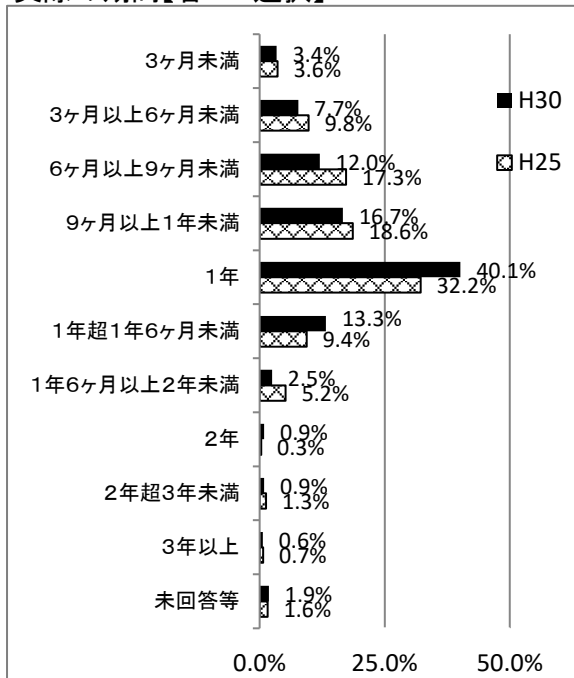
② 実際に、お子さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、「希望として」はお子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取得したかったですか。

「実際」と「希望」の時期が異なる場合は、その理由についても合わせてお答えください。

育児休業の取得状況

実際の期間【各1つ選択】

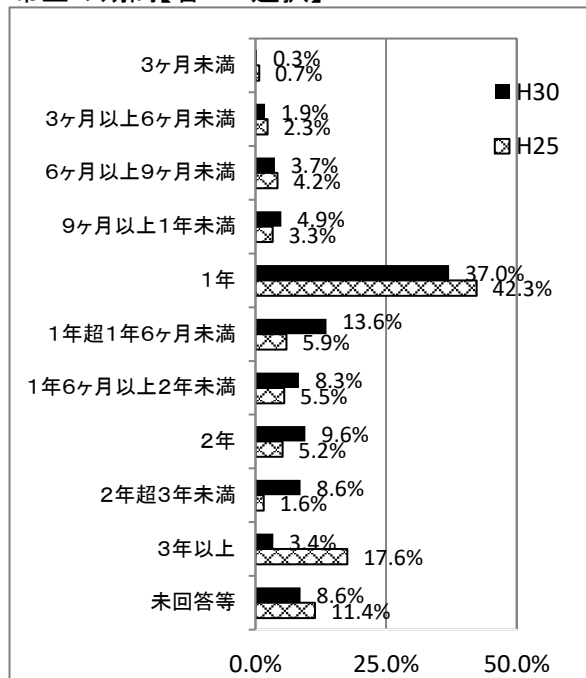
n=324



1年が4割強

希望の期間【各1つ選択】

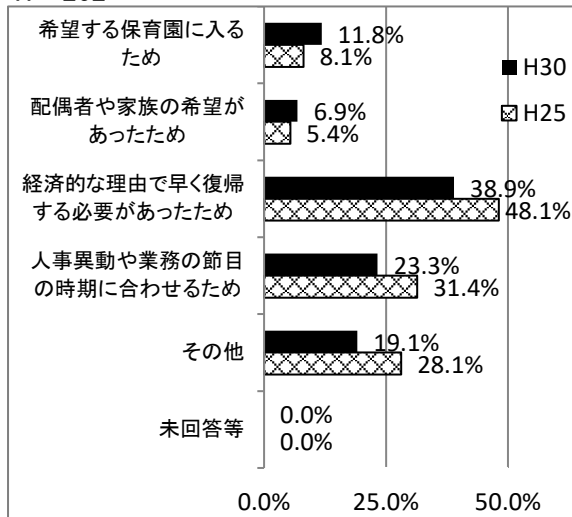
n=324



1年が4割弱

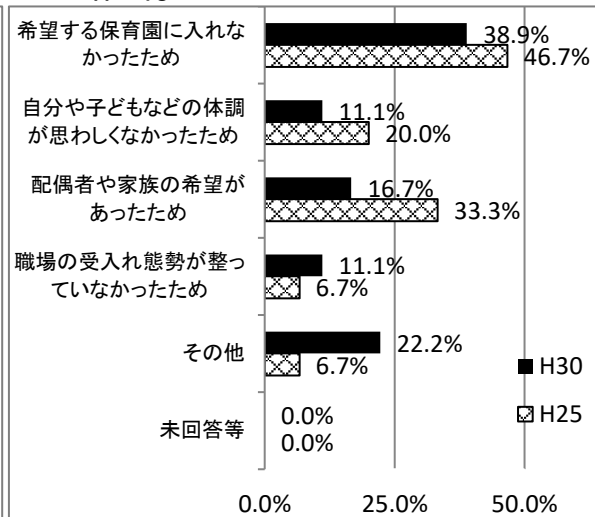
「希望」より早く復帰した方【複数選択可】

n=262



「希望」より遅く復帰した方【複数選択可】

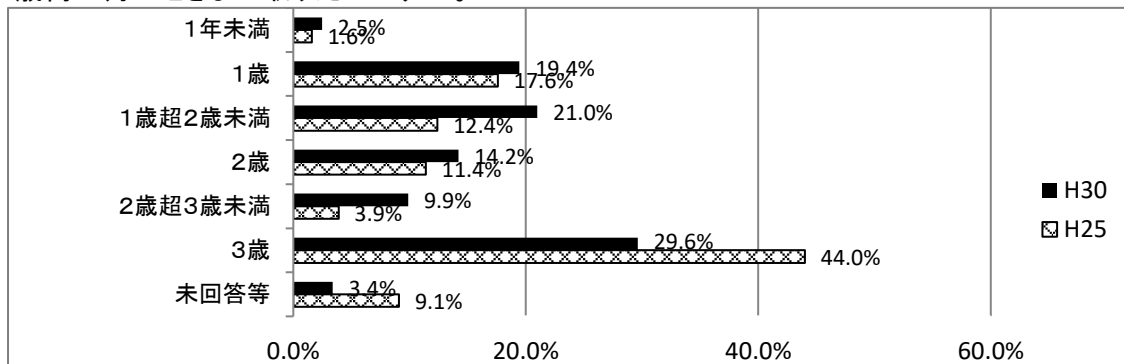
n=18



希望より早くは「経済的な理由」、希望より遅くは「保育園に入れなかったため」が最も多い

育児休業から職場復帰したタイミングが希望より早かった理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(38.9%)が4割弱、希望より遅かった理由は「希望する保育園に入れなかったため」(38.9%)と最も多くなっています。

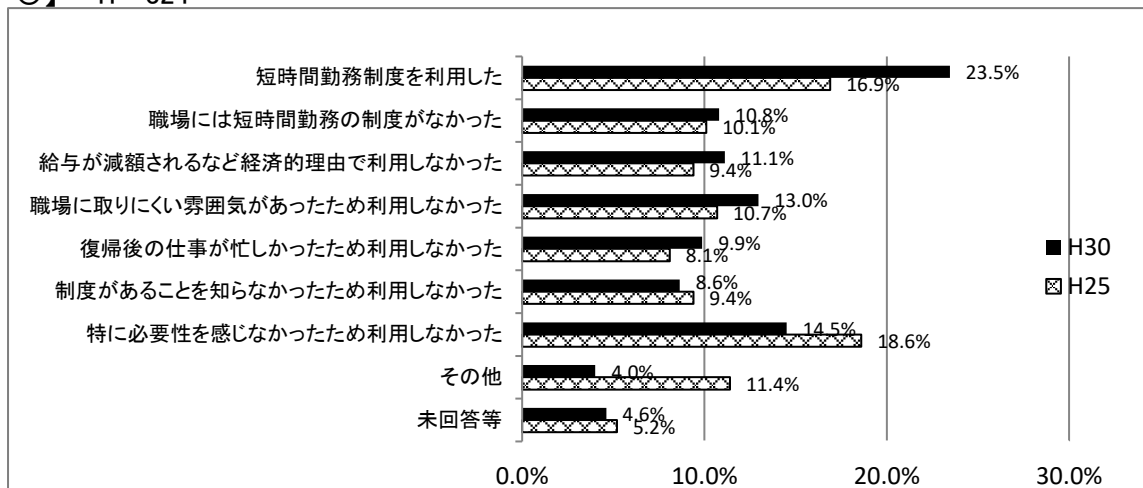
- ③ お勤め先に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたいですか。 n=324



「3歳」が最も多い

育児休業の取得希望としては、「3歳」(29.6%)が最も多くなっています。

- ④ 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【当てはまる番号1つに○】 n=324

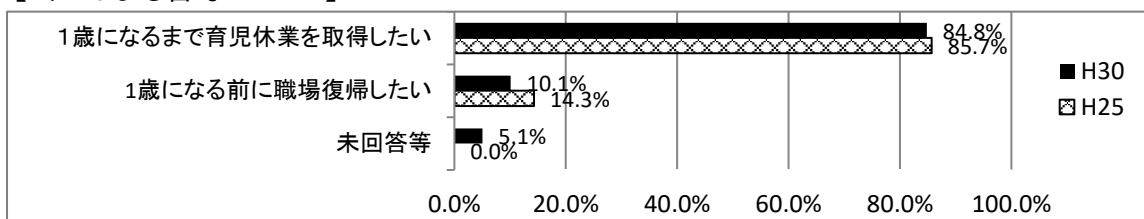


「短時間勤務制度を利用した」が2割強

短時間勤務制度の利用は、2割強が「利用した」(23.5%)と回答しています。

28 問26で母親が「1ーイ 現在も育児休業中である」を選んだ方にお伺いします。

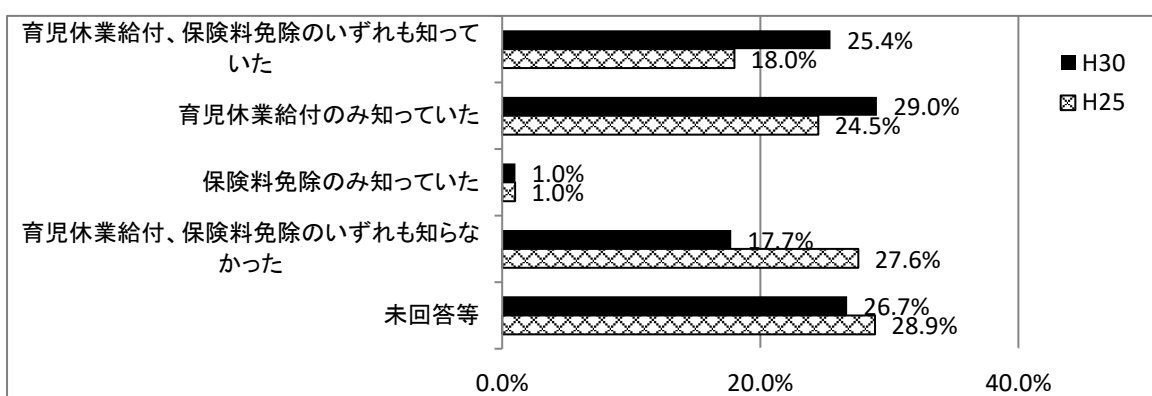
お子さんが1歳になったときに必ず預けられる教育・保育の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に職場復帰しますか。
【当てはまる番号1つに○】



「1歳になるまで育児休業を取得したい」が8割強

育児休業の取得期間は、8割強が「1歳になるまで育児休業を取得したい」(84.8%)と回答しています。

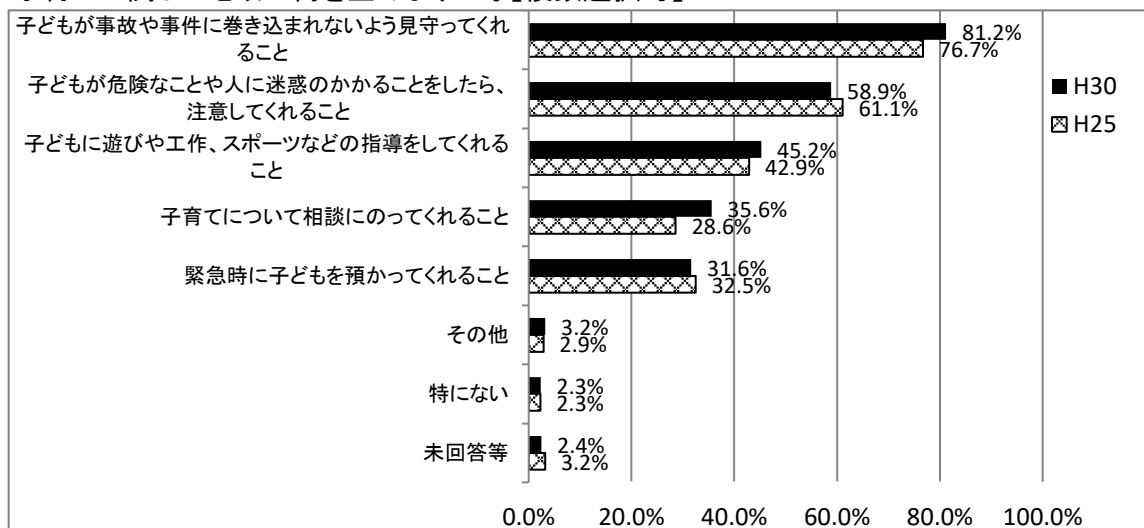
29 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険料及び厚生年金保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていましたか。【当てはまる番号1つに○】 n=778



「育児休業給付のみ知っていた」が最も多い

「育児休業給付のみ知っていた」(29.0%)が最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(25.4%)となっています。それぞれ平成25年調査よりも4.5ポイント、7.4ポイント上昇しています。

30 子育てに関して地域に何を望みますか。【複数選択可】 n=778

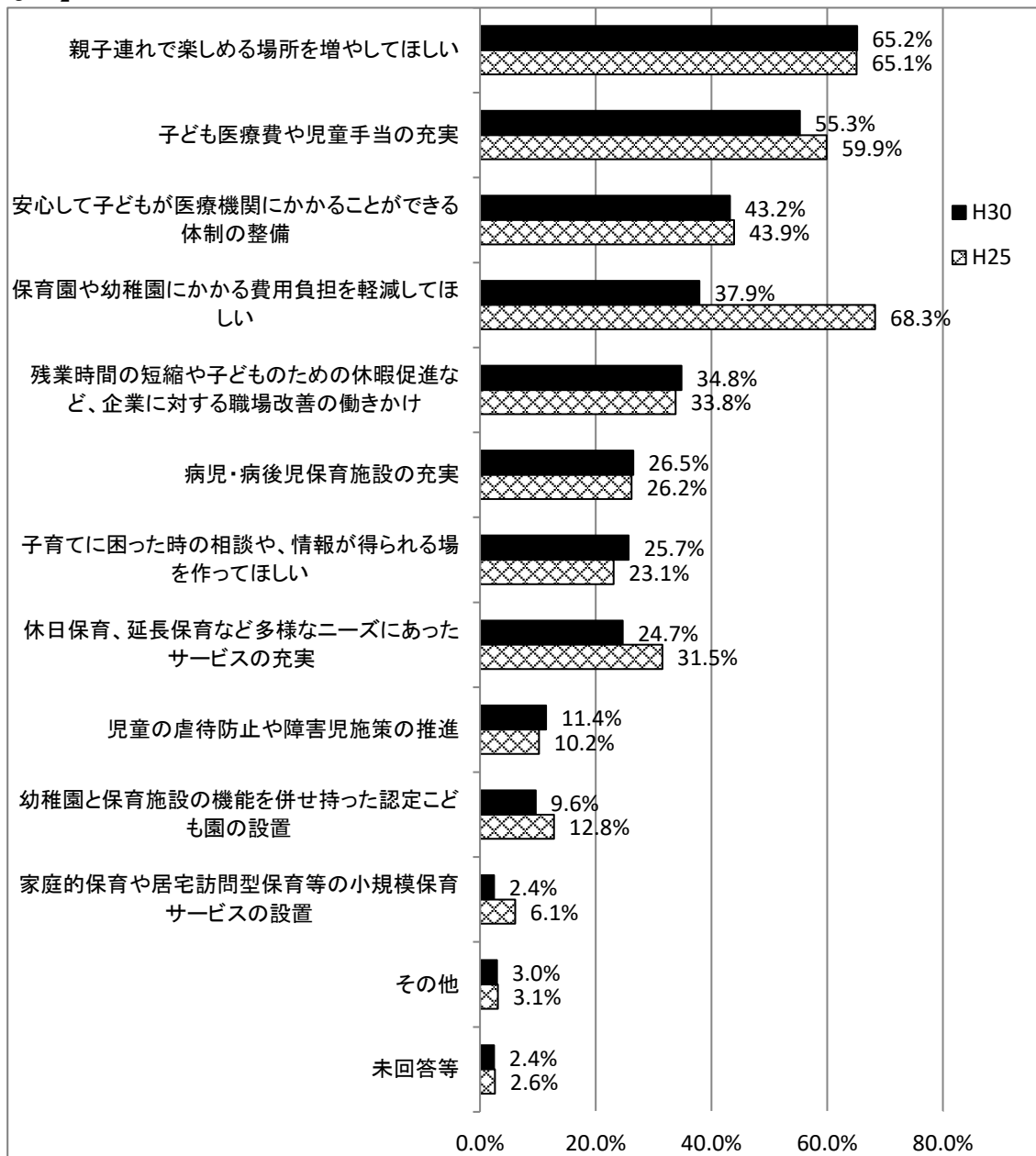


「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」が最も多い

子育てに関して地域に望むことは、「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」(81.2%)が平成25年調査同様に最も多く、次いで「子どもが危険なことや人に迷惑のかかることをしたら、注意してくれること」(58.9%)となっています。

31 子どもを健やかに生み育てるために、市に対してどのようなことを期待していますか。【〇は5つまで】

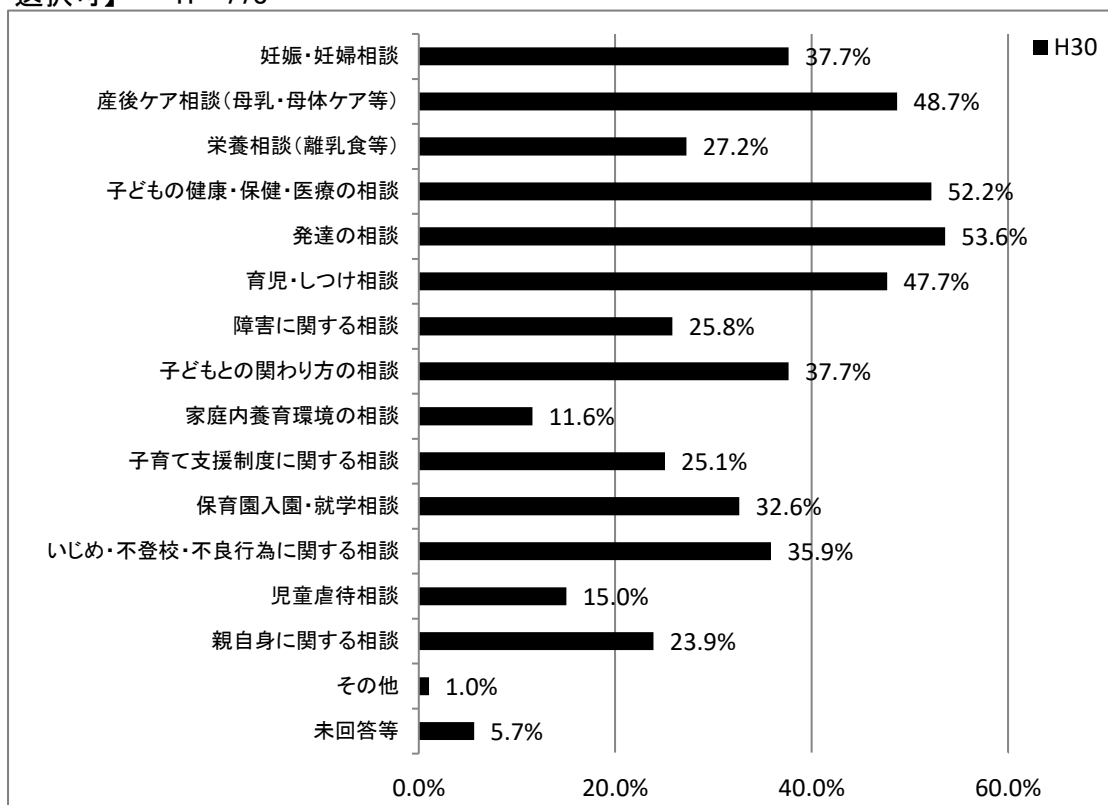
n=778



「親子連れで楽しめる場所を増やしてほしい」が最も多い

子育てに関して市に期待することは、「親子連れで楽しめる場所を増やしてほしい」(65.2%)が最も多く、次いで「子ども医療費や児童手当の充実」(55.3%)となっています。

32 安心な子育てに特に必要だと感じる相談内容について、下記から〇個を選んでください。【複数選択可】 n=778



「発達の相談」が最も多い

安心な子育てに特に必要だと感じる相談内容は、「発達の相談」(53.6%)が最も多く、次いで「子どもの健康・保健・医療の相談」(52.2%)となっています。